

七ヶ浜町文化財調査報告書第8集

水 浜 遺 跡

七ヶ浜町教育委員会

七ヶ浜町文化財調査報告書第8集

水 浜 遺 跡

七ヶ浜町教育委員会

序 文

七ヶ浜町は仙台湾、松島湾、塩釜湾と三方を海に囲まれた半島状の町です。町内には、松島湾三大貝塚のひとつにあげられている史跡大木田貝塚をはじめ、種々の貝塚や製塩などの遺跡が50カ所に点在しております。このことは、古代からここに暮らしてきた人々にとって自然に恵まれた七ヶ浜は、かけがえのない好適地であったからと思われます。海という自然がもたらしてくれる恵みをもとに、人々は日々の糧を得、その営みの中で文化を育んできたといえましょう。

このたび調査報告書が刊行されることになりました水浜遺跡も、製塩という海とのかかわりがもたらしてくれた遺跡であり、これまであまり知られていなかった古代の塩作りの様相を解明することのできる貴重な遺跡のひとつであります。特に今回の調査では、これまでに他の製塩遺跡でみられなかった新しい形態の炉跡が発見されるなど、重要な資料を供与することができました。

この報告書の作成にあたりましては、多くの方々のご協力とご尽力を賜りました。改めて関係各位に心からお礼を申し上げますとともに、本書が当町の歴史文化を理解していく一助となりますよう、念じてやみません。

1991年3月

七ヶ浜町教育委員会

教育長 佐 藤 精 一

例　　言

1. 本書は、宮城県宮城郡七ヶ浜町に所在する水浜遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本書の掲載および執筆は川村正がおこなった。
3. 本書の作成にあたり、遺構の図面整理や遺物の実測・トレース・拓影・写真撮影及び自然遺物の同定には次の者が分担しておこなった。

遠藤 紀代子・三浦 のり子・吉嶋 広子・渡辺 行子・岸柳 あきら
4. 本文平面図及び断面図中、Sは右、Dは土壙、Pはピット、小溝をMと略して記載した。また遺構の略号はS I（堅穴住居跡）、S B（建物跡）、S D（溝跡）SK（土壙）とし、図中のレベルは標高を示している。
5. 本書中の遺物の実測図は、原則として杯など小型のものを1/3に、甕など大型のものは1/4の縮尺に統一した。
6. 本書の作成にあたり、東北歴史資料館、宮城県教育庁文化財保護課、多賀城市埋蔵文化財センターの各位より、ご指導とご助言をいただいた。
7. 本書の土色については、「新版標準土色帖」（小山・竹原1973）を使用した。
8. 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院発行の2万5千分の1の地形図を複製使用した。
9. 発掘調査により出土した遺物は、七ヶ浜町歴史資料館において保管している。

目 次

序

例 言

I. 調査に至るまでの経緯.....	1
1. 調査要項.....	1
II. 遺跡の立地と環境.....	3
1. 立 地.....	3
2. 歴史的環境.....	3
III. 発見遺構と遺物.....	4
1. 基本層序.....	4
2. 遺構と遺物.....	7
(1) 遺 構	
(2) 遺 物	
IV. 考 察.....	84
V. ま と め.....	88

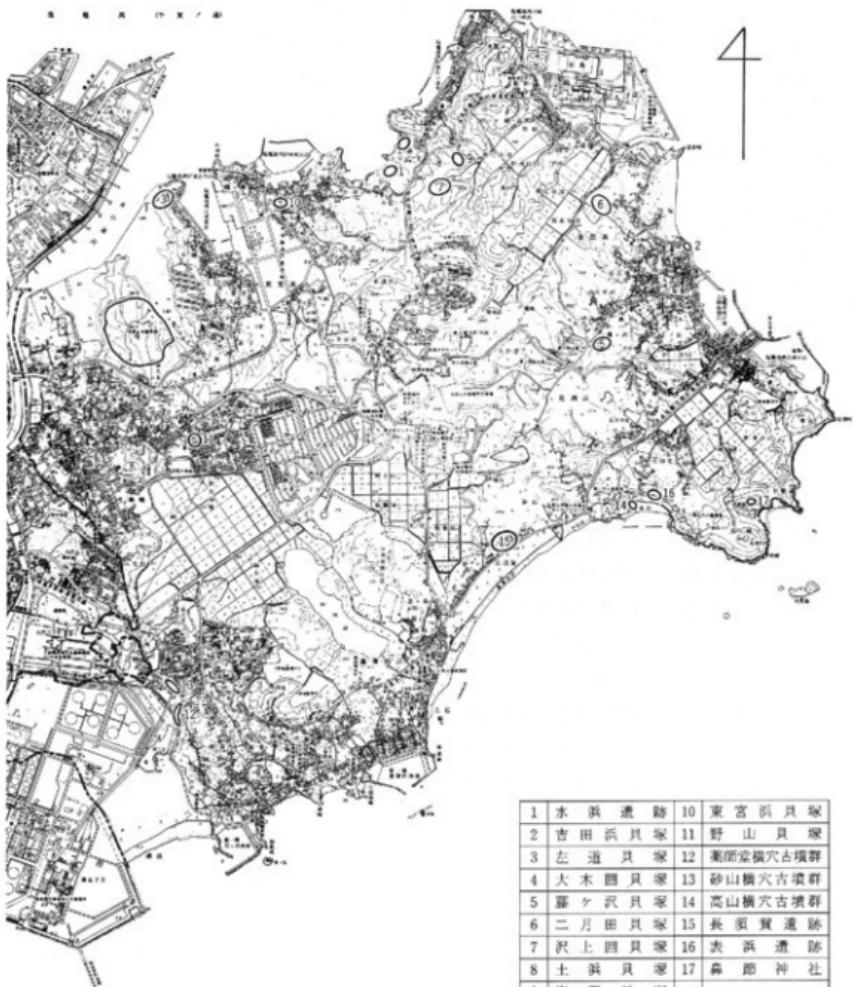
I. 調査に至るまでの経緯

七ヶ浜町には、東北南部地域における縄文前期から中期の土器編年の核となる史跡大木囲貝塚をはじめとして、早期の吉田浜貝塚や晚期の二月田貝塚など、50余りの埋蔵文化財包蔵地があって、わが国の考古学研究に大きく寄与している。これらの貝塚とともに七ヶ浜町内の遺跡を特徴付けているものとして、海岸線沿いに点在する製塩の遺跡があげられる。水浜遺跡もその中の一つで、昭和43年と44年に加藤孝氏による発掘調査が行われており、古墳時代中期のものとする製塩窯跡が5基検出されている。

この水浜遺跡は塩釜湾に面した瀬戸内海に面した浜地にあって、長年土地所有者により耕作地として利用されてきたが、後継者不足などで次第に耕地は荒廃化していた。このため土地所有者は共同で耕作地の再利用を図り、町に整備計画実施についての打診がなされた。町教育委員会では、土地所有者らとの協議を重ね計画の変更と協力とを求めたが、所有者たちの整備や再利用計画に対する要望が強いことから、発掘調査を実施する事となった。

1. 調査要項

1. 遺跡名 水浜遺跡（宮城県遺跡地名表番号20018）
2. 調査期間 （1次）昭和62年8月27日～12月5日
（2次）昭和63年6月13日～10月17日
3. 調査面積 約1,323m²
4. 調査主体 七ヶ浜町教育委員会
5. 調査担当 七ヶ浜町教育委員会社会教育課
技術主査 川村 正
嘱託 熊谷信一 芳賀英実
6. 調査参加者 遠藤紀代子 渡辺静枝 菊地みち子 三浦のり子 渡辺行子
岸柳あきら 新沼美恵子 濑戸源吉 相沢惣五郎 相沢一男
米沢しづか 小坂けさ



1 水浜遺跡	10 東宮浜貝塚
2 吉田浜貝塚	11 野山貝塚
3 左道貝塚	12 菊間堂横穴古墳群
4 大木西貝塚	13 砂山横穴古墳群
5 藤ヶ沢貝塚	14 高山横穴古墳群
6 二月田貝塚	15 長須賀遺跡
7 沢上西貝塚	16 表浜遺跡
8 土浜貝塚	17 霧館神社
9 審瀬貝塚	

II. 遺跡の立地と環境

1. 立 地

水浜遺跡の所在する七ヶ浜町は宮城県の中東部にあり、北と東は塩釜港に南は仙台港に面していて、仙台湾に突き出た半島状の地形を呈している。四極間の距離は東西南北それぞれ4 kmほどで、面積は13.24km²となっている。赤楽地区の約64mを最高に、中央部は標高60mほどの丘陵からなり傾斜面は畑地として、海岸に向かい放射状に開いた地域は水田として利用されている。集落は海岸部に形成されていて、沿岸漁業や海苔養殖が主な産業となっている。しかし近年は仙台新港の後背地であることから、各種工場の進出がめざましくなっている。また町の中央部では大規模な団地造成が進められており、隣接する塩釜や多賀城、仙台市からの人口流入がみられ、町の人口も約二万人と増加しへットタウン化の傾向がみられる。

水浜遺跡は七ヶ浜町役場から北方約1 kmのところに位置し、北西及び北東方向に突き出した小丘陵に挟まれ、塩釜湾に面する小さな海浜にある。



2. 歴史的環境

半島状の地形に加え、内陸部に比べて気候が比較的温暖であることから、漁労や狩猟に食を求めることの多かった古代人にとっても、七ヶ浜は生活のしやすい地であったと思われ、町内には各時代の遺跡が点在してみられる。現在までのところ旧石器時代の遺跡は発見されていないが、松島湾岸では最も古いとされている吉田浜貝塚をはじめ、縄文早期末の左道貝塚、前～中期の大木田貝塚、藤が沢貝塚、後～晚期の二月田貝塚、晚期の沢上田貝塚などが点在している。水浜遺跡の北側には、小丘陵を挟んで土浜遺跡があり、東側背後に広がる丘陵の反対斜面には、峯岡貝塚がある。

弥生時代のものは縄文晚期から継続するものが多く、東宮浜貝塚(鳳寿寺)、二月田貝塚、野山貝塚などがあり、晩期に開始された土器製塩が継続してみられる事が多い。

古墳時代では、集落跡や高塚古墳は見られないものの、薬師堂、砂山、高山の各地区で凝灰岩の傾斜面を掘り込んで造られた横穴古墳群が出現する。

奈良・平安時代になると、長須賀や表浜などで海岸線に近い砂地から、製塩土器を伴う遺構が確認されている。

このような歴史的環境は花淵浜鎮座の鼻節神社へと受け継がれる。神社の創建は不明だが、「統日本後紀」には承和11年(844)に從五位下に昇叙された記録があり、その後「延喜式内神名帳」では名神大社として登載されている。祭神は猿田彦命で、この神は岐神(ふなどのかみ)や鹽燒翁などと異名同神といわれ、この鼻節神社の勧請には、七ヶ浜において縄文晚期から古代にかけて連綿と塩作りが行われてきたという、歴史的背景が少なからずあったためと考えられている。

III. 発見遺構と遺物

1. 基本層序

水浜遺跡における層は、大別して7層に分類される。

1層 10YR3/3暗褐色シルト質土層で、粘土15%、シルト85%の粘性弱く、しまりのある土層である。土器片と炭化物を少し含んでいる。旧耕作土と思われる。

2層 7.5YR2/2黒褐色シルト質土層。粘土35%、シルト65%で粘性がありしまりも強い。土器片、炭化物を少し含んでおり、旧耕作土と思われる。

3層 7.5YR3/2黒褐色シルト土層。粘土40%、シルト60%、粘性しまり共にあり。土器片、炭化物を含んでおり、1層2層と同様に旧耕作土と思われる。

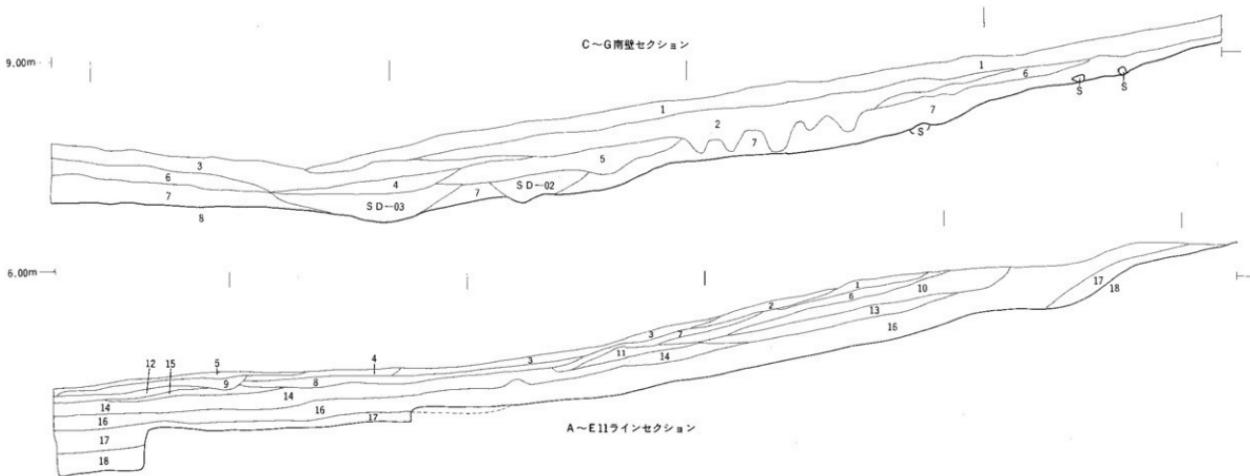
4層 2層に分けられる。4a層は10YR3/3、暗褐色粘質土層。粘土65%、シルト35%と粘性しまり共に強く、土器の混入は少ない。4b層は10YR2/3のシルト土層。粘土35%、シルト65%でしまりが強い。土器片が多く含まれ、少量の炭化物片もみられる。

灰層 10YR4/3褐色を主体とする灰層。粘性しまりが共にないシルト質土層で、焼土・炭化物・焼石・貝殻を含んでいる。

5層 2層に分けられる。5a層は10YR3/1黒褐色シルト土層。粘土45%、シルト55%ほどの粘性しまりが共にあり、少量の土器片が含まれる。5b層は、10YR2/2の黒褐色シルト土層で、粘土40%、シルト60%、粘性しまりが共にあり、バミス、小礫を多く含んでいる。

6層 10YR3/4暗褐色粘質土層で、粘土65%、シルト30%、砂5%からなり、凝灰岩と5cm程の礫を多く含む。7層の前位層と思われる。

7層 10YR7/6明黄褐色粘質土層、粘土90%、シルト10%と粘性が極めて強く、径4~5cmほどの小礫を多量に含んでいる。地山層。

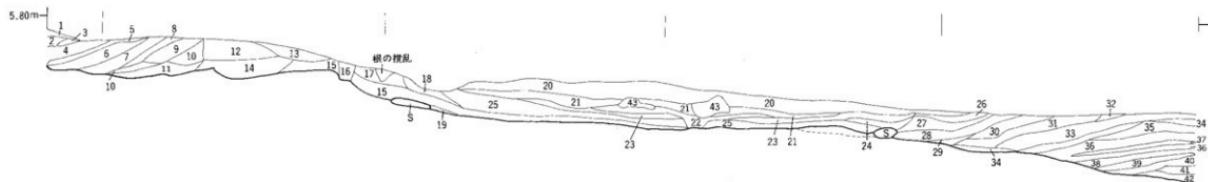


C~Gコーナー南壁セクション

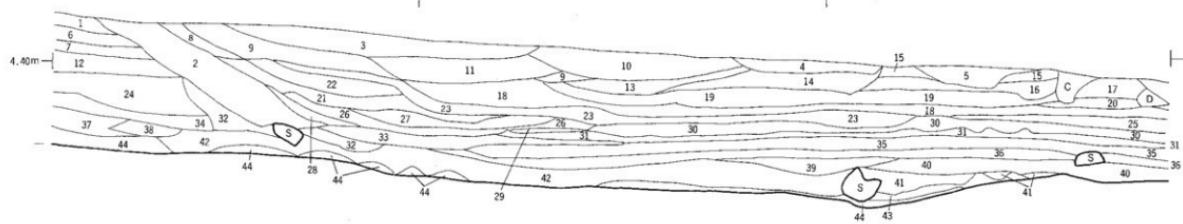
種	原	花	葉	土	生	性
1. 韭	HYV8/3	白	色	土	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
2. 韭	7.5YR8/2	黑	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
3. 韭	7.5YR8/2	黑	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
4. 韭	HYV8/3	褐	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
5. 韭	HYV8/3	褐	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
6. 韭	HYV8/3	褐	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
7. 韭	HYV8/3	褐	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
8. 韭	HYV8/2	黑	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
9. 韭	HYV8/2	黑	色	シロト	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。	
10. 韭(山)	HYV8/4	褐	色	土	耐弱酸(さうせん)にむかわせ、土壌、純物質もむかわせむ。	
D-03	7.5YR8/2	黑	色	白	土	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。
D-03	HYV8/3	黑	色	白	土	耐弱酸(さうせん)、土壌、純物質もむかわせむ。

A~E11ラインセクション

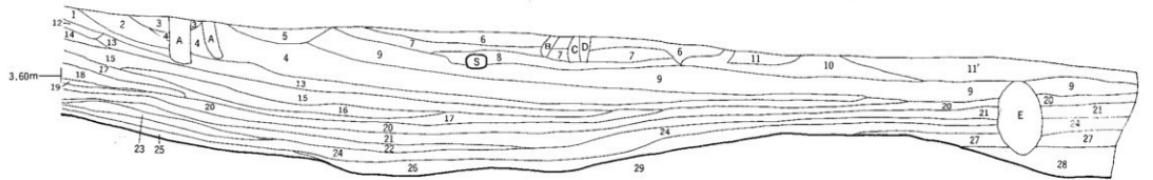
C ライン11, 10, 9, 8セクション



C ライン7, 6, 5セクション



C ライン4, 3, 2セクション



C ライン 11. 10. 9. 8 セクション

層位	土色	上性	備考
1層	7.5YR6/4 にぶい褐色	シルト	粘性しまり強い。灰と炭化物粒を含む。灰層
2層	7.5YR4/4 褐色	シルト	粘性しまり強い。灰、炭化物粒、無土、小石(5~10mm)土器片を含む。灰層
3層	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	粘性しまり共なし。製陶土片群、貝がら。灰化物粒をわずかに含む。また貝灰の固まりも含む。
4層	7.5YR4/6 褐色	砂質シルト	粘性なくしまり弱い。製陶土片群、貝がら。灰化物粒をわずかに含む。また貝灰の固まりを多く含む。灰層
5層	2.5YR7/3 浅黄色	シルト	粘性しまり共に弱い。灰化物粒を含む。灰層
6層	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら。灰鐵小片をわずかに含む。また灰化物粒と貝灰の固まりが混る。
7層	5YR5/2 灰褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら片を含む。灰化物粒、貝灰の固まりをわりと多く含む。灰層
8層	2.5YR6/3 にぶい黄色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら片を含む。また貝灰の固まりを多く含む。灰層
9層	7.5YR5/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら。灰化物粒をわずかに含む。また貝灰の固まりは層全体にみられる。灰層
10層	5YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら。灰化物粒を含む。灰層
11層	5YR3/4 褐赤褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら。灰化物粒を含む。灰層
12層	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	粘性しまり共なし。製陶土片群、貝がら。灰化物粒、特に貝灰の固まりを多く含む。灰層
13層	7.5YR4/5 褐色	砂質シルト	粘性なくしまり弱い。製陶土片群、貝がら。灰化物粒の量は貝灰の量より多く含む。灰層
14層	7.5YR4/6 褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら片を含む。灰化物粒、貝灰の固まりを含む。灰層
15層	2.5YR3/5 褐赤褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら片。灰化物粒を含む。2号炉下部東セクションの15層に対応
16層	7.5YR4/4 褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら片。灰化物粒を含む。ビート
17層	5YR4/2 灰褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土片群、貝がら。灰化物粒、貝灰の固まりを含む。灰層
18層	5YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、貝がら片を含む。灰化物粒を含む。灰層
19層	7.5YR4/4 褐赤褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、貝がら片。灰化物粒を含む。2号炉下部東セクションの19層に対応
20層	10YR3/3 浅褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝がら。灰化物粒を含む。灰層
21層	10YR3/3 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。土器片、灰化物粒を含む。灰層
22層	10YR3/4 浅褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。土器片、灰化物粒を含む。灰層
23層	7.5YR4/3 褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、灰化物粒を含む。灰層
24層	10YR4/4 褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。灰、鐵灰岩片、無土、灰化物粒、貝灰を含む。
25層	10YR5/2 浅黄褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。弱い波(2~3mm)と堆積層(1~2mm)がサンディッシュ状になっている。
26層	10YR4/6 褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。貝がら、鐵灰岩片、土器片、無土、貝灰を含む。灰層
27層	5YR4/4 灰褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。無土、貝灰を含む。灰層
28層	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。無土、貝灰を含む。灰層
29層	7.5YR4/3 褐赤褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。無土、貝灰を含む。灰層
30層	10YR3/3 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。貝がら。灰化物粒を含む。灰層
31層	2.5YR5/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。無土、土器片、灰化物粒を含む。灰層
32層	7.5YR5/2 灰褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片(白色の付着物あり巣か?)貝灰?の固まつたものを含む。
33層	5YR3/3 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒を含む。灰層
34層	7.5YR5/2 褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、貝灰?の固まつたものを含む。貝がらもわずかに含む。
35層	5YR4/4 にぶい黄褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒を含む。貝灰?の固まつたものを含む。貝がらもわずかに含む。
36層	5YR3/3 褐赤褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒を含む。貝灰?の固まつた大きな固まりを含む。
37層	7.5YR4/4 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がら。灰、貝灰の固まつたもの多く含む。
38層	10YR4/6 褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がらを含む。貝灰?の固まつたものも含む。
39層	7.5YR3/2 褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がらを含む。貝灰?の固まつたものも含む。
40層	7.5YR5/2 褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がらを含む。貝灰?の固まつたもの多く含む。
41層	7.5YR5/2 褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がらを含む。貝灰?の固まつたもの多く含む。
42層	5YR3/3 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰化物粒、土器片、貝がらを含む。貝灰?の固まつたもの多く含む。
43層	10YR5/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまり共なし。灰の面より鉢形又是炉の天井?灰化物粒、無土を含む。

C ライン 7. 6. 5. セクション

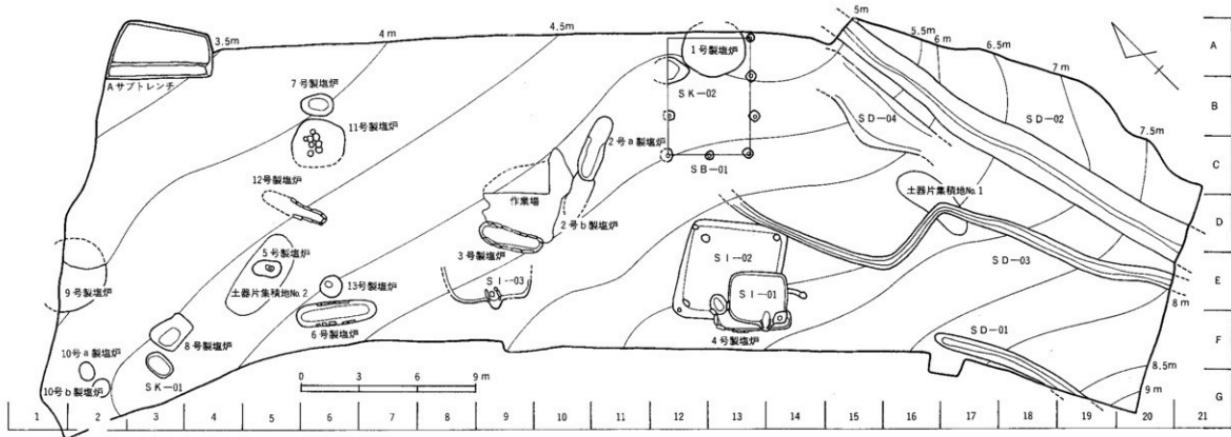
層位	土色	土性	備考
1層	7.5YR3/4 褐褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。小石、灰化物粒、灰、製陶土片群、無土を含む。
2層	5YR4/4 にぶい黄褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。貝がら、製陶土片群、小石灰の固まり。無土灰化物粒を含む。
3層	7.5YR3/3 褐褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら。灰の固まり、灰化物粒を含む。
4層	10YR4/4 褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、小石、貝灰の固まり。灰化物粒を含む。
5層	7.5YR4/4 褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、無土、灰の固まり。小石、貝がらを含む。
6層	7.5YR3/4 褐褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、貝がら。灰の固まり、灰化物粒を含む。
7層	7.5YR4/3 浅褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、小石、灰の固まりを含む。
8層	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。小石、灰化物粒を含む。貝灰の固まりを含む。
9層	7.5YR3/3 褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。貝がら、製陶土片群、灰化物粒、灰の固まりを含む。
10層	7.5YR4/2 灰褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、貝がら。灰、灰化物粒を含む。
11層	5YR4/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。無土、貝がら。灰、灰化物粒を含む。製陶土片群も含む。
12層	5YR5/2 灰褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、無土、灰、灰化物粒を含む。
13層	2.5YR5/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群を含む。
14層	7.5YR4/4 褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。無土、貝がら、灰化物粒を含む。
15層	2.5YR3/2 灰褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。製陶土片群、貝がら(器具)を含む。
16層	7.5YR3/2 褐褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、小石を含む。
17層	7.5YR4/4 褐褐色	砂質シルト	粘性弱くしまり共に弱い。製陶土片群、小石を含む。

層位	土色	土性	備考
18層	7.5YR4/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、炭化物粒を含む。
19層	10YR4/4 黒 蕉 色	シルト 黃砂	粘性しまり共に共なし。製造土器等、貝がら、炭化物粒、小石を含む。
20層	5 YR5/3 にふい赤褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。小石、炭化物粒をわずかに含む。
21層	7.5YR3/3 黑 蕉 色	シルト 黄砂	粘性しまり共に弱い。貝がら、小石、製陶土器等、炭化物粒、灰を含む。
22層	7.5YR4/4 黑 色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、炭化物粒を含む。
23層	7.5YR4/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、炭化物粒をわずかに含み、貝がら、小石、灰の西まりも含む。
24層	5 YR5/2 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、炭化物粒をわずかに含み、灰を多量に含む。
25層	7.5YR4/4 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝がら、灰の回まり、炭化物粒を含む。
26層	10YR7/4 にふい黄褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。灰、貝がら、灰の回まり、炭化物粒を含む。
27層	5 YR3/2 細赤 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。小石、炭化物粒、炭化物粒をわずかに含む。
28層	10YR3/3 にふい黄褐色	シルト 黄砂	粘性しまり共に弱い。灰の回まり、炭化物粒を含む。
29層	7.5YR3/3 にふい褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝の回まり、骨の回まりも含む。
30層	5 YR5/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。伊豫又は床(伊の轟遺跡)と見られる。
31層	10YR2/2 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝がら、炭化物粒、小石(2~8mm)灰を含む。
32層	5 YR5/3 にふい褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、貝がら、炭化物粒、小石を含む。
33層	5 YR3/3 细赤 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、貝がら、炭化物粒、小石を含む。
34層	10YR6/3 にふい黄褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、灰の回まり、貝からを含む。
35層	7.5YR4/2 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝から? (伊の轟遺跡と見られる) 炭化物粒を多く含む。
36層	7.5YR2/2 黑 色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝の回まり、灰の回まり、骨を含む。
37層	5 YR4/3 にふい赤褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝の回まり、灰、炭化物粒を含む。
38層	5 YR2/4 黑 棕 色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器等、貝がら、灰、炭化物粒をわずかに含み、貝がらも含む。
39層	7.5YR3/4 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝がら、灰の回まり、貝からを含む。
40層	10YR6/5 にふい黄褐色	砂	粘性しまり共に弱い。砂、重複層にくぼみがある。貝を含む。
41層	2.5YR4/3 にふい赤褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器片、土器片(風磨跡)、小石、炭化物粒をわずかに含む。
42層	5 YR5/2 細赤 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。製陶土器片、土器片(風磨跡)、小石、炭化物粒をわずかに含む。
43層	5 YR6/3 にふい赤褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝から、灰の回まり、貝からを含む。
44層			基準層の上部
A			灰の根乱
B			根の根乱
C			根の根乱
D			根の根乱

Cライン 4. 3. 2. セクション

層位	土色	土性	備考
1層	7.5YR5/3 にふい褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。鐵、土器片を含む。
2層	5 YR4/3 にふい赤褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、小石、貝から小片を含む。
3層	7.5YR2/2 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、小石、貝がら、炭化物粒を含む。
4層	7.5YR4/3 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、小石、貝がら、炭化物粒を含む。
5層	7.5YR4/3 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、貝がら、炭化物粒をわずかに含む。
6層	7.5YR3/3 细赤 蕉 色	シルト	粘性あらまじり弱い。貝がら小片、小石を含む。
7層	7.5YR4/4 黑 色	シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、貝から小片、炭化物粒を少々含む。
8層	7.5YR3/3 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、小石、貝の貝殻が灰、炭化物粒を多く含む。
9層	7.5YR4/3 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、貝がら、炭化物粒を含む。
10層	7.5YR4/3 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。カキ貝から、土器片、小石、貝石片を含む。
11層	7.5YR2/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性あらまじり共に弱い。貝の回まり、貝石片を多く含む。土器片も含む。
12層	7.5YR3/3 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝から(サザリ)、土器片、鐵(10~20mm)を含む。
13層	7.5YR5/2 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、炭化物粒、貝と骨を含む。
14層	7.5YR4/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。土器片、炭化物粒を含む。
15層	7.5YR4/4 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝の回まり、貝石片をわずかに含む。
16層	7.5YR4/3 黑 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。灰の回まり、カキ貝、土器片、炭化物粒を含む。
17層	5 YR5/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性あらまじり弱い。伊、復又は床(伊の轟遺跡)と見られる。
18層	7.5YR4/2 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性あらまじり強い。灰、貝から? (伊の轟遺跡と見られる) 炭化物粒を多く含む。
19層	7.5YR2/2 黑 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。貝の回まりを多く含み、貝石、骨も含む。
20層	10YR5/4 にふい黄褐色	砂	粘性しまり共に弱い。砂、重複層にいくほど黒くなる。貝がらを含む。
21層	7.5YR3/3 黑 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。
22層	5 YR3/3 细赤 蕉 色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。炭化物粒、土器片、貝がらを含む。
23層	7.5YR3/2 黑 蕉 色	砂	粘性しまり共に弱い。貝がらを含む。
24層	10YR4/4 黑 色	砂	粘性しまり共に弱い。貝がら、土器片を含む。
25層	5 YR2/3 细赤 蕉 色	シルト	粘性しまり共に弱い。伊豫、体櫛標(埋土)か? 炭化物粒の回まり、貝石、貝がらを含む。
26層	10YR4/4 黑 色	砂	粘性しまり共に弱い。
27層	10YR5/4 にふい黄褐色	砂(瓶)	粘性しまり共に弱い。貝がら片を含む。
28層	7.5YR3/3 黑 蕉 色	砂(瓶)	粘性しまり共に弱い。貝がら片を含む。
29層			基本層の上部
A			貝の根乱
B			貝の根乱
C			貝の根乱
D			貝の根乱
E			貝の根乱

水浜遺跡遺構配置図

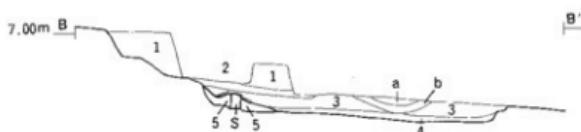
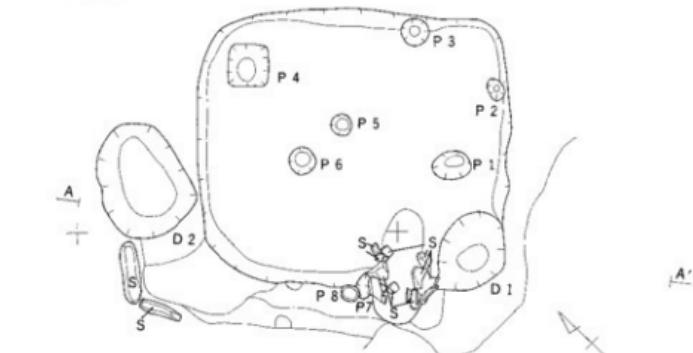


2. 遺構と遺物

(1) 遺構

堅穴住居跡

S I-01 平面図



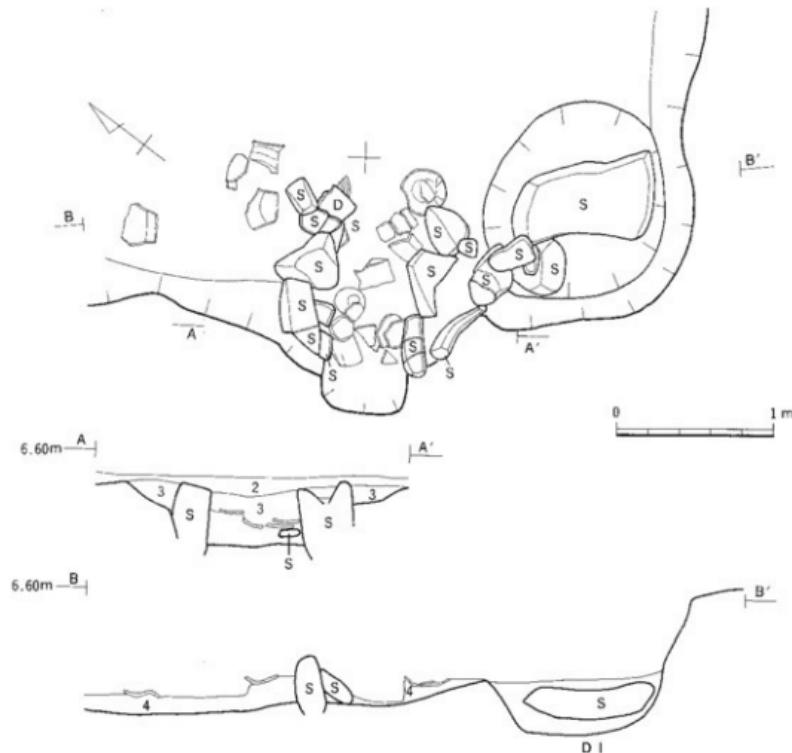
S I-01 セクション (A-A')

層位	土色	土性	備考
1層	7.5YR2/2 黒褐色	粘質シルト	粘性強くしまりあり。バニス、土器等、多量に含む。
2層	7.5VR3/3 緑褐色	粘質シルト	粘性しまり共にあり。バニス、土器等、灰化物多量に含む。
3層	10YR2/3 黒褐色	粘質シルト	粘性しまり共にあり。バニス、土器等、灰化物多量に含む。
4層(未定?)	10YR2/3 黒褐色	粘質シルト	粘性弱くしまり強い。灰化物、土器等を多く含む。
5層(カット壁?)	7.5YR2/2 黒褐色	シルト	粘性弱くしまり強い。灰化物、土器等を多量に含む。
a(便士遺構)	5YR2/6 暗褐色	シルト	便士の底まみ。(とてもかたい)
b(便士遺構)	10YR2/2 黒褐色	A	便性ありしまり強い。便士灰化物を含む。

S I-01 セクション (B-B')

層位	土色	土性	備考
1層	7.5YR2/2 黒褐色	粘質シルト	粘性強くしまりあり。バニス、土器等、多量に含む。
2層	7.5VR3/3 緑褐色	粘質シルト	粘性しまり共にあり。バニス、土器等、灰化物多量に含む。
3層	10YR2/3 黒褐色	粘質シルト	粘性しまり共にあり。バニス、土器等、灰化物多量に含む。
4層(未定?)	10YR2/3 黒褐色	粘質シルト	粘性弱くしまり強い。灰化物、土器等を多く含む。
5層(カット壁?)	7.5YR2/2 黒褐色	シルト	粘性弱くしまり強い。灰化物、土器等を多量に含む。
a(便士遺構)	5YR2/6 暗褐色	シルト	便士の底まみ。(とてもかたい)
b(便士遺構)	10YR2/2 黒褐色	A	便性ありしまり強い。便士灰化物を含む。

SI-01 カマド部



SI-01 カマド内セクション (A-A')

層位	土色	土性	備考
2層	7.5YR3/3	褐色	粘質シルト 鉄化しそう美にあり。バクス、土器片、炭化物多量に含む。
3層	10YR2/3	黒褐色	粘質シルト 鉄化しそう美にあり。バクス、焼けた施灰层。土器片、粘土、炭化物多量に含む。

SI-01 カマド内セクション (B-B')

層位	土色	土性	備考
4層	10YR2/3	黒褐色	粘質シルト 粘性強くしまり強い。炭化物、土器片を多く含む。
D I	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト 粘性しまり共にあり。土器片を含む。炭化物を多く含む。

S I - 01

<確認層位> 灰層

<重複> S I - 02 を埋めた後に構築されている。また、4号製壺炉と重複しており、これらの遺構よりも新しい。

<増改築> なし。

<平面形・方向> 南北軸300×東西軸260cm程の方形プランである。

<堅穴内層位> 堅穴内の埋め土は4層からなる。

<壁の状況> 床面までの残存壁の深さは、10~20cm程である。

<床面> ほぼ平坦である。

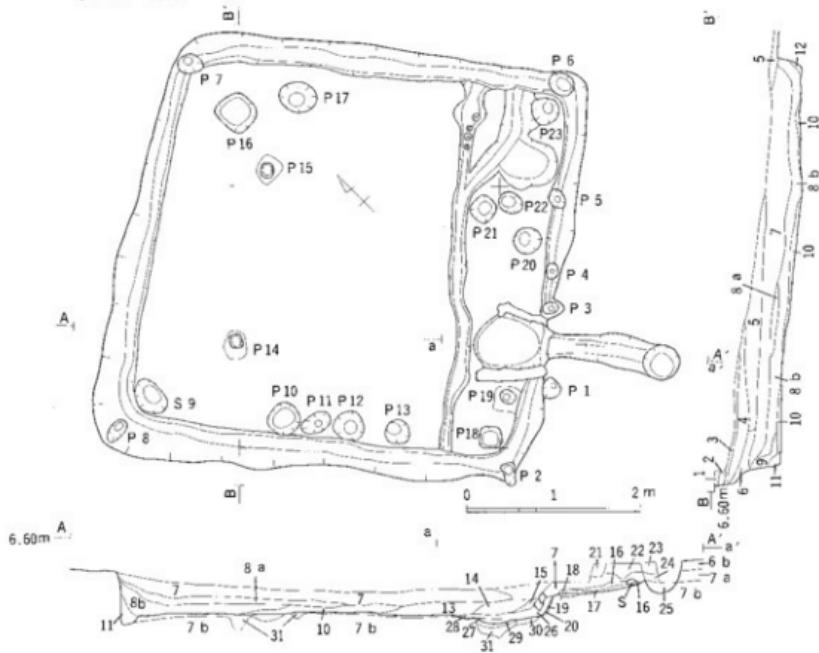
<柱穴> 堅穴内のピットは6個である。各ピットの深さは1-31 2-13 3-24 4-8 5-10 6-21cmとなっている。

<周溝> なし。

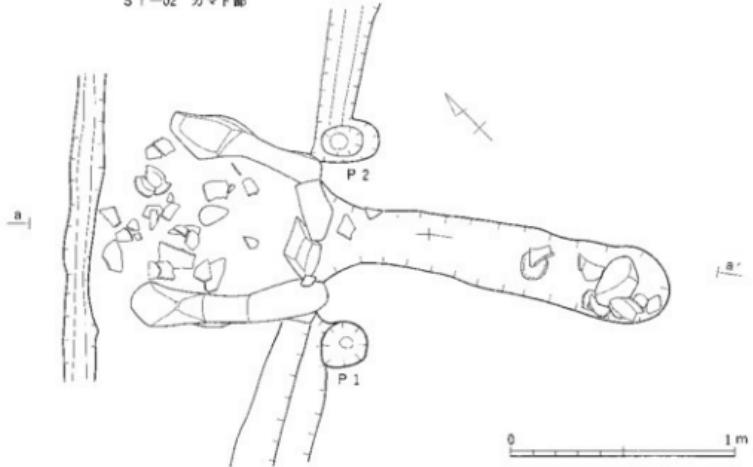
<炉・カマド・煙道> 勢穴の南壁にカマド焚口部がみられる。焚口の袖部は長さ60×幅30cmほどで、煙道は確認できなかった。

<貯蔵穴> 焚口の左側に60×80cm、深さ25cmの掘り込みがみられる。

S I - 02 平面図



S I-02 カマド部



S I-02 セクション (A-A') カマドセクション (a-a')

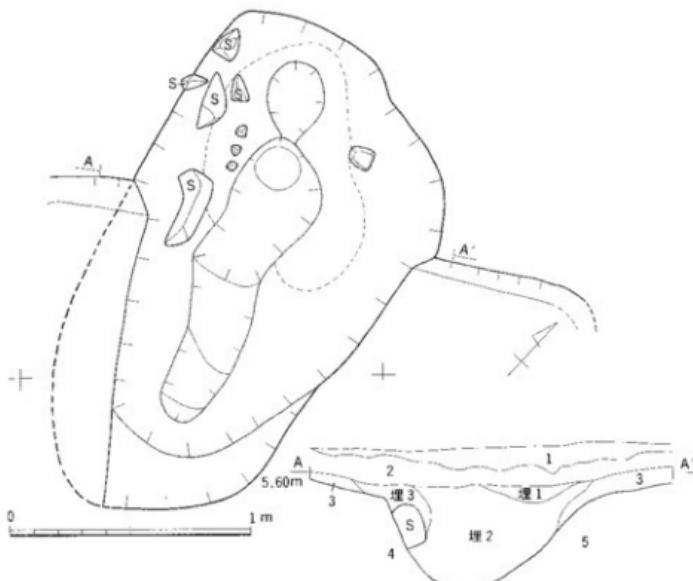
層位	土色	土性	備考
7層	7.5YR3/3 黒 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。4~5mmの礫状地粒を多く含む。
8上層	10YR2/3 黒 褐 色	粘質シルト	地盤弱くしまり強い。
8下層	7.5YR2/3 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。10YR6/6のブロックを含む。
10層	7.5YR4/3 紫 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山(26層)ブロックを含む。
13層	10YR3/1 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。
14層	10YR2/3 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。無分化物少しだけ。
15層	10YR3/4 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山、炭化物を多く含む。
16層	7.5YR4/3 紫 色	シルト	地盤弱くしまり強い。地山。(5YR3/4)
17層	7.5YR2/2 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山、炭化物を少し含む。
18層	7.5YR3/3 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。地山。(5YR3/4)
19層	7.5YR4/3 紫 色	シルト	地盤ありしまり強い。地山。(5YR3/4)堆積の表面が残っている。 高木層位と層の間に削削土。
20層	10YR3/4 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山。土器片を多く含む。
21層	10YR2/2 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山、炭化物を多く含む。
22層	10YR3/4 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山、炭化物を含む。
23層	10YR3/2 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。21層とそっくり
24層	10YR3/2 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山と炭化物を含む。
25層	10YR3/4 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山と炭化物を含む。
26層	7.5YR5/6 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山と炭化物と土器を多量に含む。
27層	10YR3/3 黑 褐 色	粘	地盤弱くしまり弱い。地山と炭化物を多く含む。
28層	10YR4/3 深い黄褐色	粘	地盤弱くしまり共にあり。粘土に近い地山。(S I-02床面を東西方向に走る小溝)
29層	5YR8/8 黄赤 褐 色	粘	上層・側面、カマド跡成因。
30層	10YR4/3 紫 色	粘	地山は堅硬と炭化物を多く含む。カマド床面。
31層	7.5YR5/6 黑 褐 色	粘	地盤と同様。10YR3/2黑褐色の4~5cmのブロックが混む。

※6 b・7 a・7 bは基本層

S I-02 セクション (B-B')

層位	土色	土性	備考
1層	10YR3/3 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。
2層	10YR3/2 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。10YR6/6(7 b層?)の貼床。
3層	10YR3/3 黑 褐 色	シルト	地盤ありしまり強い。
4層	10YR2/3 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。10YR6/6(7 b層?)の貼床。
5層	7.5YR3/3 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。炭層、地盤土量多量に含む。
6層	10YR3/2 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。
7層(底)	7.5YR3/3 黑 褐 色	シルト	地盤弱くしまり強い。4~5mmの礫状地粒を多く含む。
8a層(壁2a)	10YR2/3 黑 褐 色	粘質シルト	地盤弱くしまり強い。
8b層(壁2b)	7.5YR2/3 黑 褐 色	粘質シルト	地盤弱くしまり共にあり。10YR6/6のブロックを含む。
9層	10YR5/6 黄 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山(7 b層)泥盛土か?
10層	7.5YR4/3 紫 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。地山(7 b層)ブロックを含む。
11層	10YR3/4 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。
12層	10YR3/1 黑 褐 色	粘質シルト	地盤しまり共にあり。

S I -02 床面下部落み込み



S I -02 床面下部落ち込みセクション

層位	土色	土性	標	考
1層		高木層 5層の瓦礫層分。		
2層	10YR3/2 黒褐色	粘性シルト	基本層 5層の下部、無灰岩粒、炭化物粒、腐植土層の混入。	
3層			基本層 6層	
4層			基本層 7-8層(崩立層)	
5層			基本層 7-8層	
埋1	10YR2/3 黒褐色	粘質シルト	上部層分、無灰岩粒。	
埋2	5YR1/1 黄色	粘質シルト	中央部より鶴見土等日本式瓦礫、無灰岩粒、壳石。	
埋3	10YR1/2/1 黑色	粘質シルト		

S I -02

<確認層位> 5層

<重複> S I -01と重複している。

<増改築> 東南面壁のカマド焚口付近に溝がみられるが、窓穴内のセクションからは増改築の後は認められない。

<平面形・方向> 500×500cmの方形プランである。

<窓穴内層位> 窓穴内の埋め土は15層からなる。

<壁の状況> 残存壁高は30~50cmで南西方壁の保存がよく、床面からほぼ垂直に立ち上がる。

<床面> ほぼ平坦である。

<柱穴> 窓穴内のビットは23個観察されるが、このうち床面を掘り込んでいるもの

は、P 13~23である。周溝及び壁の立ち上がりにあるものはP 2~8であり、P 2・6・7・8は堅穴コーナーに位置している。各ピットの深さは、

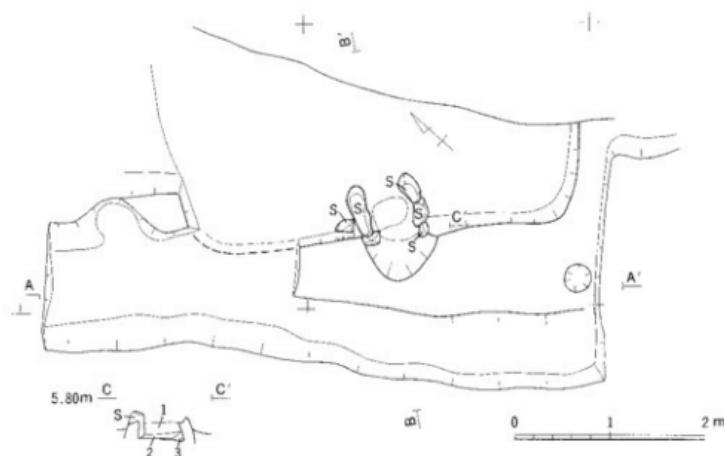
1~52	2~51	3~33	4~19	5~35	6~36	7~37	8~66	9~7
10~6	11~2	13~5	14~32	15~23	16~9	17~31	18~5	19~10
20~23	21~18	22~18	23~18					

cmである。

〈周溝〉 堅穴内の壁に沿って幅16~25cm、深さ5~10cmの周溝がみられる。

〈かまど・煙道〉 南西方壁の南寄りにカマドが確認できる。カマドの焚口は80×60cmで凝灰岩を方形に整形して袖を構築している。煙道は幅40cm長さ150cmで、先端の煙口出し部に深さ45cmのピットが認められる。

S I - 03 平面図



S I - 03 セクション (A-A')

層位	土色	土性	積		考
			高	低	
1層	10YR2/3 黒褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5~1cmの小石を含んでいる。(ピット)		
2層	10YR2/3 黒褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5~5cmの小石を含む。また、にじ、黄褐色の土も含んでいる。		
3層	10YR2/2 黒褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5~5cmの小石を含んでいる。		
4層	10YR3/3 茶褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5cm以内の小石を多量に含んでいる。		
5層	10YR2/3 黒褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5cm以内の小石を含んでいる。(ピット)		
6層	10YR4/3 にじ、黒褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5~2cm程の小石を含んでいる。		
7層	2.5Y6/6 新黄褐色	シルト	粘れしまり無にあり。0.5~2cm程の小石を含んでいる。堅度良好(強)		

S I-03 セクション (B-B')

層 収	上 色	土 性	質 考
1層	5YR2/1 黒 色	シ ル ツ	粘性弱くしまりあり。5mm内外の小石を含んでいる。
2層	10YR2/3 黑 色	シ ル ツ	粘性弱くしまりあり。5mm内外の小石を含んでいる。
3層	10YR4/3 にふい 黑褐色	シ ル ツ	粘性しそう共にあり。カマドの前の鐵鉢片が埋められたものと想定している。(カマド壁土)
4層	5YR3/3 海洋 黑色	シ ル ツ	粘性しそう共にあり。カマドの前の鐵鉢片が埋められたものと想定している。(カマド壁土)
5層	10YR4/2 黑 黄褐色	シ ル ツ	粘性あり。しまり強。5mm内外の小石を含んでいる。(粘り度高)
6層	10YR2/1 黑 色	シ ル ツ	粘性弱くしまりあり。5mm内外の小石を含んでいる。(重りすぎ)

S I-03 カマド内セクション (C-C')

層 位	上 色	上 性	質 考
1層	10YR3/3 黑 色	シ ル ツ	粘性弱くしまり共にあり。5mm内外の小石と灰化物を含んでいる。
2層	10YR4/3 にふい 黑褐色	シ ル ツ	粘性弱くしまり共にあり。5mm内外の小石を含んでいる。
3層	10YR3/2 黑 色	シ ル ツ	粘性弱くしまり共にあり。5mm内外の小石とカマド用の引抜物を含んでいる。

S I-03

<確認層位> 5層

<重複> なし。

<増改築> なし。

<平面形・方向> 南側壁と西壁の一部を残すのみであるが、400×400cmの隅丸方形になると思われる。

<堅穴内層位> 6層からなる。自然堆積土である。

<壁の状況> 残存壁高は9~13cmほどで、ゆるやかに立ち上がりっている。

<床面> 北東部分が切られているため詳細は不明だが、残存部は平坦である。

<柱穴> なし。

<周溝> なし。

<炉・カマド・煙道> 残存する南壁中央部にカマドの焚口袖がみられる。長さは70cm幅50cmほどで、凝灰岩を整形して構築している。煙道は確認できなかった。

掘立て柱遺構

S B-01

12・13-A~C区で確認された掘立て柱遺構である。確認層位は5層である。

規模は600×400cmで、3間2間。1号製塩炉及びSK-02と重複しており、これらよりも古い。

溝状遺構

S D-01

確認層位は5層で、16~19-F区。幅60~80cm(最小~最大幅)、深さは10cmほどである。

S D-02

確認層位は5層。20-D区から15-A区に向かいほぼ磁北にそってのびている。幅160~200cm、深さ15~60cmほどである。

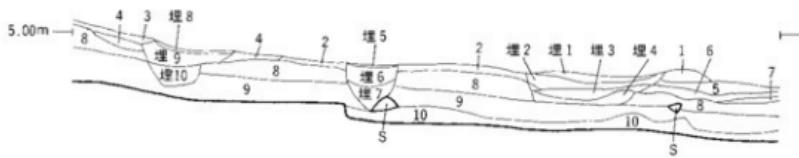
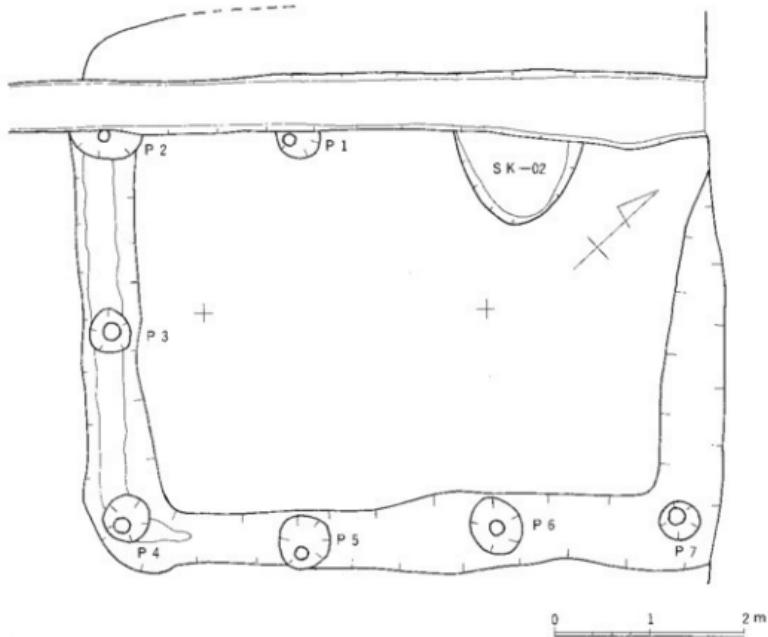
S D-03

確認層位は灰層。幅40~80cm、深さは25cmほどある。16-D区で湾曲し、13-C区で消滅している。

S D-04

確認層位は5層。15・16-B区で確認。幅160~270cm、深さ15cmほどである。

S B-01, S K-02



12-A～C 南壁 (S X-02) セクション

層位	ナ イ ル 色	上 地	下 地	備 考
堆上1	7.5Y R1.7/1墨	色	シ ル ム	炭化物質。
堆上2	10Y R3/2 黒	色	粒質シルト	堆積、小石、炭化物質。土器を含む。
堆上3	7.5Y R1.7/1墨	色	シ ル ム	炭化物質。
堆土4	10Y R2/3 黒	色	粒 土	堆積、小石、土器を含む。
堆土5	7.5Y R1.7/1墨	色	シ ル ム	炭化物質。
堆上6	7.5Y R3/2 黒	色	粒質シルト	堆積、小石を含む。
堆上7	10Y R2/3 黑	色	粒質シルト	堆積、小石を含む。
堆上8	7.5Y R1.7/1墨	色	シ ル ム	炭化物質。
堆土9	7.5Y R3/4 灰	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
堆上10	10Y R2/2 黑	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
1層	7.5Y R3/3 墓	色	シ ル ム	粒状に至り岩があり。無灰岩質。小石、砂土質。更に砂質。土器を含む。
2層	10Y R2/2 黑	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
3層	10Y R2/2 黑	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
4層	10Y R2/2 黑	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
5層	7.5Y R3/2 黑	色	シ ル ム	無灰岩質。小石を含む。
6層	7.5Y R1.7/1墨	色	シ ル ム	無灰岩質。小石を含む。
7層	7.5Y R3/4 墓	色	粒質シルト	無灰岩質。小石を含む。
8層	10Y R3/2 黑	色	シ ル ム	無灰岩質。小石を含む。
9層				基本層に近似。
10層				基本層に近似。

土 壤

S K-01

確認層位は灰層。3-F区にあり50×150cmほどの橢円形で、深さは16cmである。

S K-02

確認層位は5層。12-B区にあり100×140cmほどの橢円形と思われる。深さは35cmである。

S K-03

確認層位は灰層である。13-E区にありS I-01に隣接している。90×110cmの橢円形で、深さは25cmほどである。

製塙遺構

製塙炉は13カ所で確認されたが、構造形態から次のように分けられる。

A類——石敷きで円形・橢円形の平面プランのもの。

B類——土堤。

C1類——貝灰堤の円形のもの。

C2類——貝灰堤の橢円形のもの。

D1類——石組（凝灰岩を方形に整形し構築）で長橢円形のもの。

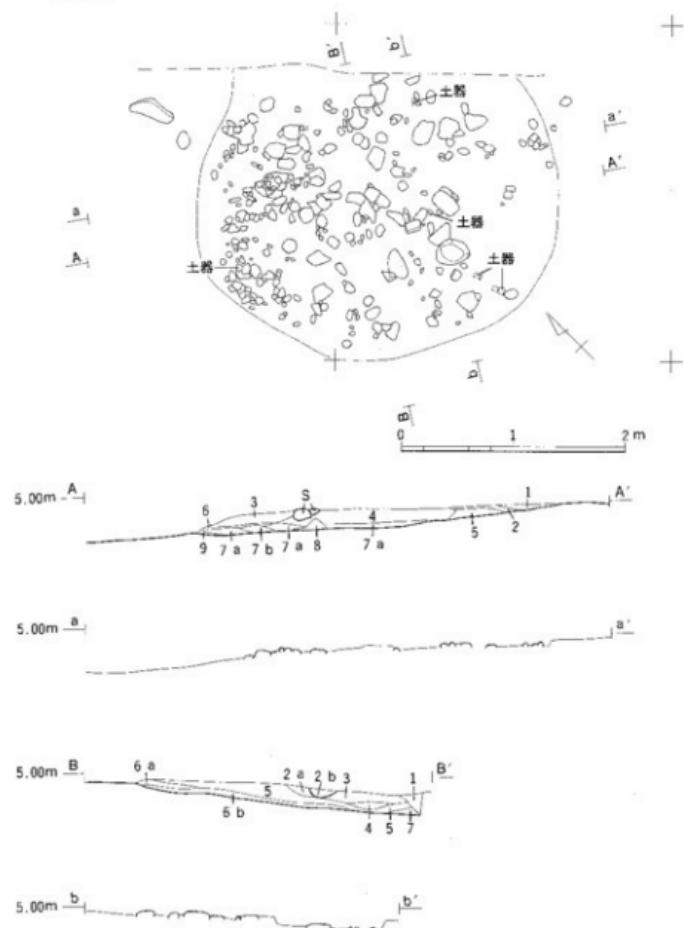
D2類——石扉（凝灰岩と河原石とで構築）で長橢円形のもの。

A類には1号炉がこれに相当し、B類には8号炉。C1類は9号・10a号・10b号・11号がこれにあたる。C2類は2a号・2b号・5号・7号が、D1類には3号と12号が、D2類には4号と6号があつてはまる。なお、貝灰堤とは土堤に含めてよいとも考えられたが、粘土に貝灰を混ぜて堤状に構築していることから土堤とは区別した。

1号製塩炉

確認層位は灰層。12・13-A区で認められた。橢円形の平面を呈し、10~20cm位の礫が不規則に散き詰められている。中央部はあまり火を受けた形跡は認められないが、周辺になるに従い、炭化物が多くみられ碳もろくなっている。製塩土器片の混入はあまりなかった。

1号製塩炉



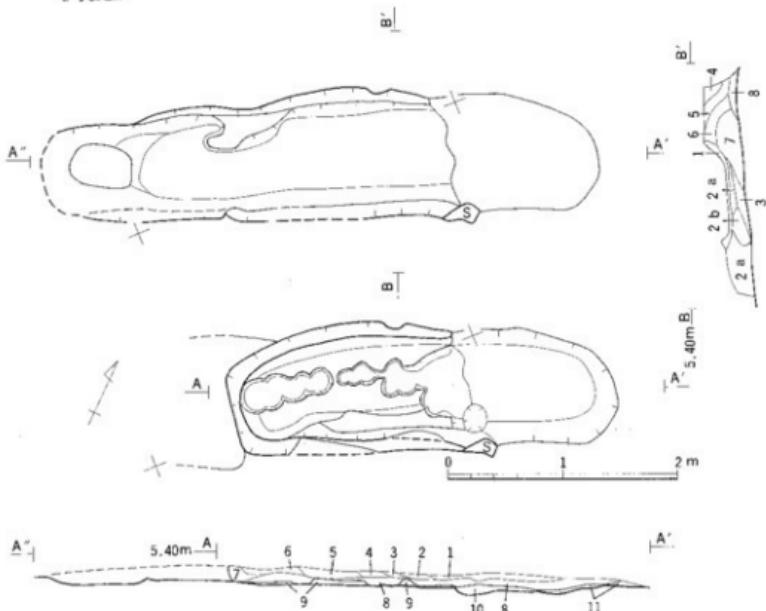
1号製塩炉セクション (A-A')

層位	土色	土性	備考
1層	7.5YR3/3 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。3~8%の小礫と30~50%の中礫及び強化土質を含む。礫は抜けている。
2層	7.5YR3/3 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。20~50%の中礫を多く含む。また炭化物を多量に含んでいる。礫は抜けている。
3層	5YR3/3 黒赤褐色	シルト	見掛けにくくしまりあり。3~20%の小礫と30~50%の小礫を多く含む。また炭化物を少量含んでいる。礫は抜けている。
4層	2.5YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。30~100%程の火薬を多く含む。また堅密土壤、炭化物を少量含んでいる。灰をゴロゴロ含み、礫は抜けている。
5層	7.5YR3/4 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。炭化物、堅密上層片を少々含む。また灰を含んでいる。礫は抜けている。
6層	5YR3/2 黑赤褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。炭化物を多く含んでいる。礫は抜けている。
7a層	7.5YR4/2 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。2~5%の小礫及び同程度の堅密土質を含む。また炭化物を少量含む灰層である。礫は抜けている。
7b層	2.5YR3/3 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。2~5%の小礫を含む。また炭化物を含んでいた灰層である。礫は抜けている。
8層	7.5YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。2~4%の小礫、炭化物を多く含んでいる。礫は抜けている。
9層	7.5YR1.7/1 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。炭化物層。

1号製塩炉 (B-B')

層位	土色	土性	備考
1層	10YR3/2 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。鉄の錆斑点の混入。
2a層	2.5YR2/3 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。2~5%の小礫とわずかに堅密土層片を含む。灰層。
2b層	5YR3/4 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。2~5%の小礫と炭化物をごくわずかに含んでいる。灰層。
3層	7.5YR4/3 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。2~4%の小礫及び炭化物を含む。灰層。
4層	3YR2/4 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。
5層			A-A'の3層に対応。
6a層	7.5YR3/3 黑褐色	シルト	粘性弱くしまりあり。堅密上層片1~3%の小礫及び炭化物を含む。灰層。
6b層			A-A'の2a層に対応。
7層	10YR6/3 黑褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。炭化物をわずかに含む。灰層。

2号製塩炉



2号製塩炉セクション (A-A')

層 名	土 色	土 性	備 考
1層	7.5YR2/L 黒 色	シルト	粘性なくしまり弱い。炭化物、貝から、製塩土颗粒を含んでいる。
2層	7.5YR4/3 黒 色	シルト	粘性なくしまり弱い。灰岩(約1-2cm)と炭化物層(約0.8cm)が交互に重なっている。(灰2層+灰1層の3層)
3層	7.5YR2/2 黑 褐 色	シルト	粘性なくしまり弱い。灰岩と炭化物を含むが灰岩に覆うる灰岩(灰4層+灰3層=7層)
4層	7.5YR2/3 黑 褐 色	シルト	粘性なくしまり弱い。灰岩と炭化物を含むが灰岩に覆うる灰岩(灰4層+灰3層=7層)
5層	7.5YR2/1 黑 褐 色	シルト	粘性なくしまり弱い。炭化物を多く含み製塩土颗粒も少く含まれている。
6層	7.5YR6/2 黑 褐 色	シルト	粘性なくしまり弱い。灰岩と炭化物層が交互に重なっている(灰2層+灰1層)。
7層	7.5YR2/2 黑 褐 色	シルト	粘性なくしまり弱い。炭化物を多く含み、製塩土颗粒をわずかに含んでいる。
8層	7.5YR6/3 にぶい褐色	シルト	粘性なくしまり弱い。灰岩(約2cm)と炭化物層(約0.8cm)が交互に重なっている(5層?)貝から貝内側の灰岩を含む。
9層	7.5YR7/2 黑 褐 色	シルト	灰岩層(層?)一帯灰岩の黒い貝灰岩に重なっている。
10層	7.5YR6/3 にぶい褐色	シルト	粘性なくしまり弱い。上層(8層)と違い層(10層)は炭化物層がなく貝殻にまばらに炭化物層を含んでいる。貝殻に貝から貝を含む。
11層	5YR4/4 にぶい褐色	シルト	粘性なくしまり弱い。貝がらを含む。灰岩(伊賀等高層部?)。

2号製塩炉セクション (B-B')

層 名	土 色	土 性	備 考
1層			東西セクション1層と対応(2号炉)。
2a層	7.5YR4/4 褐 色	シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰、炭化物層をわずかに含んでいる。
2b層	7.5YR5/2 黑 色	シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰炭化物層をわずかに含む灰のブロック。
3層			(A-A')断面と対応する。
4層	7.5YR4/3 褐 色	砂質シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒の混入がわずか。
5層	5YR3/4 褐 赤 褐 色	砂質シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰、貝の颗粒を含んでいる。
6層	7.5YR5/3 にぶい褐色	シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰、貝の颗粒を含む貝殻の固まりがブロック状に密集成している。
7層	7.5YR5/2 黑 褐 色	シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰を含んでいる貝殻の固まりのブロックが密集している貝殻。
8層	7.5YR4/4 褐 色	シルト	粘性弱くしまり弱い。貝殻土颗粒、貝がら灰、炭化物層、黄褐色颗粒をわずかに含んでいる。

2a号製塩炉

11-C区、灰層で認められた。平面形は80×340cm程の長楕円形で、周囲を貝灰で堤状に構築している。深さは約30cmである。床面はかたくしまった灰層と、その下にやわらかい灰層、炭化物層と続く。この3層がセットになっており、全部で3セットが観察された。各層厚は1cmほどである。床面に連続形の平坦な落ち込みがみられる。バケツ型の製塩土器をおいた跡とも思える。

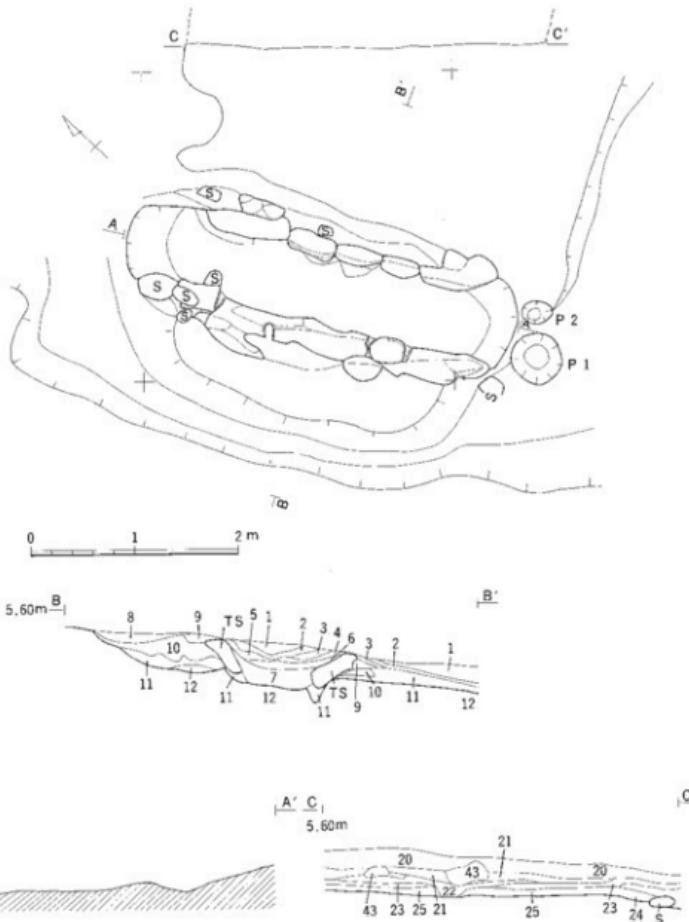
2b号製塩炉

2a号製塩炉と重複している。80×480cm、深さ33cmの長楕円形の平面。周囲の堤部を貝灰で構築している。床面はほぼ平坦で、貝灰と炭化物層が交互に積み重なってみられる。

3号製塩炉

9-D区、灰層で認められた。規模は60×340cm、深さ40cmの長楕円形でS I-03の平面プラン内にある。堤の部分は、凝灰岩を方形に切り出して構築している。床面はほぼ平坦でかたくしまっている。

3号製塩跡



3号製塩跡セクション (B-B')

層位	上	中	下	特徴	標
1層	10Y 2/4/6	暗 色	シル	柱状節くずしあり。鉄斑土岩付。鐵礫、貝の壳片、炭化物。層の中間に層2(細粒)灰を含む。	
2層	7.5Y R3/3	暗 色	シル	右側しまさり灰に詳い。鉄斑土岩片。貝の壳、貝殻等で鉄物を含んでる。	
3層	7.5Y R4/4	暗 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。鉄斑土岩片。貝がら小片。小礫、炭化物。灰を含んでる。	
4層	7.5Y R4/3	暗 色	シル	鉄性なくしまさり灰。鉄斑土岩片。鈍石を含んでる。	
5層	7.5Y R5/4	こぶし褐色	シル	鉄性なくしまさり灰。凹凸。鉄斑土岩片。鈍石を含んでる。	
6層	7.5Y R3/3	黒 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。鉄斑土岩片。	
7層	7.5Y R5/6	男 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。鉄斑土岩片。砂灰。鉄斑土岩片。灰を含めてる。鉄の内 れには7.5Y R5/5(赤褐色)抜けている。	
8層	7.5Y R3/5	暗 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。砂灰(10~20cm)と礫土多く含む。	
9層	7.5Y R5/4	こぶし褐色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。所々鉄鉱と灰を含む。	
10層	7.5Y R2/5	暗 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。所々鉄鉱と灰を含む。	
11層	7.5Y R2/3	暗 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。所々鉄鉱と灰を含む。	
12層	7.5Y R2/2	暗 色	シル	鉄性しまさり灰に詳い。	

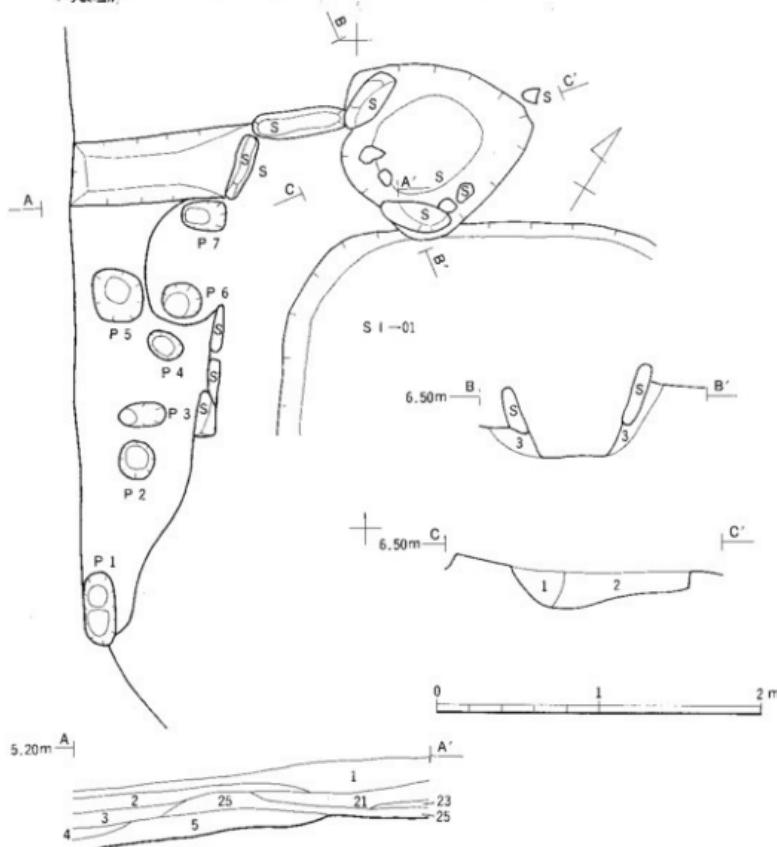
3号炉作業場セクション (C-C')

番 位	土 色	土 性	詳 考
20番	10YR3/1 黒 緑 色 シ ル ト	粘性しまり良い弱い。灰層、貝がら、褐炭鉄粒を含む。	Cセクション8, 9に対応
21番	10YR3/3 緑 緑 色 シ ル ト	粘性しまり良い弱い。灰層、土器、炭化物を含む。	
22番	10YR3/4 緑 緑 色 シ ル ト	粘性強くしまり弱い。土器、炭化物を含む。	
23番	2.5YR4/3 緑 色 褐質シルト	粘性しまり弱い。土器、炭化物、貝壳を含む。	
24番	10YR4/4 緑 色 シ ル ト	粘性しまり弱い。灰、灰炭鉄粒、貝壳を含む。	
25番	10YR5/2 灰 黄 褐 色 シ ル ト	粘性なくしまり強い。貝の底面、灰炭鉄粒、貝壳を含む。	
43番	10YR5/2 灰 黄 褐 色 シ ル ト	粘性なくしまり強い。貝の底面、灰炭鉄粒、貝壳を含む。	

4号製塩場

13-F区の灰層で認められた。S I-01と重複しているが、70×380cmほどの長椭円形と思われる。深さは35cmで、堤部を凝灰岩の切り石と河原石で構築している。

4号製塩場



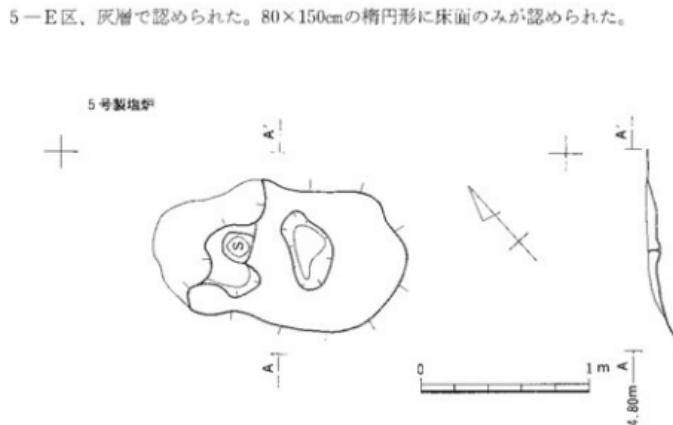
4号製塩炉セクション (A-A')

層位	上色	土性	層考
1層	10YR4/6 黄褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。灰層、貝がら、礫灰岩塊、土器、骨石を含む。
2層	5YR4/2 灰褐色	シルト	粘性しまり黄になし。灰土、炭化物類、土器を含む。
3層	10YR4/3 黄褐色	粘質シルト	粘性あり、しまり弱い。灰土、灰を含む。
4層	10YR5/6 黄褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。灰層、炭化物、灰土、礫石、小石、貝がら等、土器を含む。
5層	-	-	-
21層	10YR3/3 黑褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。灰層、土器、炭化物を含む。21~25層はCセクションに対応。
23層	7.5YR4/3 灰褐色	粘質シルト	粘性しまり黄に弱い。土器、炭化物、灰土を含む。
25層	10YR5/2 黑褐色	シルト	粘性なく、しまり強い。樹立灰と炭化物がサンドイッチ状になった底面。

4号製塩炉セクション (B-B', C-C')

層位	土色	土性	層考
1層	7.5YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。炭化物、土器を多く含む。
2層	7.5YR3/2 黑褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。15~17cmの根根岩を多く含む。炭化物、上岩片を含む。(1層より多い) 黄褐色土を認めた。
2層	7.5YR3/2 黑褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。小砾を含む(2~3mm程) 黄褐色土をわずかに含む。

5号製塩炉



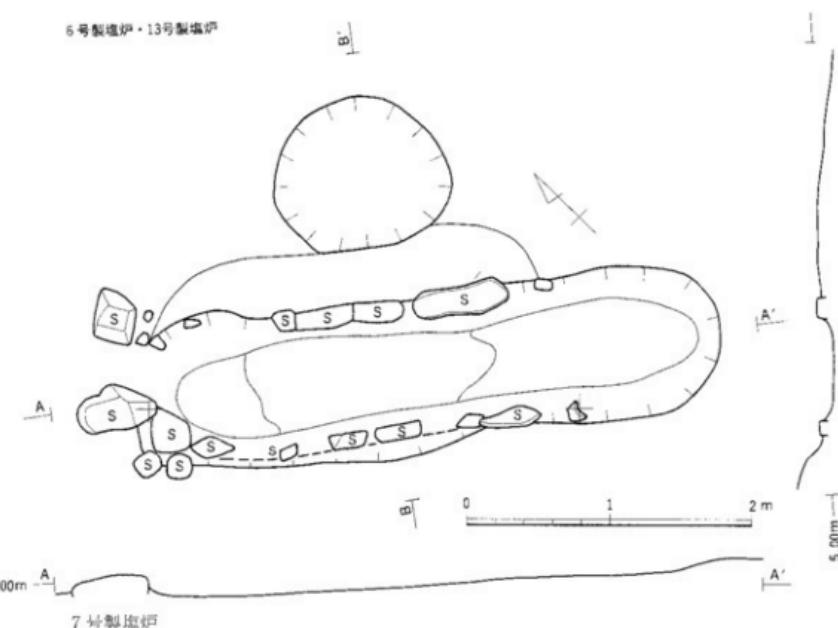
5号製塩炉セクション (A-A')

層位	土色	土性	層考
1層	7.5YR3/3 黑褐色	シルト	粘性しまり黄に弱い。製塩土岩片が多く、小砾からをわずかに含む。

6号製塩炉

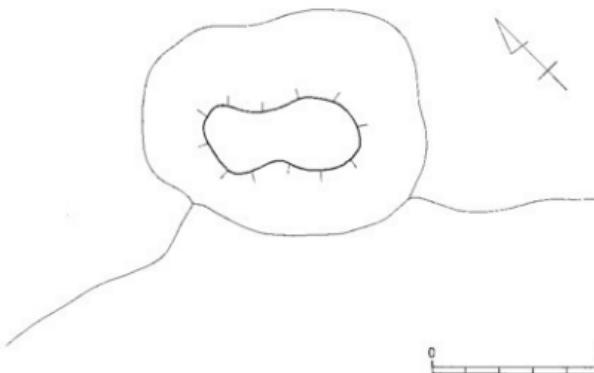
6-E・F区、灰層で認められた。80×450cm、深さ20cmの長楕円形で、堤部は4号と同じように凝灰岩と河原石とで構築している。

6号製塙炉・13号製塙炉



6—B区、灰層で認められた。床面のみが残存しており、40×90cmの楕円形を呈し、貝灰による堤部構築と思われる。

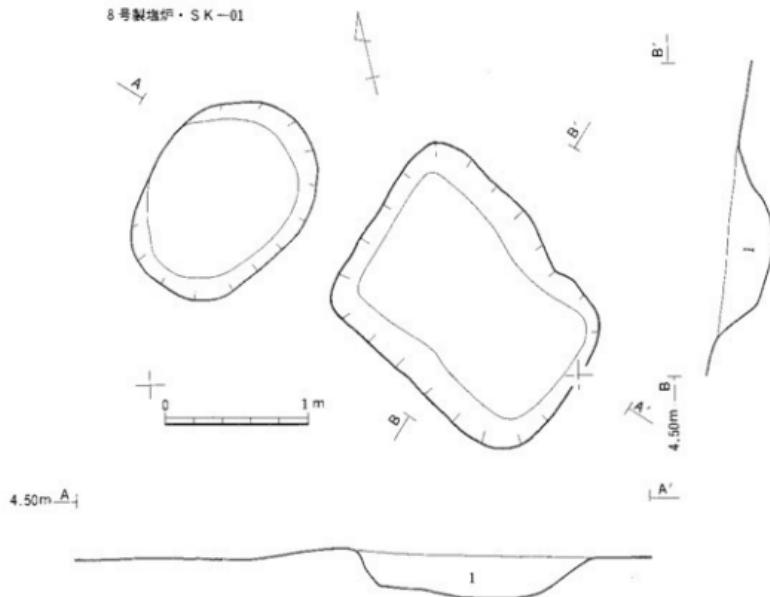
7号製塙炉



8号製塩炉

3-F区、灰層で認められた。140×200cm、深さ30cmの楕円方形で、土堤である。

8号製塩炉・SK-01



8号製塩炉セクション (A-A')

層位	土色	土性	備考
1層	10YR17/1 黒 色	シルト 質物、小石、土器片を含む。	

SK-01 セクション (B-B')

層位	土色	土性	備考
1層	10YR2/2 黒 色	シルト 質物、瓦、貝殻、土器片を多量に含む。	

9号製塩炉

2-E区、灰層で認められた。床面のみで約3分の1が残っているだけであるが、直径360cmほどの円形になると思われる。貝灰堤。

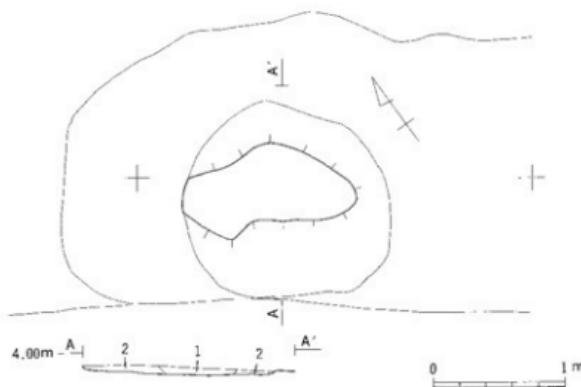
10a・b号製塩炉

2-G・F区、灰層で認められた。いずれも床面のみで、直径100cmほどの円形である。貝灰堤。

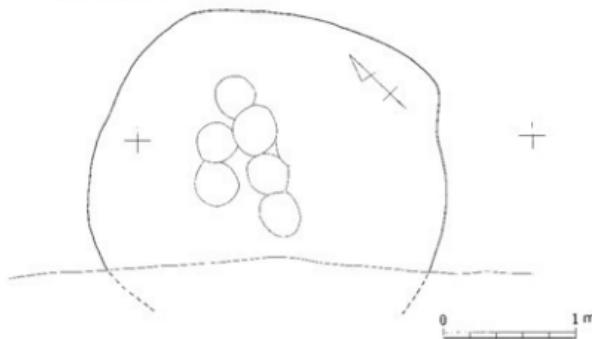
11号製塩炉

6-B・C区、灰層で認められた。床面のみが残存しており、200×280cmほどの梢円形である。床面に上器を置いたかのような、痕跡が認められる。貝灰堤。

11号製塩炉



11号製塩炉断面



11号製塩炉セクション

番号	土色	土色	備考
1番	7.5YR5/2	赤褐色	シルト 粘性なくしまり強い。貝灰の固まり、硬い。貝がらを含む。
2番	5YR4/6	赤褐色	シルト 粘性しまり共になし。製塩上場貝がらを含む。 ※1、2番は炭化物を多く含む層の上にある。灰層の下部の黄色土層の一帯が硬い。(作業面か)

12号製塩炉

5・6—D区、5層で認められた。70×400cmの長椭円形で、北側半分の堤部は破壊されている。凝灰岩の石組。

13号製塩炉

6—E区、灰層で認められた。直径120cmの円形で、床面のみが残存している。貝灰が周辺部に見られることから、貝灰による堤と思われる。

その他の遺構

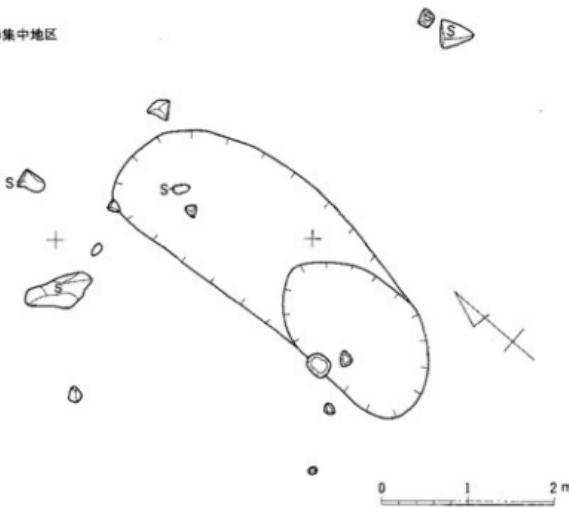
作業場跡

作業場と考えられるのは、2 b号及び3号製塩炉に挟まれた9・10—C・D区で確認された。層厚2~3cmほどの貝灰と灰層、それに炭化物層がセットで積み重ねられており、炉から掻き出したものを平坦に叩きしめたと思われる。

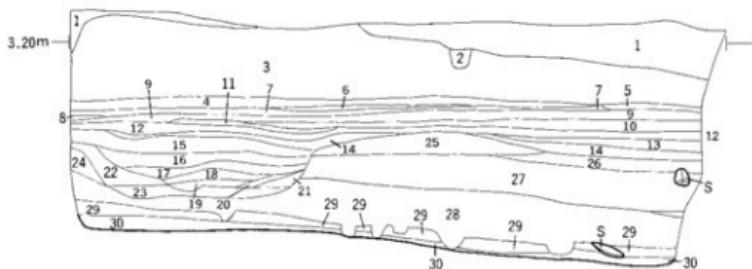
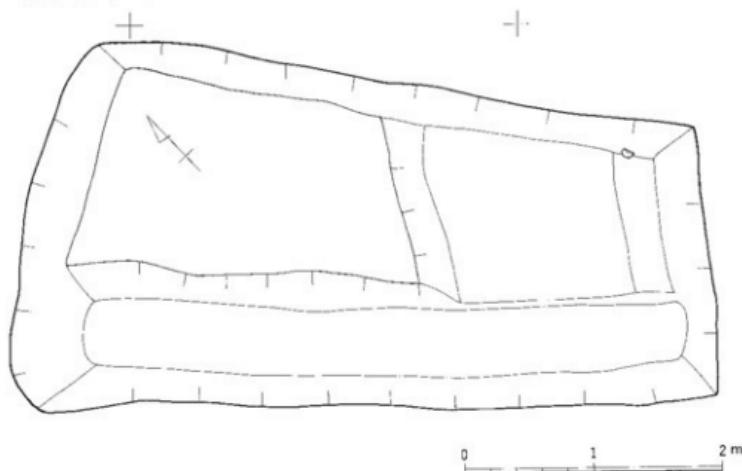
土器片集積地

製塩の土器片が集中してみられる箇所が、16・17—C・D区と5—D・E区とで認められた。いずれも小破片のみであり、意図的に捨てられた可能性が大きい。

土器集中地区



A ラインサブトレンチ



A サブトレンチセクション

層位	土色	土性	備考
1層	10YR3/3 黑褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。上部に多量に含む。貝を含む。
2層	10YR4/3 にがい黄褐色	砂質シルト	粘性弱くしまりなし。ビン類?
3層	2.5Y5/3 黄褐色	砂	粘性しまり共になし。貝がら、土器片(漢文→平安)小片等を含む。
4層	10YR2/1 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。貝がら?
5層	7.5YR5/6 黃褐色	シルト	粘性しまり共にあり。民土か?
6層	7.5YR4/4 黑褐色	砂	粘性しまり共になし。貝がらを含む。
7層	7.5YR3/1 黑褐色	砂質シルト	粘性なく、しまり弱い。炭化物、瓦?らしきもの貝がらを含む。
8層	7.5YR3/1 黑褐色	砂質シルト	粘性しまり共にあり。
9層	10YR4/3 にがい黄褐色	砂	粘性しまり共になし。貝がらを含む。砂が細い。
10層	10YR3/3 黑褐色	砂	粘性しまり共になし。貝がらをわずかに含む。炭化物もわずかに含む。砂が9層より細かい。
11層	10YR3/2 黑褐色	砂	粘性しまり共になし。貝の壳をわずかに含む。
12層	10YR3/1 黑褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝の殻、遺物類、貝がらを含む。
13層	2.5Y5/3 黄褐色	砂	粘性しまり共になし。小石、貝がらを多く含む。

Aサブレンチセクション

層位	土色	土性	備考
14層	7.5YR3/3 黒褐色	砂質シルト	粘性しまり共に弱い。貝がら、鉄化物を少量含む。
15層	10YR2/2 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。小石を多く含む。
16層	10YR3/2 黒褐色	シルト	粘性しまり共にあり。鉄化物少量含む。
27層	10YR2/3 黑褐色	砂質シルト	粘性強くしまりあり。
18層	10YR3/3 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。多量に小石を含む。
19層	7.5YR3/1 黑褐色	砂質シルト	粘性しまり共にあり。小石を含んでいる。
20層	7.5YR4/3 黑褐色	シルト質粘土	粘性しまり共に弱い。
21層	10YR2/2 黑褐色	粘質シルト	粘性しまり共にあり。小石、土器片を少量含む。
22層	7.5YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。小石、土器片を少量含む。
23層	10YR4/3 にじむ黒褐色	砂質シルト	粘性あらじまり弱い。小石を多く含む。
24層	10YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。小石を多く含む。
25層	7.5YR2/1 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。七器小片、小石を含む。
26層	7.5YR3/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。小石、上部小片、鉄化物を含む。
27層	7.5YR2/2 黑褐色	シルト	粘性しまり共にあり。鉄化物を含む。土器小片を多く含む。
28層	7.5YR2/1 黑褐色	シルト	粘性あらじまり弱い。小石、土器小片を多く含む。
29層	10YR4/2 黑褐色	砂質シルト	粘性しまり共にあり。小帶を含む。
30層	10YR6/8 黑褐色	シルト	粘性しまり共に弱い。地山。

(2) 遺物

土師器・須恵器

おもに S I -01と S I -02のカマド付近から出土している。すべてがロクロを使用して成型されており、杯では底部の切り離しが回転ヘラ切りによるものと糸切りによるものとがある。

製塙土器

内面はいずれもハケやヘラ状の工具および指ナデにより丁寧に磨きがかけられているものの、外表面は粗雑で、粘土の積み上げ跡を明瞭に残しているものもある。成型は輪積みである。製塙土器は平箱で約60箱分を採集し、そのほとんどが小破片であったが、口縁部から底部まで接合し復元できたものが3点あった。

製塙土器の底部は大きく次のIII類に分けられる。

I類→底部が胴体部よりも厚いもの

II類→底部が胴体部よりも薄いもの

III類→底部、胴体部とも同じ厚さのもの

立ち上がりの相違による分類。

1→ほぼ垂直に立ち上がっているもの

2→内反ぎみに立ち上がっているもの

3→立ち上がり部に丸みがあり、ほぼ垂直に立ち上がるるもの

4→立ち上がり部に丸みがあり、内反ぎみに立ち上がるるもの

5→外反ぎみに立ち上がっているもの

底部の厚さによる分類。

a→1cm以上の厚さのもの。

b→1cm以下の厚さのもの。

口縁部の分類

胴体部や底部に比べると、口縁部の出土点数は極めて少ないものの、次のように分類できる。

I類→口縁部を指などで平坦に調整しているもの。

II類→口縁部断面が逆U字状に調整しているもの。

立ち上がり方により

1→直立しているもの

2→内反しているもの

3→外反しているもの

及び口縁部の厚さが1cm以上のもの→aと以下のもの→bとに分けられる。

製塙土器分類表（口縁部）

出 土 地	層 位	I類（口縁部が平で直）			II類（口縁部が平で斜）			III類（口縁部が山形で薄）			
		1 a(直立)	2 a(内反)	3 a(外反)	1 a(直立)	2 b(内反)	3 b(外反)	1 b(直立)	2 b(内反)	3 b(外反)	
表採					3			4	1		8
C-2	灰原上				1						1
C-6	灰原上				10			1			11
D-2	灰原上							1			1
D-3	灰原上							1			1
D-5	灰原上				1	1	1		2		5
D-9, 10	灰原				1	2	4				7
C-3	灰原中				1						1
C-4	灰原中						1				1
C-6	灰原中				5			1			6
C-4	灰原下				1						1
C-6	灰原下				1						1
A-8	灰層上面				4			1	1		6
C-5	灰層上面				1						1
C-6	灰層上面						1				1
D-E-10, 11	灰層中				1	5	2	1	1		10
A-9	1 層上面							2			2
C-4	1 層上面						1				1
D-10	1 层上面	1			1						2
A-8	2 层上面				1		1				2
B-8	2 层上面								1		1
C-2	2 层上面				1						1
C-3	2 层上面				2						2
C-6	2 层上面				1	3		3			7
D-9	2 层上面					2		1		1	5
D-10	2 层上面					4					4
A~C 8~10	5 层上面				2						2
D-5	5 层上面	1									1
D-10	土壠				1						1
D-10	落ち込み埋土									1	1
S K-02								1			1
S K-03	埋土									1	1
S K-04	埋土					1			1		2
2号製塙炉	埋土						1				1
2号製塙炉	B堆土				1		1				2
2号製塙炉	2 层上面						1				1
3号製塙炉	埋土				2						2
3号製塙炉	灰面							1			1
3号製塙炉		1						1			2
4号製塙炉	埋土						1	2	1		4
4号製塙炉							2				2
6号製塙炉							1				1
合計		3		1	50	10	29	11	7	3	114

製塙土器分類表(底部)

製 塙		I ₁	I ₂	I ₃	I ₄	I ₅	II ₁	II ₂
出土地	層 位							
a - 1 cm以上	b = 1 cm以下	a 表 横	b 1	a 1	b 1	a 3	a 3	b 1
C - 2	灰原上				1			
C - 3	灰原上	1				1		
C - 5	灰原上					1		
C - 6	灰原上			3	1	3		
C - 11	灰原上						3	7
D - 3	灰原上					3		
D - 5	灰原上							5
B - 8	灰 原							1
C - 4	灰 原							
D - 9, 10	灰 原			1				1
C - 6	灰原中		2		3	1		
F - 2, 3	灰原中							
A - 8	灰層上面	1					5	3
A BC - 8	灰 層					1		
F - 8	灰 層							
BC - 5, 6, 7	灰層中							1
C - 6	灰層中			1				1
C - 10	灰層中							
DE - 10, 11	灰層中	1	1			4	1	2
A - 9	1層上面							
C - 4	1層上面							1
D - 3	1層上面							
D - 11	1層上面			1				
⑤ 10(SK - 05)	1 層							
D - 10	1層上面						1	
A - 8	2層上面		1				1	1
B - 8	2層上面							
C - 2	2層上面							
C - 3	2層上面							
C - 4	2層上面					1		
C - 6	2層上面						1	
D - 3	2層上面							
D - 4	2層上面							
D - 9	2層上面							
D - 10	2層上面							1
D - 11	2層上面		2	1				1
A - 2	2 層						1	
D - 5	5層上面灰層							
A, C 8 - 10	5層上面							
D - 5	5層上面			2		1		
E - 4	5層上面							
D - 10	5層上面			1		3		
D - 11	5層上面	1						
D - 10	5 層					1		
SK - 03								1
SK - 09							1	
SK - 03	埋 上							2
SK - 04	埋 土					1		
2号製塙炉						1		
2号製塙炉	埋 土							1
D - 10	土 焼							
D - 10	落ち込み							
A - 13石敷炉		1						
3号製塙炉								1
3号製塙炉	床 下							
4号製塙炉								
4号製塙炉	埋 土							1
合 计		6	12	1	8	1	24	17
							20	5
								13

II ₃	II ₄	II ₅	II ₆	III ₁	III ₂	III ₃	III ₄	III ₅	II ₁₁
									
a 3	b	a 3	b	a 3	b	a 3	b	a 3	20
1		1				1		1	3
1	z			2	4	9	1	2	1
						3	1		46
						1			1
						2			2
		1		1			2		6
2	3	2	1		1				2
1					3		1		12
1						1		1	11
1				3	2				1
						1		1	19
							1		2
		1							1
1		2	1	1	1				2
		1				1			3
									2
1							1		17
						1			2
1							1		2
1		2					3		8
1								1	1
					1		1		1
		2							4
					3		1		4
								1	1
3				2					2
1				1	1				6
					1				8
						1			4
		1				1			3
1							1		1
							1		1
1								1	7
				1	1				2
				1					5
									1
1									1
									2
									1
									6
		1	1	1					1
					1				3
						1			4
1		1				1			2
							1		1
								1	4
									3
									1
									2
16	3	10	8	7	2	1	9	18	269

縄文土器

3-A地区のサブトレンチから13点出土した。深鉢および鉢の土器片と思われ、頸部に浅い沈線が施されているものと、口唇部まで縄文の施されているものとがみられる。

弥生式土器

縄文土器と同様にサブトレンチから出土しており、口縁部に平行する沈線を施してあるものと、頸部に連続する列点文を施すものがあり、胴部には縄文が認められる。

石 器

石鎌石斧各2点と、石核、紡錘車などが出土している。

土 製 品

土鍤4点と支脚、フイゴの羽口が出土した。

骨 角 器

鹿角製の刺突具とヘラ状工具が4点出土した。

自然 遺 物

貝類ではマガキが最も多く、アサリ・ハマグリ・イガイ・シオフキ・アカニシ・ウミニナ・オオツタノハが出土している。魚類ではマダイの椎骨。獸骨ではシカとウマそれに種不明のものが出土している。

また、サブトレンチからは縄文と弥生の製塙土器が検出されている。縄文土器と伴出の土器はすべて尖底であり、底部に小さなくぼみをもつものもある。弥生土器伴出の製塙土器は小平底で木葉痕のみられるものもある。

自然遺物集計表

	表 株	尻 原	灰 層	1 層	2 層	4 層	5 層	炉 跡	埋 土	層位不明	計
マ ガ キ	4	1	15	1		1	1	6	7	3	39
イ ガ イ		1						2	1	2	6
オオツタノハ						1					1
ハ マ グ リ	1	1	2			3		1			8
シ オ フ キ		1	1						2	2	6
ア サ リ		2						1	11	3	17
ア カ ニ シ	1		2		2					1	6
ウ チ エ ナ						1			1	1	3
計	6	6	20	1	2	2	5	9	23	12	86

自然遺物集計表

	表	採	灰	原	灰	層	2	層	5	層	炉	跡	埋	土	サブトレ	層位不明	計	備考
シカ 鹿角				2				1								1	4	
△ 跖骨							1										2	
△ 距骨										1							1	
△ 中手骨				1													1	
△ 中足骨					1												1	
△ 大腿骨				1													1	
△ 腰椎															1		1	
△ 指骨															3		3	
計				4		2		1		2					4	1	14	
ウマ 股筋骨							1										1	
△ 足根骨				4												4	一括	
△ 中足骨				1													1	
△ 跖骨				1													1	
△ 距骨				1													1	
△ 臀骨	1		2													2	5	
計	1		9				1									2	13	
不明臓骨			5		1	9		2		2		2				1	22	
△ 肋骨							2		1							3	一括	
△ 鳥骨								1									1	
計			5		1	11		4		2		2				1	26	
マダイ椎骨									2								2	
計									2								2	
合計	1		18		3	13		8		2		2		4		4	55	



表一 1 S I - 01 出土遺物

土器 番号	出 土 地	種 別	形 状	直 径 (cm)	文 様	修 復 調 整	考 證	
							横 幅	
1	S I - 01 ハマ下内	3層	土器部 环 口縁～底部	4.2	13.6	5.5	0.4	ロフロ調整 ロフロ調整
2	S I - 01 ハマ下内	3層	土器部 环 口縁～全体	—	15.6	—	0.3	ロフロ調整 ロフロ調整
3	S I - 01 ハマ下内	3層	土器部 环 底部	—	—	5.0	0.7	ナラ ロフロ調整
4	S I - 01	3層	土器部 环 口縁～底部	5.5	17.1	6.8	0.5	ロフロ調整 ロフロ調整
5	S I - 01 ハマ下内	土器部 瓢 口縁～底部	—	18.1	—	0.6	ロフロ調整 ヘラケツ	1～2mmの石系粒を少し含む ロフロ調整
6	S I - 01 ハマ下内	土器部 瓢 底部	—	—	4.8	0.9	ナラ ロフロ調整	1～2mmの石系粒を少し含む ロフロ調整
7	S I - 01 底面直上	白色漆 环 口縁～底部	4.6	14.3	4.7	0.4	ロフロ調整 ロフロ調整	底部 逆転手切り 底部 逆転手切り、口縁部上に 炭化物が付着している
8	S I - 01 底面直上	土器部 瓢 底部	—	—	5.6	0.4～ 0.5	ロフロ調整 ロフロ調整	底部 逆転手切り 底部 逆転手切り
9	S I - 01 塗土	土器部 瓢 口縁～全体	—	18.4	—	0.4	ロフロ調整 ロフロ調整	1～2mmの石系粒を少し含む ロフロ調整
10	S I - 01 塗土	土器部 瓢 底部	—	—	5.0	0.5～ 0.7	ガキ ロフロ調整 ロフロ調整	底部 逆転手切り 底部 逆転手切り
11	S I - 01 横道	土器部 瓢 口縁～全体	—	28.0	—	0.5	ロフロ調整 ヘラケツ	2mm以下の石系粒を多く含む ロフロ調整
12	S I - 01 テラス	土器部 瓢 口縁～底部	4.0	13.6	5.6	0.5 ガキ	ロフロ調整 ロフロ調整	底盤 逆転手切り ガキは磨 滅してよくおららない
13	S I - 01	土器部 瓢 口縁～底部	6.6	16.1	6.0	0.6	ロフロ調整 ロフロ調整	底部 ヘラケツ

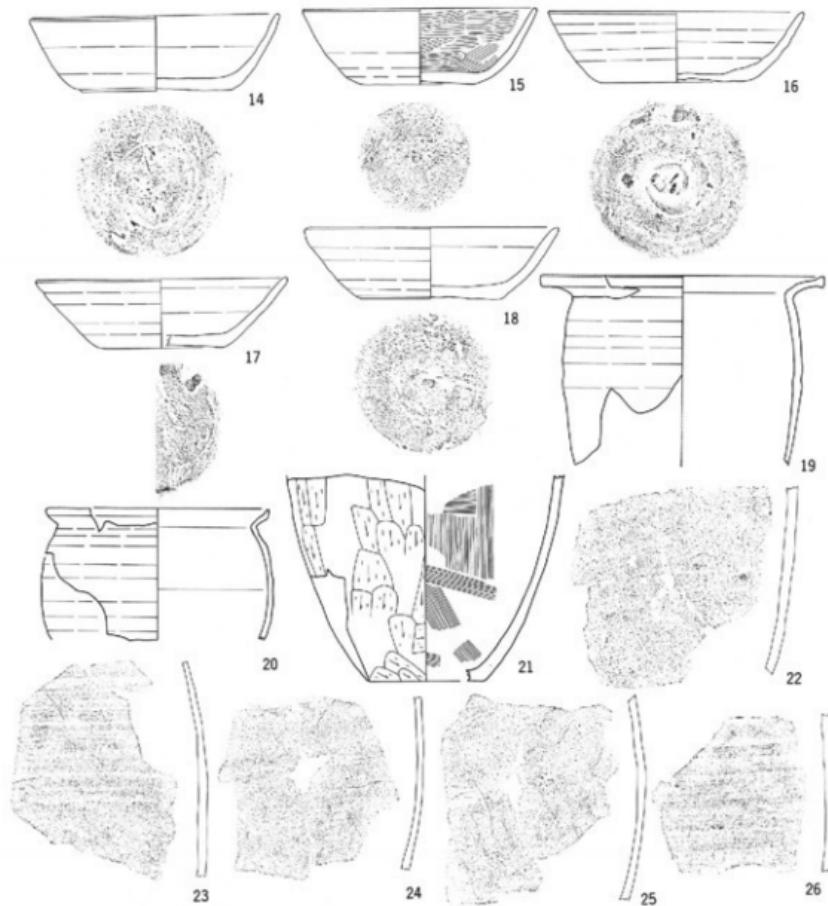


表-2 S I-02出土遺物

上 部 地 区 名	下 部 地 区 名	種 別	部 位	底 面 径 (cm)	高 さ (cm)	文 様	遺 物 性 質	備 考	範 囲
14 S I-02 北西コーナー	2層 通水渠・斜井	口縁・底面	3.9	13.2	8.2	0.5	ロコロ調査	鉢形凹面へ切り	1/3
15 S I-02	10脚 土器群	口縁・底面	4.1	12.4	5.8	0.4	ロコロ調査	鉢形凹面へ切り 1~2mmの石英粒 1mmの小石粒を含む	1/3
16 S I-02 ハマフ内	通水渠・斜井	口縁・底面	3.9	13.7	8.4	0.5	ロコロ調査	鉢形凹面へ切り 1/2mmの石英粒	1/3
17 S I-02 ハマフ内	灰器	口縁・底面	3.7	13.3	5.8	0.4	ロコロ調査	鉢形凹面へ切り リブがある	1/3
18 S I-02 ハマフ内	土器群	口縁・底面	3.8	13.8	7.5	0.4	ロコロ調査	鉢形凹面へ切り 後縁へ切り	1/3
19 S I-02 ハマフ内	土器群	口縁・底面	—	20.4	—	0.5	ロコロ調査	メリ 1~7mmの小石粒を含む	1/4
20 S I-02 ハマフ内	土器群	口縁・底面	—	15.8	—	0.3	ロコロ調査	1~2mmの石英粒を多く含む	1/4
21 S I-02 ハマフ内	土器群	底	体部・底面	—	8.4	0.6	テテ・素毛目	鉢形へ切り 鹿ナリしているが、はっきりわからない 1~2mmの石英粒、小石粒を含む	1/4
22 S I-02 ハマフ内	土器群	底	体部	—	—	0.7	型ナゲ	1~2mmの石英粒、白色粘土を含む	1/4
23 S I-02 ハマフ内	土器群	底	体部	—	—	0.4~0.7	ロコロ調査	1cm以下の石英粒を多く含む	1/4
24 S I-02 ハマフ内	土器群	底	底面	—	—	0.3	素毛目	1cm以下の石英粒、白色粘土を含む	1/4
25 S I-02 ハマフ内	土器群	底	底面	—	—	0.6	素毛目	1~2mm以下の石英粒を含む	1/4
26 S I-02 ハマフ内	土器群	底	底面	—	—	0.9	ロコロ調査	1mm以下の石英粒を含む	1/4

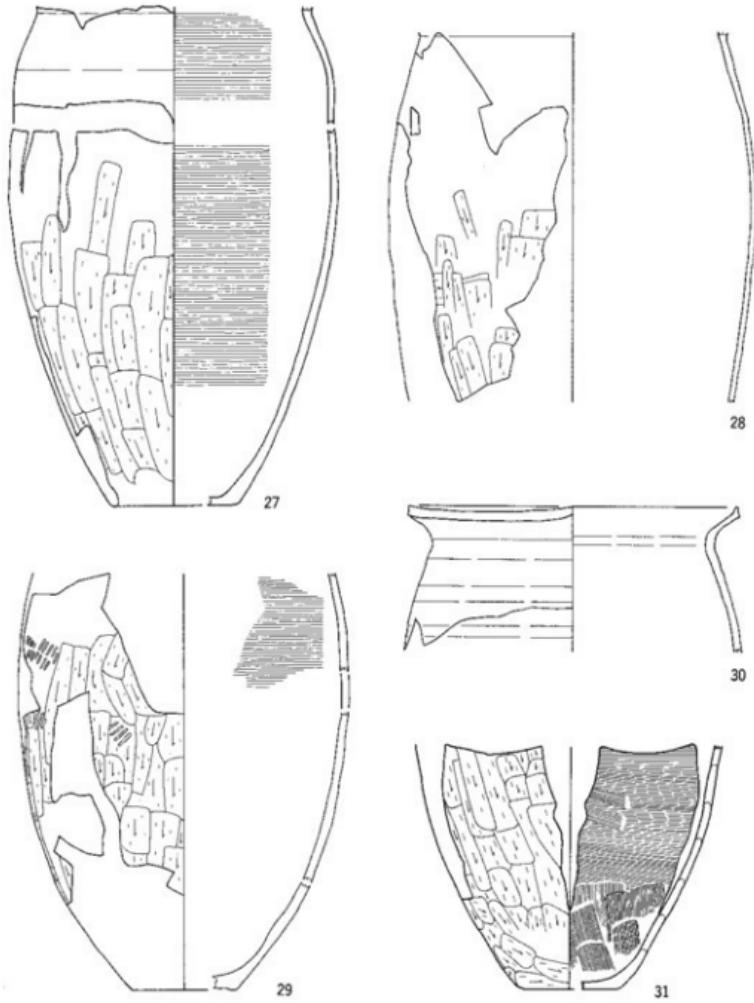


表-3 S I-02出土遺物

土 号	出 地 区 一 號 位	種 别	器 特	目	量 (cm)	文 標	調 索	備 考	縮 尺		
番号				留高	口經	底径	脚厚	内 面	外 面		
27	S I-02 備道	土師器	甕 体部~底部	-	-	9.0	0.6	圓軸磨毛目	フタノ骨質 ヘラケヌリ	底部へテ切り。1~3mmの石英 粒、白色粒・小白粒を多く含む。	1/4
28	S I-02 備道	土師器	甕 体部	-	-	-	0.4	圓軸磨毛目	フタノ骨質 ヘラケヌリ	1~3mmの石英粒、小石粒を含 む。	1/4
29	S I-02 備道	土師器	甕 体部~底部	-	-	7.4	0.6	圓軸磨毛目	フタノ骨質 ヘラケヌリ	底部へテ切り。1~3mmの石 英粒、1~5mm小白粒を含む。	1/4
30	S I-02 備道	土師器	甕 口縁~体部	23.4	-	-	0.5	ロツム調査	フタノ骨質	器底に調査孔あり	1/4
31	S I-02 備道	土師器	甕 体部~底部	-	-	6.8	0.5	圓軸磨毛目	フタノ骨質 ヘラケヌリ	底部には褐色チナゲの後に研磨 が施されている。	1/4

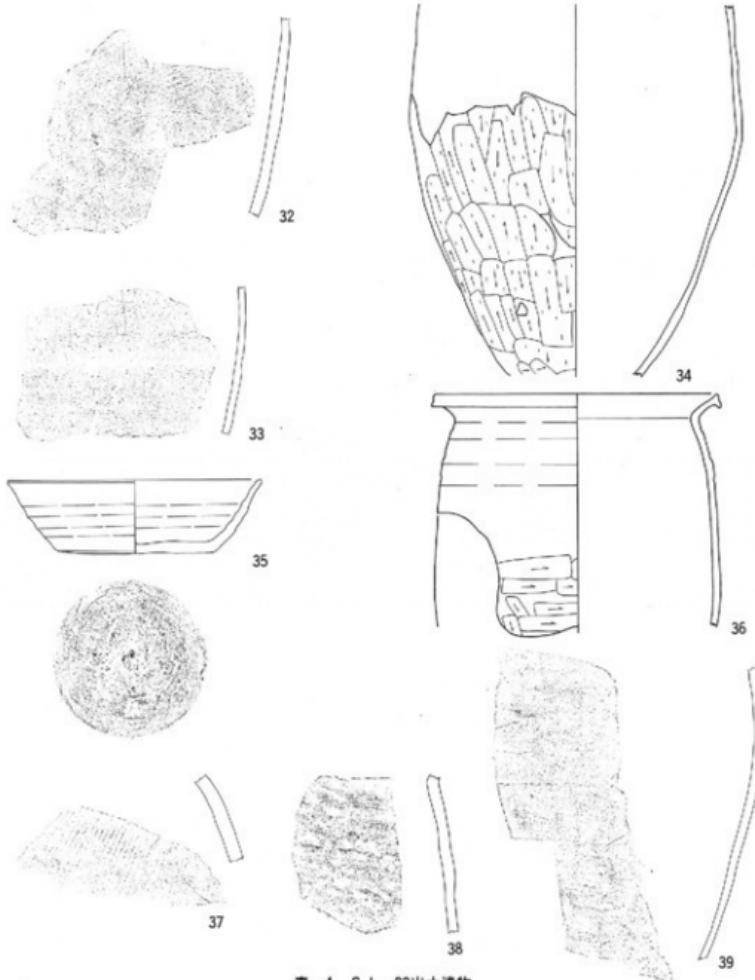
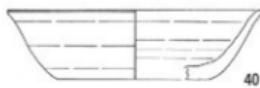


表-4 SI-02出土遺物

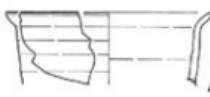
番号	出 土地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 面(cm)				大 形 質 量		備 考	縮 尺
				高 さ	口 径	瓶 径	底 厚	内 面	外 面		
32	SI-02 植生	土器部	腹	—	—	—	0.5~ 0.8	圓毛目	平行印と ヘラケズリ	1m以下の石英粒を含む。	1/4
33	SI-02 植生	土器部	腹	—	—	—	0.5~ 0.8	×クロ調整	平行印と後 クロ調整		1/4
34	SI-02 植生	土器部	腹部~瓶部	—	—	7.6	0.4~ 0.5	×クロ調整	ヘラケズリ	1~2mmの石英粒・小石粒を多 く含んでいる。	1/4
35	SI-02 植生	復原部	口縁~瓶部	4.0	13.7	8.3	0.5~ 0.6	×クロ調整	クロ調整	底部、周辺、口縁に小石粒 を含む。	1/3
36	SI-02	土器部	瓶口縁~体部	—	20.4	—	0.4~ 0.5	×クロ調整	クロ調整	1m以下の石英粒を多く含む。	1/4
37	SI-02	復原部	瓶体部	—	—	—	0.5~ 0.6	ナゲ	平行印	1~2mmの石英粒を多く含む。	1/4
38	SI-02	土器部	腹	—	—	—	0.5~ 0.7	×クロ調整	平行印と後 クロ調整	1m以下の石英粒を多く含む。	1/3
39	SI-02	土器部	腹	—	—	—	0.6~ 0.7	圓毛目	ヘラケズリ	1m以下の石英粒を多く含む。 3mmの石英粒を多く含む。	1/4



40



42



41



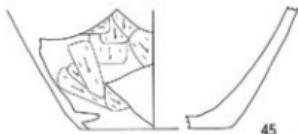
43



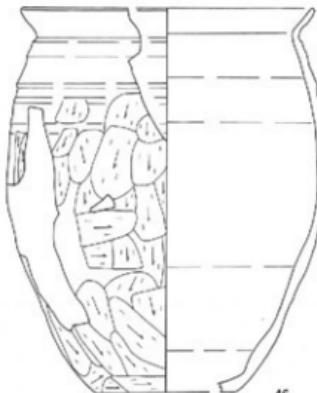
44

表一5 SD出土遺物

土器 番号	出 土 地 点 地区一場位	種 別 部 位	寸 寸 長 (cm)				文 様 調 査			考 察	縮 尺
			器高	口径	底径	沿岸	内 面	外 面			
40	SD-02	鉢形器 环 口縁～底部	3.7	13.4	8.4	8.4	ロクロ調整	ロクロ調整	底部へラテリ 1～2mmの石 英粒、小穴を含む。	1/3	
41	SD-02	土器器 細 口縁	—	14.6	—	8.5	ロクロ調整板	ロクロ調整	1～2mmの石英粒を含む。 1/3	1/3	
42	SD-03	鉢形器+鋤形 口縁～底部	4.9	14.4	8.9	8.5	ロクロ調整	ロクロ調整	底部、口縫に白色	1/3	
43	SD-03	土器器 細 口縁～底部	—	25.0	—	8.5	回転擦毛目	ロクロ調整	外側に刃部擦痕が残されている 小石英粒している。1～2mmの石 英粒を多く含む。	1/3	
44	SD-04	直筒型土器 細口	—	—	14.9	8.8	ロクロ調整	ロクロ調整	底部はく離している	1/3	



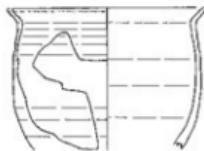
45



46

表一6 SK出土遺物

土器 番号	出 土 地 点 地区一場位	種 別 部 位	寸 寸 長 (cm)				文 様 調 査			考 察	縮 尺
			器高	口径	底径	沿岸	内 面	外 面			
45	SK-02	土器器 細 体部～底部	8.5	—	10.6	1.5 (ダク)	ナメ	ナメ	ナメ	1/4	
46	SK-06	土器器 細 口縁～底部	27.7	20.8	10.0	8.5	ロクロ調整	ロクロ調整	底部へラテリ 1～2mmの石 英粒、白色をわずかに含む。	1/4	



47



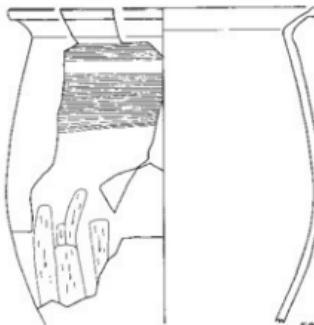
48

表一-7 3号製塩炉出土遺物

土器番号	出 土 地	種 別	部 位	法 量 (cm)	文 標	標 記	備 考	縮 尺
47	3号炉 地区一層位	土器部	器 口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 14.1 — 0.5	ロフロ調整	ロフロ調整	1/4
48	3号炉 地区一層位	土器部	器 口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 12.4 — 0.3	ロフロ調整	ロフロ調整	1~2mmの石英粒、小石粒を含む Lz



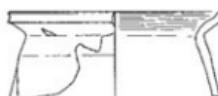
49



50



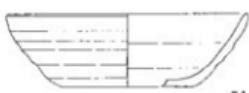
51



52



53



54



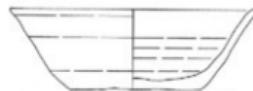
55

表一-8 Aライン出土遺物

土器番号	出 土 地	種 別	部 位	法 量 (cm)	文 標	標 記	備 考	縮 尺
49	A-3 4層上面	氣泡胎 壺	口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 20.2 — 0.6	ロフロ調整	ロフロ調整	1/4
50	A-5 5層上面	土器部 壺	口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 22.0 — 0.5	ロフロ	ロフロ削毛目	1/4
51	A-9 5層上面	土器部 壺	口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 25.2 — 0.5	ロフロ調整	ロフロ調整	1~3mmの石英粒、小石粒を含む Lz
52	A-9 5層上面	土器部 壺	口縁～体部	基高 口径 底径 壁厚	— 15.6 — 0.6	ロフロ削毛目	ロフロ調整	1~2mmの石英粒。白色粒を含む Lz
53	A-10 5層上面	陶質土器碗	口縁～底部	口径 底径 壁厚	4.3 15.8 6.8	0.3	ロフロ調整	ロフロ調整
54	A-10 5層上面	陶質土器碗	口縁～底部	口径 底径 壁厚	3.9 13.0 7.0	0.5	ロフロ調整	ロフロ調整
55	A-10 5層上面	折唇碗 碗	口縁～底部	口径 底径 壁厚	4.6 14.6 7.5	0.4	ロフロ調整	ロフロ調整 底部 回転ヘラ切り 1.5mmの 小石粒、1mmの白色粒を含む



56



57



58



表一九 A ライン出土遺物

土器 番号	出 土 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺
				基 高	口 径	底 径	壁 厚	内 面	外 面	
56	A-10	5層上部 灰色帶 腹	底部	—	—	12.4	1.2	回転毛目	ヘラナグ 平行印き	1/4
57	A-8	5層中 灰色帶 环	底部	4.3	13.6	6.8	0.5	ロコ調査	ロコ調査	1/3
58	A-12	灰色帶 腹	体部	—	—	—	1.3~ 1.4	同心円文	平行印き	1/3



59



60



61

表一〇 B ライン出土遺物

土器 番号	出 土 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				基 高	口 径	底 径	壁 厚	内 面	外 面		
59	B-14	4層下 灰色帶 腹	口縁~底部	4.3	14.2	9.4	0.6	ロコ調査	ロコ調査	底部~ラケメリ	1/3
60	B-8・9	5層上部 灰色帶 环	底部	3.7	13.6	6.8	0.6	ロコ調査	ロコ調査	底部~ラケメリ	1/3
61	B-2	深掘トレンチ 埴生土特許	口縁	—	20.0	—	0.5	横:ガタ	平行化粧文、撲点文 1mm以下の石英を多く含む。	1/3	



62



63



64

表一一 C ライン出土遺物

土器 番号	出 土 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				基 高	口 径	底 径	壁 厚	内 面	外 面		
62	C-3	灰原上 土器群 腹	底部	—	—	7.0	0.5	黑色毛理 カキ	ロコ調査	底部 回転余切	1/3
63	C-3	灰原上 土器群 环	口縁	—	19.8	—	0.7	ロコ調査	ロコ調査		1/4
64	C-6	灰原中 灰色帶 腹	体部	—	—	—	1.2	ナゲ	印き		1/3

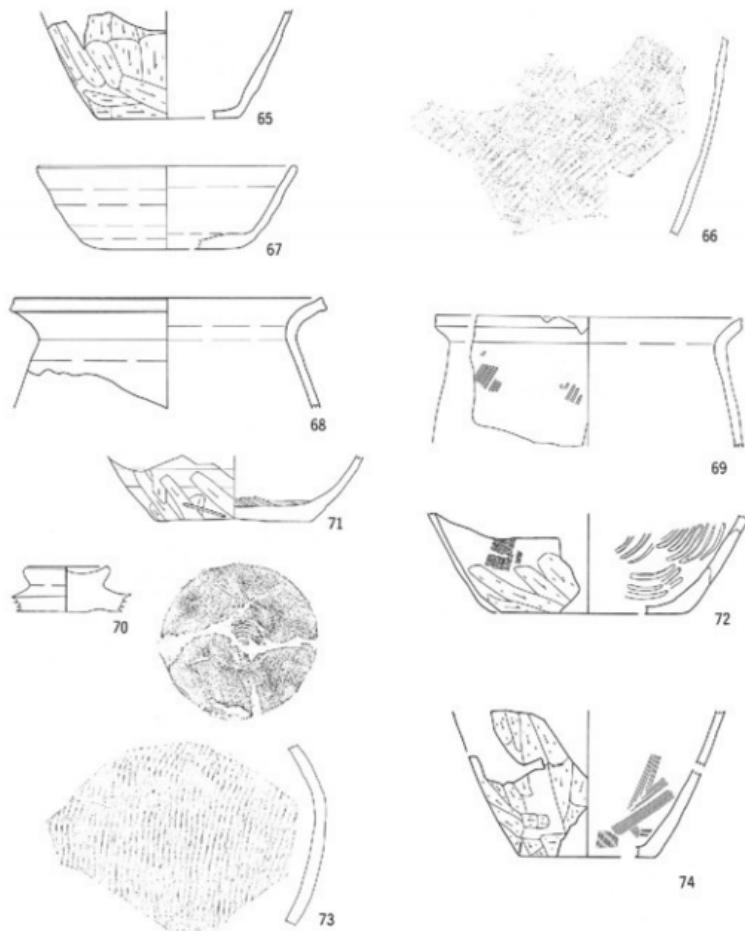


表-12 C ライン出土遺物

器 名	出 土 地	種 別	形 状	出 量 (m)				文 様	機 械	調 査	層 号	幅 尺	
				器 名	口 径	底 径	厚						
65	C-7 尻原半	土師器	縦 井筒～直筒	—	—	10.2	0.6	ナゲ	ヘラケズリ	1～2mmの石英粒、1～3mmの小石粒を多く含む。	1/4		
66	C-7 尻原半	土師器	縦 井筒	—	—	0.4～ 0.7	—	ナゲ	平行叩き	ナゲ	1/4		
67	C-5 尻原下	瓦窯器	横 口筒～底筒	4.5	13.8	7.6	0.4	ロクロ調整	ロクロ調整	低窓、ヘラ切、1～2mmの石英粒、小石粒を含む。	1/3		
68	C-15 尻原上街	土師器	横 口筒	—	21.0	—	0.7	ロクロ調整	ロクロ調整		1/4		
69	C-15 尻原上街	土師器	横 口筒～底筒	—	22.0	—	0.6	回転研磨器	ロクロ調整	叩き	1/4		
70	C-3 尻原中	瓦窯器	フタ	—	—	—	—	ロクロ調整	ロクロ調整		1/4		
71	C-5 尻原中	瓦窯器	片 底筒	—	—	8.4	0.4	褐色粘土 ヘラ：ナゲ	ロクロ調整 ナゲ	低窓、回転ヘラ切後ヘラ調整	1/3		
72	C-5・6・7 尻原	瓦窯器	縦 井筒～底筒	—	—	11.0	0.8	同心円文	ヘラナゲ	平行叩き	1/4		
73	C-5・6・7 尻原	瓦窯器	縦 井筒	—	—	0.7～ 1.0	—	ナゲ	平行叩き		1/4		
74	C-17 ベルト	1層	土師器	縦 井筒～直筒	—	—	9.5	0.7	ナゲ	ヘラケズリ	1～3mmの石英粒、1～2mmの小石粒を含む。	1/4	



75



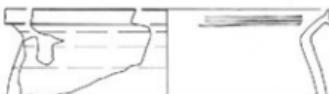
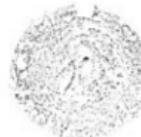
76



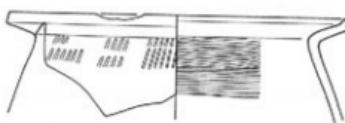
77



78



79



80



81



82



表-13 C ライン出土遺物

土器 番号	出 土 地 点	種 別	面 位	底 盤 (cm)			文 様 圖 案			考 察	範 囲	
				径高	口径	底径	内 面	外 面				
75	C-14	2層上面	土器部 环	口縫～底部	3.7	13.5	6.2	0.4	ロフロ調査	ロフロ調査	底部へ2切り 1～2mmの石片 粒、小石粒を含む。	1/3
76	C-15	2層	倒壊部 壁	側面	—	—	—	0.8～ 1.0	ロフロ調査	平行印字法 ロフロ調査	—	1/4
77	C-15	2層	土器部 壁	然壊～底部	—	—	9.2	0.5	ナゲ	ヘラケズリ	1～2mmの石片、 小石粒を多く含む。	1/4
78	C-16	2層	倒壊部 壁	然壊～底部	3.8	14.6	7.2	0.4	ロフロ調査	ロフロ調査	直線、凹凸へ2割り	1/3
79	C-16	2層	土器部 壁	然壊～底部	—	17.2	—	0.5	横目	ロフロ調査	1～2mmの石片粒を含む。	1/4
80	C-16	2層	土器部 壁	然壊～底部	—	24.2	—	0.5	田字網毛目	明き	1～2mmの石片粒を多く含む。	1/4
81	C-17	2層	土器部 壁	然壊～底部	—	13.2	9.0	0.7	ロフロ調査	ロフロ調査	底性凹輪へ2割り	1/4
82	C-15	3層	倒壊部 壁	然壊～底部	—	—	8.2	0.4	ロフロ調査	ロフロ調査	底性凹輪へ2割り	1/3

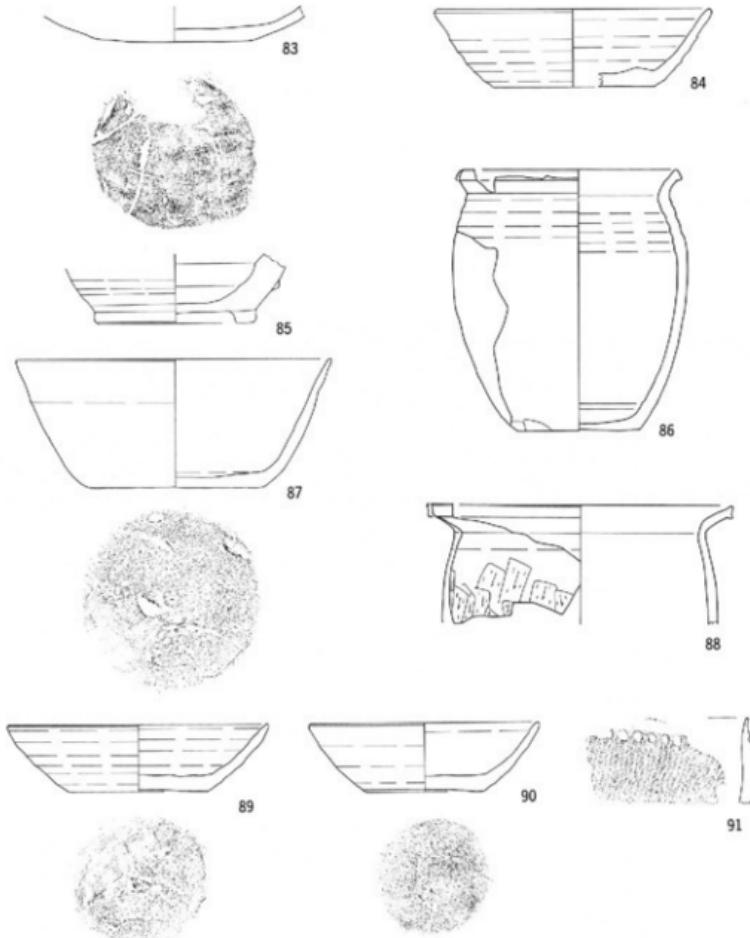


表-14 C ライン出土遺物

土器 番号	出 上 地 地区—層位	種 別	部 位	尺 寸 (cm)					調 整	備 考	縮 尺	
				高 度	口 径	底 径	器 厚	内 面				
83	C-14	4号 墓	土器部 所	底盤	—	—	8.4	8.5	墨色透墨 ガラス	ヘラケズリ	底部へタ切り、ガラスはあるが 摩擦してよくわからない。	1/3
84	C-16	4号上室	底盤部 所	口縁～底盤	4.2	14.6	8.6	0.5	ロクロ調整	ロクロ調整	底部切欠き、破手跡やヘラケズ リ、1～2mmの石英粒。小石粒 を含む。	1/3
85	C-16	4号	底盤部 所	底盤	—	—	8.6	1.5	ロクロ調整	ロクロ調整	台付底盤	1/4
86	C-17	4号	土器部 所	口縁～底盤	18.4	14.3	8.8	0.7	ロクロ調整	ロクロ調整	2mm以下の石英粒を多く含む。	1/4
87	C-17	4号中	土器部 所	口縁～底盤	6.9	16.8	9.4	0.6	ロクロ調整	ロクロ調整	底部　圓錐へタ切り	1/3
88	C-17	4號中	土器部 所	口縁	—	21.8	—	0.6	ロクロ調整 ナゾ	ロクロ調整 ナゾ	1～2mmの石英粒、白色粒、小 石粒を含む。	1/4
89	C-5	5層上田	底盤部 所	口縁～底盤	3.6	13.8	7.4	0.5	ロクロ調整	ロクロ調整	底部　ロクロへタ切り、1～2mm の石英粒、小石粒を含む。	1/3
90	C-10	5層上田	底盤部 所	口縁～底盤	3.7	12.2	6.2	0.4	ロクロ調整	ロクロ調整	底部　ヘラケズリ、1mm以下の石 英粒、1～5mmの小石粒を含む。	1/3
91	C-2	5号	陶文土器	口縁	—	—	—	0.6	ガラス	無名文	竹管文	1/3

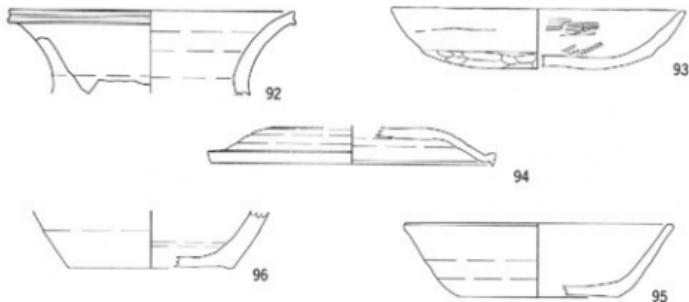


表-15 C ライン出土遺物

上號 番号	出 土 地 區 一 般 位	種 別 部 位	法 量 (cm)				文 様 調 整		備 考	縮 尺
			器 底	口 徑	底 径	留 厚	内 面	外 面		
92	C-12	5層 灰土層 中	縫隙 有	—	16.2	—	1.3	マテ	マテロ調整	1/4
93	C-13	5層中 土器部	口縫 無	3.2	15.2	6.0	0.5	ヘラミガキ	佛ナブ	底延長マタメ調整、2mm以下 の小石粒・白色土を含む。
94	C-13	5層中 (灰土層上)	氣泡部	盤	—	15.1	—	0.4	マテロ調整	マテロ調整
95	C-15	6層上部 灰土部	口縫 無	4.0	14.4	8.5	0.5	マテロ調整	マテロ調整	底延長マタメ調整
96	C-15	6層 土器部	壁	生面	—	—	8.8	0.5	マテロ調整	マテロ調整

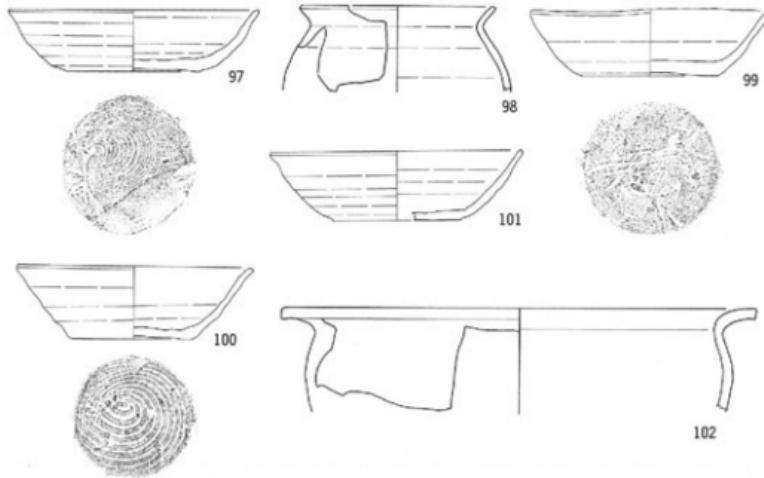
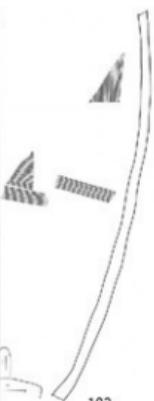


表-16 D ライン出土遺物

上號 番号	出 土 地 區 一 般 位	種 別 部 位	法 量 (cm)				文 様 調 整		備 考	縮 尺	
			器 底	口 徑	底 径	留 厚	内 面	外 面			
97	D-5	灰原上 灰土部	環	口縫～底部	3.3	13.3	7.2	0.4	マテロ調整	マテロ調整	底延長マタメ切引、側トリムのみ のため口縫、最高点底部あり。1 ~3mmの小石粒を含む。
98	D-3	灰原中 土器部	環	口縫～底部	—	14.8	—	0.5	マテロ調整	マテロ調整	1~2mmの石英粒、小石粒をわ ずかに含む。
99	D-4	灰原下 灰土部	年	口縫～底部	3.7	12.7	7.2	0.3	マテロ調整	マテロ調整	底延長マタメ切引、側トリムのみ あり。わざの跡跡がある。
100	D-8	4層 灰土部	环	口縫～底部	4.0	12.7	6.3	0.4	マテロ調整	マテロ調整	底延長マタメ切引、側成良好。動 土作。
101	D-5	5層上部 灰土部	环	口縫～底部	3.7	13.4	6.8	0.4	マテロ調整	マテロ調整	底延長マタメ切引、1~2mmの石英 粒、小石粒を含む。
102	D-5	5層上部 灰土部	壁	口縫	—	34.2	—	0.5	マテロ調整	マテロ調整	石英粒を含む。



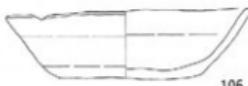
104

表-17 D ライン出土遺物

土器 番号	出 土 地 区 一 種 別	種 別	部 位	底 面 (cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				器高	口径	底径	壁厚	内 面	外 面		
103	D-5	5層上部 須恵器	全体	—	—	9.2	0.6	タグ	ハラケメリ	全体にトメドリがあるが、内側は よくわからない。	1/4
104	D-2	共型上 須恵器	全体	—	—	—	0.5~ 0.8	青面施文	平行印き ハラケメリ		1/4



105



106



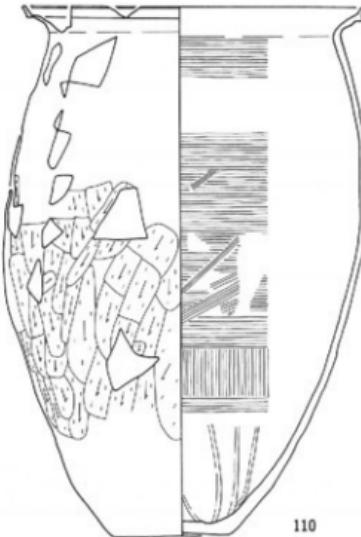
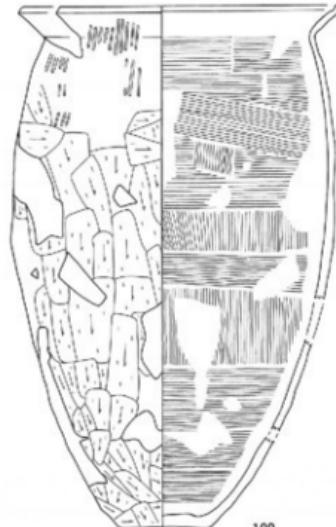
107



108

表-18 E ライン出土遺物

土 器 番 号	出 土 地 区 一 種 別	種 別	部 位	底 面 (cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				器高	口径	底径	壁厚	内 面	外 面		
105	E-3	灰原上 須恵器	全体	—	—	—	0.8~ 1.0	タグ	平行印き		1/3
106	E-3	灰原中 須恵器	口縁~底部	3.8	12.0	7.4	0.6	ロフロ調査	ロフロ調査		1/3
107	E-15	4層中 須恵器	口縁~底部	3.7	14.4	7.6	0.3	ロフロ調査	ロフロ調査		1/3
108	E-4	5層上部 土師器	全体	—	20.4	—	0.6	ロフロ調査	ロフロ調査		1/4



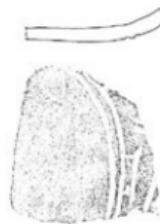
表一十九 E ライン出土遺物

品番 号	当 土 地 区 一 層 位	種 別 部 位	出 墓 (cm)			文 標 製 作		備 考	縮 尺	
			基高	口径	底径	壁厚	内 表			
109	E-4	5層上面 土師器 壺	口縁～底部	37.7	22.4	6.2	0.6 粗毛目	ヘラケメリ 司き	頂部に叩きが施されているが、 あまり強く見えない。	1/4
110	E-4	5層上面 土師器 壺	口縁～底部	38.2	24.1	8.4	0.5 粗毛目底部近くは粗 テテ	ヘラケメリ	全体から底面に気孔有者 叩き ひずみがある。	1/4

111



112



表二〇 F ライン出土遺物

品番 号	当 土 地 区 一 層 位	種 別 部 位	出 墓 (cm)			文 標 製 作		備 考	縮 尺	
			基高	口径	底径	壁厚	内 表			
111	F-2+3	灰層中 粉生土器壺	底部～底部	—	—	5.8	0.4 ナデ	手筋ヘラケメリ ナデ	外腹、平行花織文、ボタン状膨 土粘付文が施されている。1cm 以下の石美物。小石粒を含む。	1/4
112	F-2	2層 大網山1段目 底部	—	—	—	0.3 ナデ	雲形文、平行花織文		1/3	

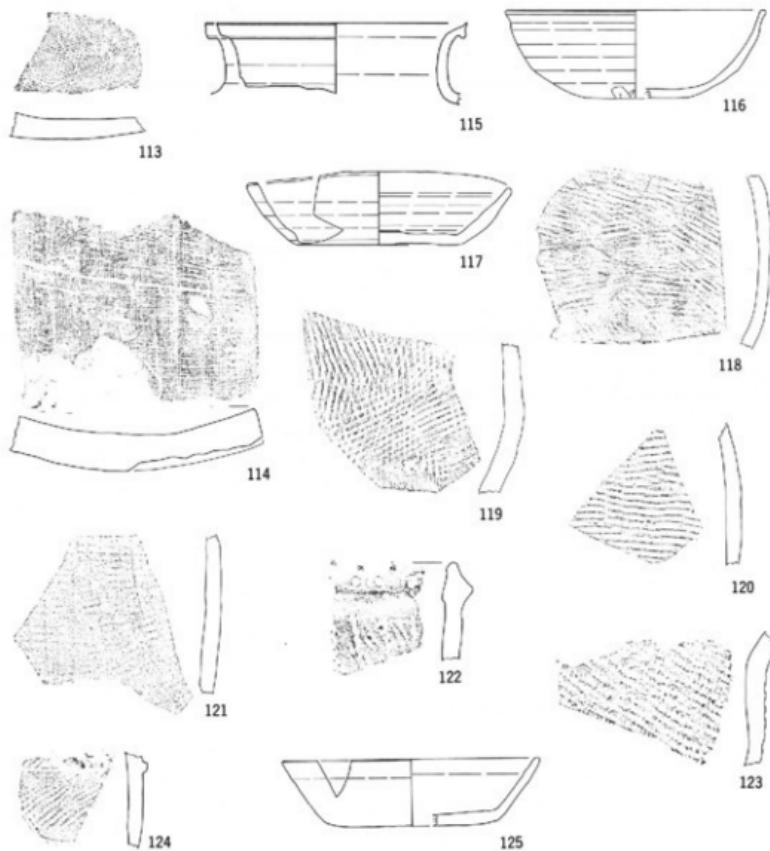


表-21 地区不明、表探遺物

上段 番号	出 土 地 區 一 層 位	種 別	面 積	寸 丈 (cm)				文 様	圖 案	備 考	縮 尺	
				基 高	口 徑	底 直	厚 度					
113	更級 部	表探 瓦		—	—	—	1.8	毛目			1/3	
114	不 明	表探 瓦		—	—	—	1.0~ 1.4	毛目	ナゲ		1/3	
115	不 明	表探 瓦 底 部	口 緣	—	18.6	—	0.7	ロク=調整	ロクロ調整		1/2	
116	不 明	表探 十 字 部	口 緣 底 部	4.7	13.8	5.4	0.4	ロク=調整	ロクロ調整	底部へラ切り	1/3	
117	不 明	表探 底 部	环 口 縫~ 底 部	2.9	14.0	8.8	0.7	ロク=調整	ロクロ調整	底部へラ切り。焼きひずみがあ り、口径器蓋に誤差がある。1 ~3mm小石粒を含む	1/3	
118	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	1.0~ 1.2	ナゲ 毛目	平行印き		1/4	
119	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	1.0~ 1.5	ナゲ	平行印き		1/4	
120	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	0.7~ 0.9	ナゲ	平行印き		1/3	
121	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	1.0~ 1.2	ナゲ	轍子目状印き		1/4	
122	不 明	表探 底 部	口 縫	—	—	—	1.0	イガキ	口縫2.5mm付に2.5mm の凹所有り。織物文有り	1~2mmの小石粒を含む	1/2	
123	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	1.0	ナゲ イガキ	し灰織文	織機を示す。2mmの石英粒。 小石粒を含む	1/3	
124	不 明	表探 底 部	底 部	—	—	—	0.7	ナゲ	灰 土 織文	灰土織文状による 割れ片付	1mmの石英粒・小石粒を含む	1/3
125	5 層 中 央 部	底 部	口 縫~ 底 部	3.6	13.8	8.4	0.4	ロク=調整	ロクロ調整	底 部 へラ 切り	1/3	

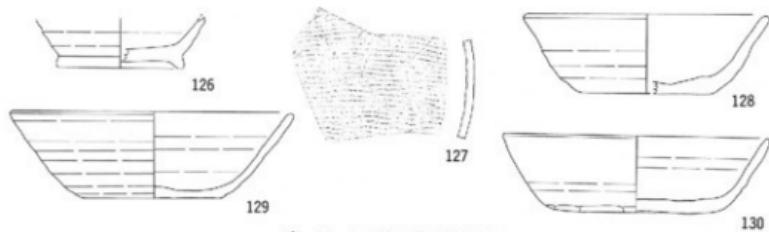


表-22 その他の地区出土遺物

品目番号	出土地・層位	種別	部位	重量 (kg)			文様調査		備考	縮尺
				器高	口径	底径	壁厚	内面		
126	D-E-13・14 灰層	漆器底	高台付底盤	—	—	6.8	0.6	ロコ調査	ロコ調査	1/3
127	B-C-2・3 灰層中	漆器底	漆底	—	—	—	0.3	垂直波文	平行印記	1/4
128	D-E-2・3・4 5層中	漆器底	ロ線～直底	4.3	13.3	6.6	0.6	ロコ調査	ロコ調査	1/3
129	B-C-D-19 5層上部	漆器底	ロ線～直底	4.6	15.2	7.4	0.4	ロコ調査	ロコ調査	1/3
130	D-E-2・3・4 5層牛糞層	漆器底	ロ線～直底	4.1	14.4	8.7	0.4	ロコ調査	ロコ調査	1/3

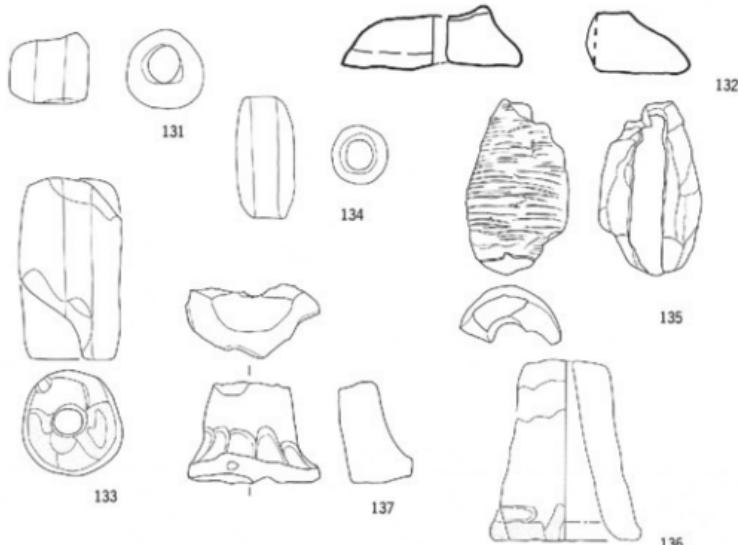
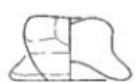
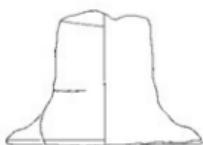


表-23 土製品

品目番号	出土地・層位	種別	最大径 (cm)		最小径 (cm)	高さ (cm)	底径 (cm)	文様調査		備考	縮尺
			最大径	最小径				内面	外面		
131 不明	表層	土器	3.4	4.1	1.4	—	—	—	指ナデ	内面は施紋のもので抜いたのか つけられたかである	1/3
132 不明	表層	土器支撑	—	—	—	6.5	—	—	ナデ	内面は施紋のもので抜いたのか つけられたかである	1/2
133 不明	第1層 上縁	土器	9.7	5.7	2.1	—	—	—	ナデ	0.5m以下 の白色土 1m以下の 石英砂を含む	1/3
134 C-13	1層上部	土器	6.5	3.3	0.8	—	—	—	ナデ	指ナデ(表面の様なも の)の施され付け模様を 残してある	1/3
135 F-2・3	灰層中	土器	10	5.5	—	—	—	—	ナデ	内面に施紋のものを引き抜いた のか擦らかである	1/3
136 F-3	灰層下	吹子の羽口	9.6	8.0	—	—	—	—	ナデ	1m以下の石英砂、白色砂を多 く含む。裏面に自然由来行差し している	1/3
137 F-5	2層上部	土器支撑	—	—	—	—	—	—	ナデ 調査	面の剥が れている	1/3



138



139



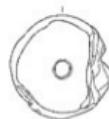
140

表一24 土製品

番号	出土地 - 層位	種別	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	基盤	文様		備考	範尺
							内面	外面		
138	A-8 深層トレンチ東壁 3層上面	土製支脚	2.3	4.4	—	—	—	ナデ	—	1/2
139	E-4 5層上面	土製支脚	(7.2)	—	—	10.5	—	複数ナデ	—	1/3
140	D-16	黒色土 土製支脚	(5.5)	—	—	7.5	—	複数ナデ	内部は縦状のような筋を引き抜いたようだ	1/3



141



142



142



143



144



145

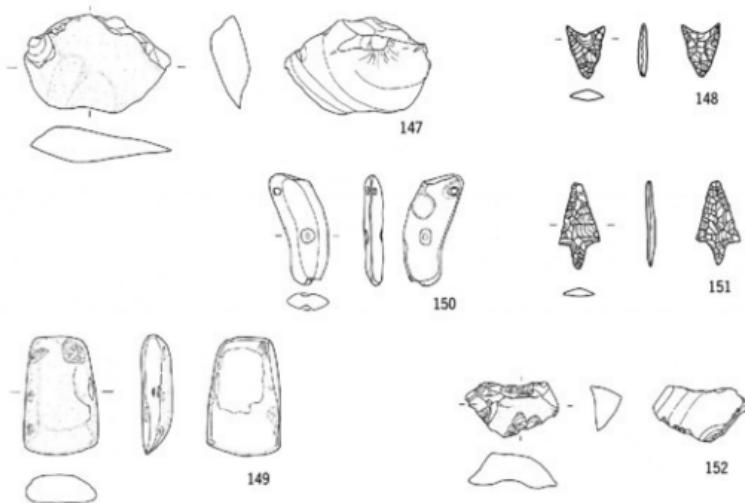


146



表一25 石製品

番号	出土地 - 層位	種別	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	石質	施作状態	備考	範尺
141	東頂部多色	斧援 鉈鍔部	5.6	5.6	1.2	完形品	全体にガサがかけている	—	1/3
142	C-16	斧援 斧頭部	(4.2)	3.0	2.5	チャート	—	—	1/3
143	D-5・6	斧援 石破	6.5	3.9	3.3	チャート質	—	—	1/3
144	不 明	斧援 石破	4.5	2.2	1.3	黑曜石	—	—	1/2
145	不 明	斧援 不定形石器	9.5	6.0	1.7	—	折れ面に加工してある	—	1/3
146	C-11	2層 砾 石	8.4	5.2	3.1	完形品	—	—	1/3



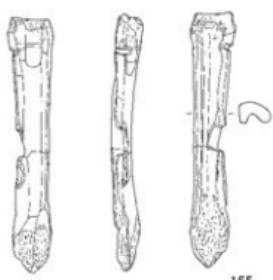
表一26 石製品

No.	出土地 - 層位	種別	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	石質	保存状態	備考	縮尺
147	C-16	2層 不定期石器	5.0	7.6	1.8			片面加工。表は自然面、刃部は不規則。二次加工のある剥片	1/3
148	C-17	2層 石器	1.9	0.9	0.3		完形品		1/2
149	C-14	4層 摩拭石斧	6.4	3.9	1.6		完形品	片面だけに擦りの痕跡を残す。刃部は刃近に近い。	1/3
150	C-16	4層 不明	5.8	2.4	1.1		完形品	端部に4mmの孔あり	1/3
151	C-16	4層 石器(平基面基底)	3.0	1.5	0.3		完形品		1/2
152	B-8	5層上面 スクレイパー	2.7	5.1	1.5	チャート質		打面-側二次加工してある	1/3

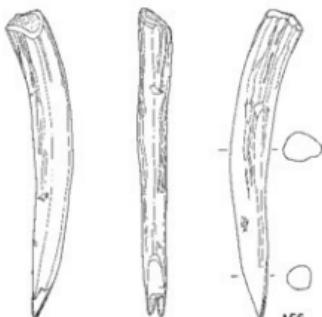


表一27 骨製品

No.	出土地 - 層位	種別	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	骨材	保存状態	備考	縮尺
153	S I-02	理上 ヤヌ	109	11	8	鹿角	完形品		1/3
154	B-8	2層上面 ヤヌ	107	16	10	鹿角	完形品		1/3



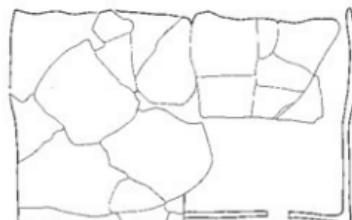
155



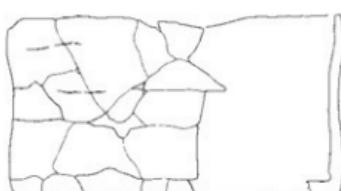
156

表-28 骨製品

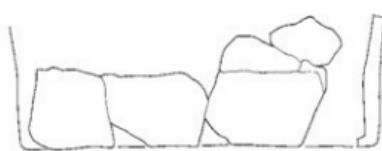
No.	出土地 - 置 位	種 別	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	材 料	現存状態	備 考	縮 尺
155	D-4	瓦屋下骨ペラ	182	32	19	骨	半製品		1/3
156	F-3	瓦屋下不明	226	33	24	骨 角	半製品		1/3



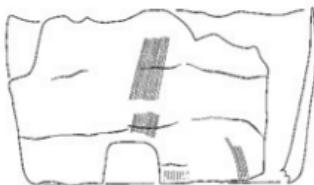
157



158



159



160

表-29 S I - 02, SK・A 地出土遺物

土器 番号	出 土 地 地区 - 置 位	基 量	底 壁			支 備		調 量	備 考	縮 尺	
			高 度	口 径	底 径	基 厚	内 壁				
157	S I - 02	埋 土	輪 席 土 器	口 線 ~ 底 線	11.1	18.0	17.8	0.5 表 ナデ	表 ナデ	全体に薄い土質で口部部の高さ が一定でない。變成はもろく、底 部中央部がよくならんでいる。	1/3
158	SK - 02		製 塗 土 器	口 線 ~ 底 線	12.8	23.5	22.5	1.0 表 ナデ	表 ナデ	指ナカタ浅く底土器のねじね目が 残っている。5 mm以下の大きさの 石も含む。	1/4
159	SK - 02		製 塗 土 器	底 線 ~ 底 線	—	—	—	1.0 表 ナデ	表 ナデ	5 mm以下の白色粒を含む	1/3
160	A - 2	2 窓	製 塗 土 器	口 線 ~ 底 線	9.5	16.5	13.4	0.1~ 1.0 : ガヤ風 ナデ	表 ナデ	外底面にナデの形で粘土層の ねじね目が残っている。口部は断続 した跡が残っている。	1/3



161



162



163



164

表—30 1号製塩炉出土遺物

番号	出土地	種別	部位	生 墓 (cm)		文様 調査		備考	縮尺		
				器高	口径	底径	唇厚	内面	外面		
161	1号製塩炉	製塩土器	底部	—	—	—	0.9	ナゲ	ナゲ	III 2 b	1/3
162	1号製塩炉	製塩土器	底部	—	—	—	0.5	ナゲ	ナゲ	I 1 b	1/3
163	1号製塩炉	製塩土器	底部	—	—	—	0.5	ナゲ	ナゲ	III 4 b	1/3
164	1号製塩炉	製塩土器	底部	—	—	—	0.5	ナゲ	ナゲ	III 3 b	1/3



165



166



167



168



169



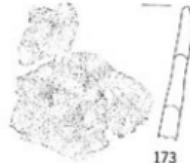
170



171



172



173

表—31 2号製塩炉出土遺物

番号	出 地	上 地	種別	部 位	生 墓 (cm)		文様 調査		備 考	縮 尺		
					器高	口径	底径	唇厚	内面	外面		
165	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	D縫	—	—	—	0.7	ナゲ	ナゲ	II 2 b	1/3
166	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	D縫	—	—	—	0.7	ナゲ	ナゲ	I 3 b	1/3
167	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	D縫	—	—	—	0.3~0.6	ナゲ	ナゲ	I 3 b	1/3
168	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	底部	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ	III 5 b	1/3
169	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	底部	—	—	—	0.8~1.6	ナゲ	ナゲ	II 2 b	1/3
170	2号製塩炉	B堆土	製塩土器	底部	—	—	21.0	0.8~1.6	ナゲ	ナゲ	III 3 b	1/3
171	2号製塩炉	理土	製塩土器	底部	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ	I 4 b	1/3
172	2号製塩炉	理土	製塩土器	底部	—	—	—	0.3~0.6	ナゲ	ナゲ	III 1 b	1/3
173	2号製塩炉	2層上面	製塩土器	D縫	—	—	—	0.4~0.5	ナゲ	ナゲ	I 3 b	1/3



174



175



176



177



178



179



180



181



182

表-32 3号製塙炉出土遺物

番号	出 土 地	層 位	種 別	部 位	法 直 (cm)			文 標		調 研	備 考	縮 尺
					高	口径	底径	厚	内 面	外 面		
174	3号製塙炉	地土	製塙土器	口縫	—	—	—	0.7	内ナデ	ナデ	I 1 b	1/3
175	3号製塙炉	地土	製塙土器	口縫	—	—	—	0.7	内ナデ	ナデ	I 1 b	1/3
176	3号製塙炉	製塙土器	底部	—	—	—	0.7	内ナデ	ナデ	III 2 b	1/3	
177	3号製塙炉	製塙土器	底部	—	—	—	0.5	内ナデ	ナデ	III 1 b	1/3	
178	3号製塙炉	製塙土器	底部	—	—	—	0.4~ 0.5	内ナデ	ナデ	II 2 b	1/3	
179	3号製塙炉	製塙土器	n縫	—	—	—	1.0~ 1.5	内ナデ	ナデ	I 1 a	1/3	
180	3号製塙炉	製塙土器	口縫	—	—	—	0.3	ナデ	ナデ	II 3 b	1/3	
181	3号製塙炉	底部	製塙土器	口縫	—	—	—	0.3	ナデ	ナデ	II 1 b	1/3
182	3号製塙炉	底部	瓦質器	体形	—	—	—	0.9	内ナデ	ナデ	II 2 b	1/3



183



184



185



186



187



188



189



190

表-33 4号製塙炉出土遺物

番号	出 土 地	層 位	種 別	部 位	法 直 (cm)			文 標		調 研	備 考	縮 尺
					高	口径	底径	厚	内 面	外 面		
183	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.6	内ナデ	ナデ	III 3 b	1/3
184	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.7	内ナデ	ナデ	II 2 b	1/3
185	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.7	内ナデ	ナデ	III 4 b	1/3
186	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.6~ 0.8	内ナデ	ナデ	III 2 b	1/3
187	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.6	内ナデ	ナデ	III 3 b	1/3
188	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.7	ナデ	ナデ	III 3 b	1/3
189	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.5	ナデ	ナデ	III 4 b	1/3
190	4号製塙炉	地土	製塙土器	底部	—	—	—	0.6	内ナデ	ナデ	III 1 b	1/3

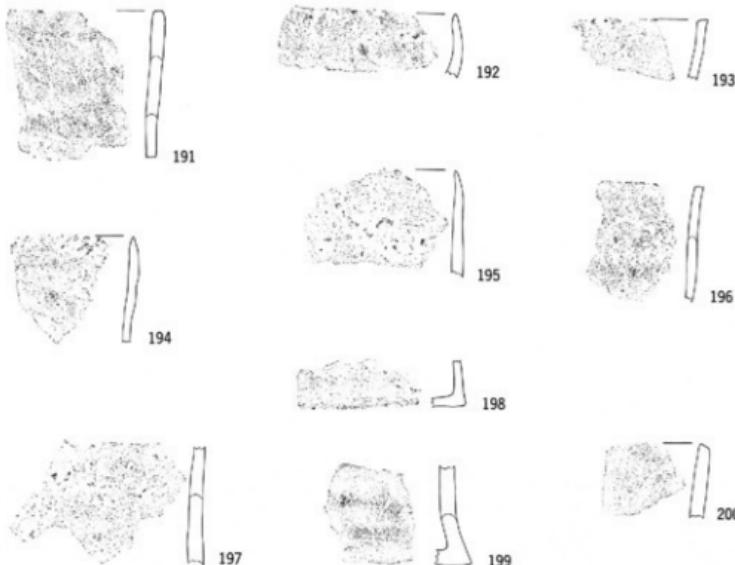


表-34 4号・6号製埴炉

土器 番号	出 土 地 点	種 別	部 位	高 度(cm)			文 様		備 考	組 尺
				基 面	口 径	底 径	厚	内 面		
191	4号製埴炉	埋土	製埴土器	口縁	—	—	0.6~ 0.7	横ナデ	ナデ	I 3 b
192	4号製埴炉	埋土	製埴土器	口縁	—	—	0.5~ 0.3	横ナデ	ナデ	I 2 b
193	4号製埴炉	埋土	製埴土器	口縁	—	—	0.4	ナデ	ナデ	I 3 b
194	4号製埴炉	埋土	製埴土器	口縁	—	—	0.2~ 0.5	ナデ	ナデ	I 3 b
195	4号製埴炉	埋土	製埴土器	口縁	—	—	0.3~ 0.5	ナデ	ナデ	I 2 b
196	4号製埴炉	埋土	製埴土器	体部	—	—	0.5	ナデ	ナデ	I 3
197	4号製埴炉	埋土	製埴土器	体部	—	—	0.6	ナデ	ナデ	I 3
198	4号製埴炉	埋土	製埴土器	底部	—	—	0.4	ナデ	ナデ	I 3 b
199	4号製埴炉	埋土	製埴土器	底部	—	—	0.8	横ナデ	横ナデ	I 2 b
200	6号製埴炉	陶土	口縁	—	—	—	0.7	横ナデ	ナデ	I 3 b

表-35 Dライン製埴土器

土器 番号	出 土 地 点	種 別	部 位	高 度(cm)			文 様		備 考	組 尺
				基 面	口 径	底 径	厚	内 面		
201	D-5	5層上面	製埴土器	体部	—	—	1.0~ 1.2	ナデ	ナデ	1/4

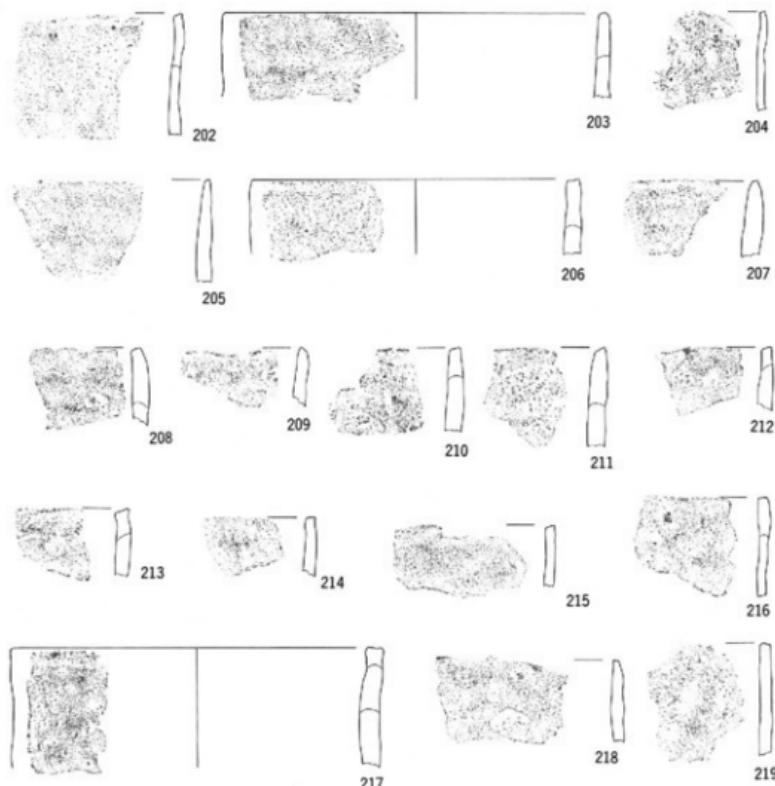


表-36 製塩土器 I類 1b

土器 番号	出 土 地 区 一 層 位	種 別	部 位	重 量 (g)			文 様 模 型		備 考	縮 尺
				高 さ	口 径	底 径	厚 さ	内 面	外 面	
202	美振	製塩土器	口縁	—	—	—	0.5~ 0.7	ナゲ 刷毛目	ナゲ	1/3
203	美振	製塩土器	口縁	—	26.8	—	0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
204	美振	製塩土器	口縁	—	—	—	0.4	ナゲ	ナゲ	1/3
205	C-2	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	0.4~ 0.8	ナゲ	ナゲ	1/3
206	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	—	0.9	ナゲ	ナゲ
207	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	0.4~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
208	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	0.6~ 0.9	ナゲ	ナゲ	1/3
209	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ
210	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	—	0.6~ 0.8	ナゲ	ナゲ
211	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	—	1.0~ラナゲ	ナゲ	1/3
212	C-6	尻原上	製塩土器	口縁	—	—	—	0.5~ 0.6	ナゲ	ナゲ
213	C-6	尻原上	製塩土器	口縫	—	—	—	0.8	ナゲ	ナゲ
214	C-6	尻原上	製塩土器	口縫	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ
215	C-6	尻原上	製塩土器	口縫	—	—	—	0.5	ナゲ 刷毛目	ナゲ
216	D-5	尻原上	製塩土器	口縫	—	—	0.4~ 0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
217	D-9~10	尻原	製塩土器	口縫	—	20.0	—	1.0	ナゲ	ナゲ
218	C-3	尻原中	製塩土器	口縫	—	—	—	0.3~ 0.7	ナゲ	ナゲ
219	C-6	尻原中	製塩土器	口縫	—	—	—	0.6	ナゲ	1/3

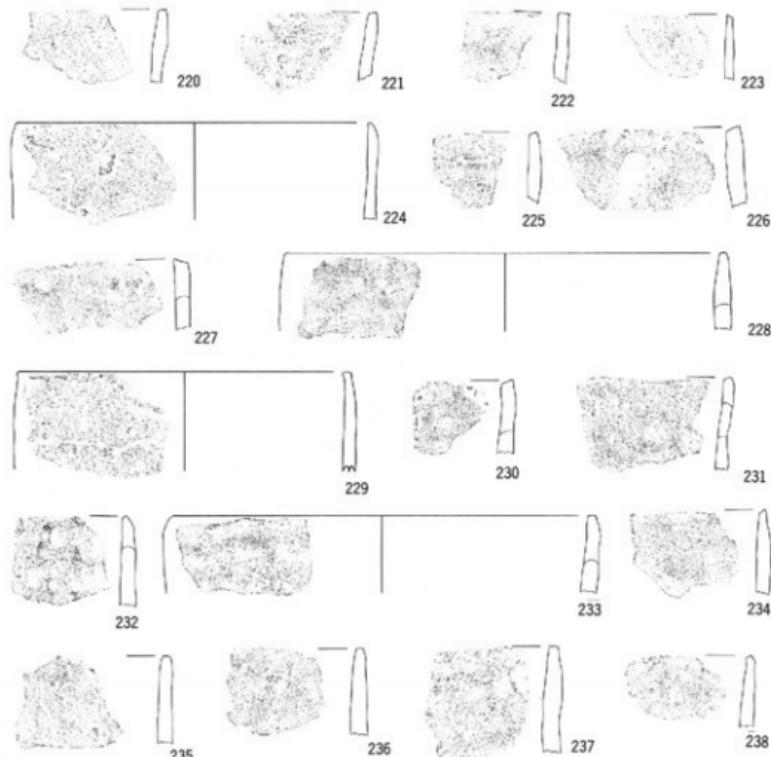


表-37 製塙土器 I類 1 b

番号	地 方	土 地	地 質	部 位	法 面 (cm)			文 字 標 記		考 察	絶 対 尺
					器高	口徑	底径	壁厚	内 面	外 面	
220	C-6	灰原中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.7	ナデ	ナデ	1/3
221	C-6	灰原中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.5ナデ	ナデ	ナデ	1/3
222	C-6	灰原中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6ナデ	ナデ	ナデ	1/3
223	C-6	灰原中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6ナデ	ナデ	ナデ	1/3
224											
225											
226											
227											
228											
229											
230											
231											
232											
233											
234											
235											
236											
237											
238											

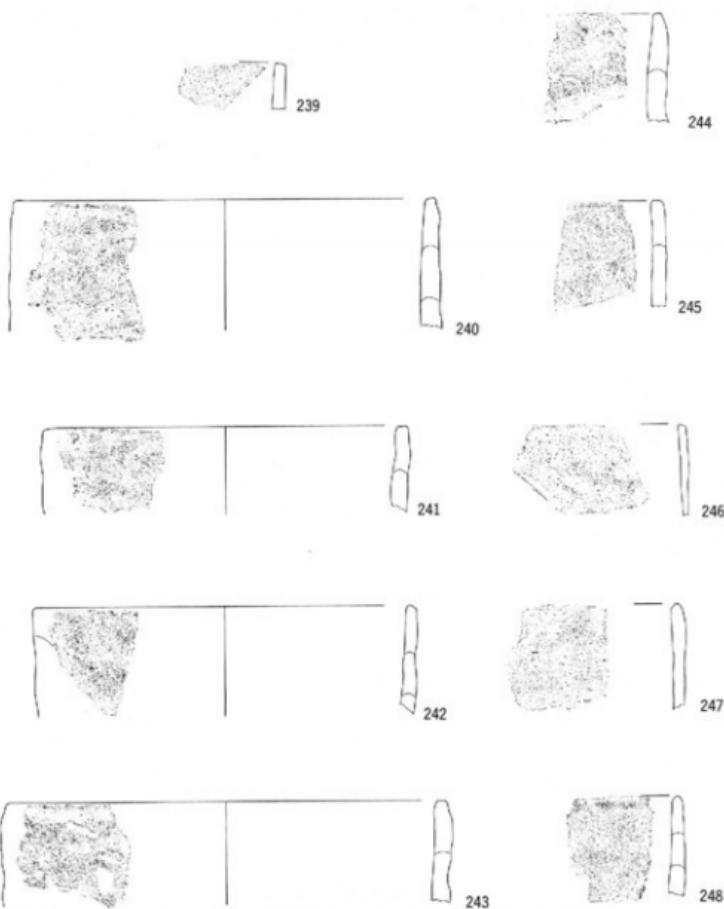


表-38 製塙土器 I類 1b

土器 番号	出 土 地 点	種 別	部 位	法 蓋 (cm)			文 様 消 失		考 査	縮 尺
				器高	口徑	底径	壁厚	内 面	外 面	
239 C-6	2層上面 製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.6~ 1.1	ナデ		1/3
240 D-9	2層上面 製塙土器	口縁	—	22.6	—	—	0.6~ 1.1	ナデ		1/3
241 D-9	2層上面 製塙土器	口縁	—	19.6	—	—	0.7~ 0.9	アズ		1/3
242 D-10	2層上面 製塙土器	口縁	—	20.6	—	—	0.7~ 0.9	ナデ		1/3
243 D-10	2層上面 製塙土器	口縁	—	23.4	—	—	0.7~ 0.9	削毛目		1/3
244 D-10	2層上面 製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.6~ 1.1	削毛目		1/3
245 D-10	2層上面 製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.3~ 0.4	削毛目		1/3
246 A~C 8~10	5層上面 製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.3~ 0.4	ナデ		1/3
247 A~C 8~10	5層上面 製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.4~ 0.5	ナデ		1/3
248 D-10 壺	製塙土器	口縁	—	—	—	—	0.7~ 0.9	ナデ		1/3

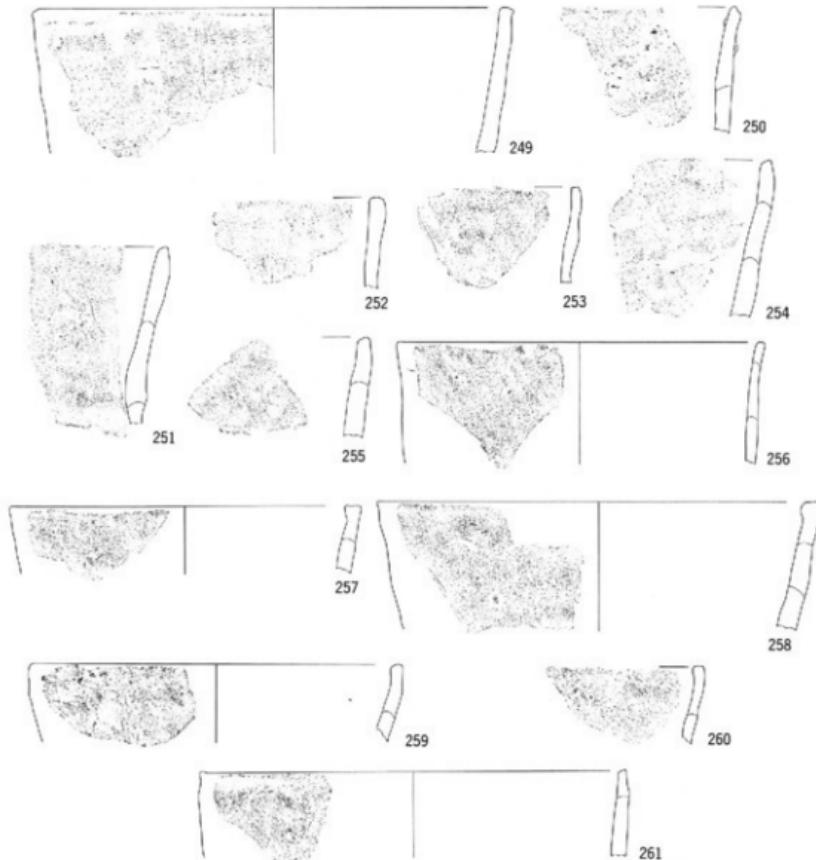


表-39 製塙土器 I類 3 b

上部 番号	出上地 地区一層位	種別	部位	生 動 (cm)			文様調査		備 考	縮尺
				高さ	口径	底径	経年	内面		
249	表層	製塙土器	口縁	—	24.8	—	0.7~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
250	表層	製塙土器	口縁	—	—	—	0.8~	ナゲ	ナゲ	1/3
251	表層	製塙土器	口縁	—	—	—	0.9~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
252	表層	製塙土器	口縁	—	—	—	0.9~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
C-6	汎層上	製塙土器	口縫	—	—	—	0.5~ 0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
D-2	汎層上	製塙土器	口縫	—	—	—	0.8~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
D-3	汎層上	製塙土器	口縫	—	—	—	0.7~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
D-5	汎層上	製塙土器	口縫	—	19.6	—	0.5~ 0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
D-9・10	汎層	製塙土器	口縫	—	18.8	—	0.8~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
D-9・10	汎層	製塙土器	口縫	—	23.8	—	0.4~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
D-9・10	汎層	製塙土器	口縫	—	20.0	—	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
D-9・10	汎層	製塙土器	口縫	—	—	—	0.6	縹毛目	ナゲ	1/3
A-8	汎層上面	製塙土器	口縫	—	22.8	—	0.4~ 0.7	ナゲ	ナゲ	1/3

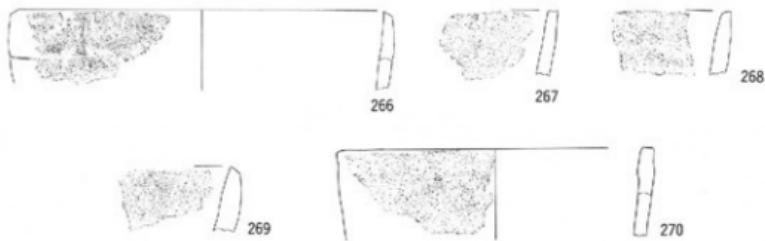
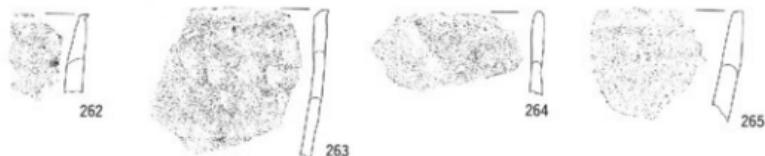


表-40 製塩土器 I類 3 b

土器番号	地区・層位	種別	部位	直 径(cm)			文 標 製 作			備考	縮尺
				器高	口径	底径	壁厚	内面	外面		
262	C-6	汎用	製塩土器	口縁	—	—	0.5~0.8	ナデ	ナデ		1/3
263	D-E-10・11	汎用	製塩土器	口縁	—	—	0.6	ナデ	ナデ		1/3
264	D-E-10・11	汎用	製塩土器	口縁	—	—	0.6~0.7	ナデ	ナデ		1/3
265	C-4	1層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.6~1.0	ナデ	ナデ		1/3
266	A-8	2層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.7~0.9	カズラ	ナデ		1/4
267	C-6	2層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.6	ナデ	ナデ		1/3
268	C-6	2層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.6~0.9	ナデ	ナデ		1/3
269	C-6	2層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.6~1.1	ナデ	ナデ		1/3
270	D-9	2層上部	製塩土器	口縁	—	—	0.7	ナデ	ナデ		1/3

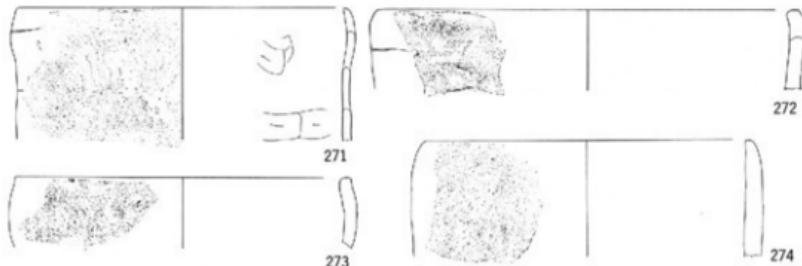


表-41 製塩土器 I類 2 b

土器番号	当 地	上 地	種 別	部 位	直 径(cm)			文 標 製 作			備 考	縮 尺
					器高	口径	底径	壁厚	内面	外面		
271	D-5	汎用	製塩土器	口縁	—	17.8	—	0.4	ナデ	ナデ		1/3
272	D-9・10	汎用	製塩土器	口縁	—	22.6	—	0.8~1.0	ナデ	ナデ		1/3
273	D-9・10	汎用	製塩土器	口縁	—	19.0	—	0.8	ナデ	ナデ		1/3
274	C-4	汎用	製塩土器	口縁	—	8.9	—	0.4~0.9	ナデ	ナデ		1/3

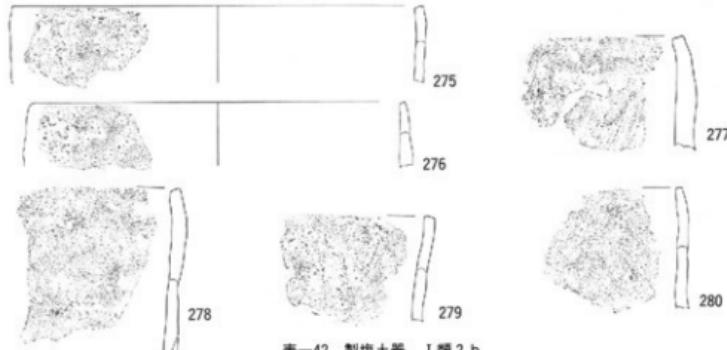


表-42 製塙土器 I類 2 b

土器番号	出土地	種別	部位	底盤(cm)				文様調査		備考	縮尺
				器高	口径	底径	板厚	内面	外面		
275	D E-10・II 尻屋中	製塙土器	口縁	—	29.4	—	0.6~0.7 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/4	
276	D E-10・II 尻屋中	製塙土器	口縁	—	26.8	—	0.7~ 0.9 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/4	
277	D E-10・II 尻屋中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6~ 1.2 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
278	D E-10・II 尻屋中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6~ 0.8 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
279	D E-10・II 尻屋中	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6~ 0.8 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
280	S K-04 堆土	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6~ 0.8 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	



表-43 製塙土器 I類 3 a, I類 1 a

土器番号	出土地	種別	部位	底盤(cm)				文様調査		備考	縮尺
				器高	口径	底径	板厚	内面	外面		
281	C-6 2層上部	製塙土器	口縁	—	—	—	1.1 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
282	D-10 1層上部	製塙土器	口縁	—	20.2	—	1.1 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
283	D-5 5層上部	製塙土器	口縁	—	—	—	1.0~ 1.2 ナゲ ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	

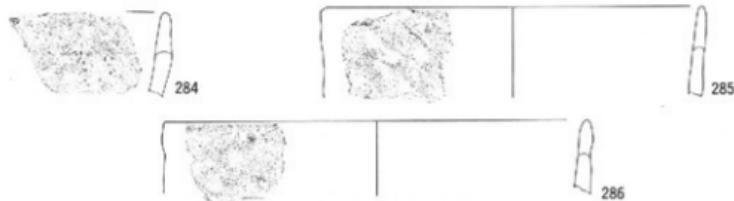


表-44 製塙土器 II類 3 b

土器番号	出土地	種別	部位	底盤(cm)				文様調査		備考	縮尺
				器高	口径	底径	板厚	内面	外面		
284	D-9 2層上部	製塙土器	口縁	—	—	—	0.6~ 0.9 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
285	D-10 落込込み土	製塙土器	口縁	—	20.5	—	0.4~ 0.7 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	
286	S K-03 堆土	製塙土器	口縁	—	22.8	—	0.8 ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/3	



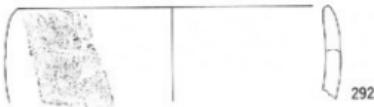
287

288

290

289

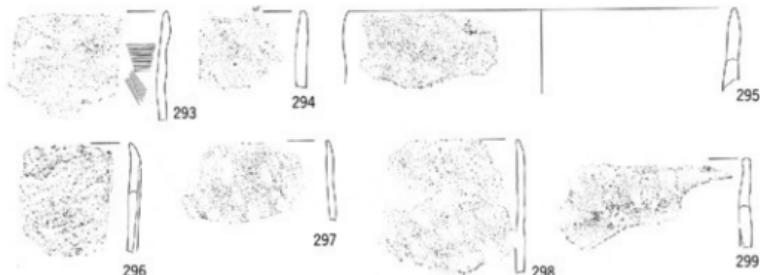
291



292

表-45 製塙土器 II類 2 b

上段 番号	出 土 地 方 及 一 般 位 置	種 別	形 位	底 面 (cm)			文 様 調 査		考 證	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	厚 度	内 面	外 面	
287	D-5	火床土器	口縫	—	15.2	—	0.3~ 0.4	ナデ	ナデ	1/3
288	D-5	火床土器	口縫	—	—	—	0.5~ 0.6	ナデ	ナデ	1/3
289	D-E-10・II	火窓中 転覆土器	口縫	—	—	—	0.3ナデ	ナデ	ナデ	1/3
290	B-8	2層土器	転覆土器	口縫	—	—	0.3ナデ	ナデ	ナデ	1/3
291	D-9	2層土器	転覆土器	口縫	—	—	0.5ナデ	ナデ	ナデ	1/3
292	SK-04	堆土器	転覆土器	口縫	—	—	0.6ナデ	ナデ	ナデ	1/3



293

294

295

296

297

298

299

表-46 製塙土器 II類 1 b

上段 番号	出 土 地 方 及 一 般 位 置	種 別	形 位	底 面 (cm)			文 様 調 査		考 證	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	厚 度	内 面	外 面	
293	火床	転覆土器	口縫	—	—	—	0.3~ 0.5	ナデ	ナデ	1/3
294	C-5	火窓中 転覆土器	口縫	—	—	—	0.3~ 0.5	ナデ	ナデ	1/3
295	A-8	火窓上部 転覆土器	口縫	—	20.8	—	0.3~ 0.8	ナデ	ナデ	1/3
296	D-E-10・II	火窓中 転覆土器	口縫	—	—	—	0.5ナデ	ナデ	ナデ	1/3
297	A-9	1層上面 転覆土器	口縫	—	—	—	0.2~ 0.3	ナデ	ナデ	1/3
298	A-9	1層上面 転覆土器	口縫	—	—	—	0.3~ 0.5	ナデ	ナデ	1/3
299	SK-02	転覆土器	口縫	—	—	—	0.5ナデ	ナデ	ナデ	1/3

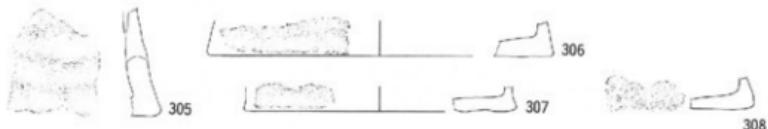


303

304

表-47 I類1b

番号	出上地 地区一層位	種別	部位	剖面(cm)			文様調査		備考	毎尺
				器高	口径	底径	深度	内面		
305	水田	粘板土器	底部	—	—	—	1.0	ナデ	ナデ	1/3
306 C-3	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	1.1~1.2	ナデ	ナデ	1/3
307 A-8	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	18.0	0.5ナデ	ナデ	1/3
308 D-E-10+11	灰原中	粘板土器	底部	—	—	—	22.4	0.5ナデ	ナデ	1/3
309 D-11	5層上部	粘板土器	底部	—	—	—	17.6	0.5ナデ	ナデ	1/3



305

306

307

308



309

310



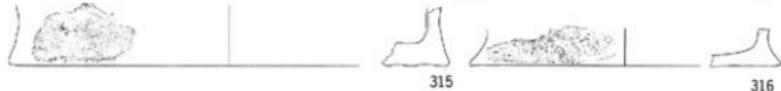
311

312



313

314



315

316

表-48 I類2b

番号	出上地 地区一層位	種別	部位	剖面(cm)			文様調査		備考	毎尺
				器高	口径	底径	深度	内面		
305 C-6	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	1.2ナデ	刷毛目	ナデ	1/3
306 C-6	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	19.0	0.5ナデ	ナデ	1/3
307 C-6	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	13.0	0.4ナデ	ナデ	1/3
308 C-6	灰原中	粘板土器	底部	—	—	—	—	0.4ナデ	ナデ	1/3
309 C-6	灰原中	粘板土器	底部	—	—	—	18.8	0.5ナデ	ナデ	1/3
310 C-6	灰原中	粘板土器	底部	—	—	—	17.2	0.4ナデ	ナデ	1/3
311 D-E-10+11	灰原上	粘板土器	底部	—	—	—	18.4	0.4ナデ	ナデ	1/3
312 D-11	1層上部	粘板土器	底部	—	—	—	—	0.4ナデ	ナデ	1/3
313 A-8	2層上部	粘板土器	底部	—	—	—	26.4	0.8ナデ	ナデ	1/3
314 D-11	2層上部	粘板土器	底部	—	—	—	14.8	0.6ナデ	ナデ	1/3
315 D-11	2層上部	粘板土器	底部	—	—	—	23.6	0.7ナデ	ナデ	1/3
316 D-10	3層上部	粘板土器	底部	—	—	—	16.6	0.6ナデ	ナデ	1/3



表-49 I類3a 3b

上部 番号	出 土 地 地区一層位	種別	部 位	出 量(cm)			文 様 調 査		備 考	鉢 尺
				高 さ	口 径	底 径	厚 さ	内 面	外 面	
317	D-9・10	灰質 粘土岩	底部	—	—	15.8	0.2	ナゲ	ナゲ	1/3
318	C-2	灰質 粘土岩	底部	—	—	—	1.0- 1.4	ナゲ	ナゲ	1/3
319	C-6	灰質 粘土岩	底部	—	—	22.6	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
320	C-6	灰質 粘土岩	底部	—	—	17.1	—	ナゲ	ナゲ	1/3
321	C-6	灰質 粘土岩	底部	—	—	—	0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
322	C-6	灰質 粘土岩	底部	—	—	—	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
323	D-11	2層上面 粘土岩	底部	—	—	20.0	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
324	D-5	5層上面 粘土岩	底部	—	—	14.6	0.4	ナゲ	ナゲ	1/3
325	D-5	5層上面 粘土岩	底部	—	—	17.4	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3

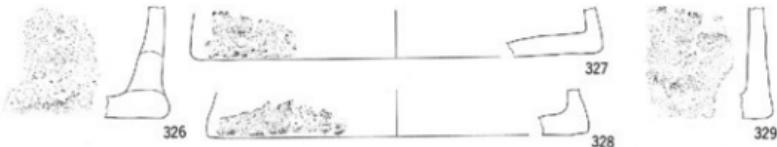


表-50 I類4a 4b

上部 番号	出 土 地 地区一層位	種別	部 位	出 量(cm)			文 様 調 査		備 考	鉢 尺
				高 さ	口 径	底 径	厚 さ	内 面	外 面	
326	C-4	2層上面 粘土岩	底部	—	—	—	1.6- 0.8	ナゲ	ナゲ	1/3
327	赤鉄 鉱	粘土岩	底部	—	—	22.0	0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
328	赤鉄 鉱	粘土岩	底部	—	—	20.4	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
329	C-3	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	—	0.7- 1.2	ナゲ	ナゲ	1/3
330	C-5	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	17.8	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
331	C-6	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
332	C-6	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	—	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
333	C-6	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
334	D-5	泥炭上 粘土岩	底部	—	—	15.2	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3

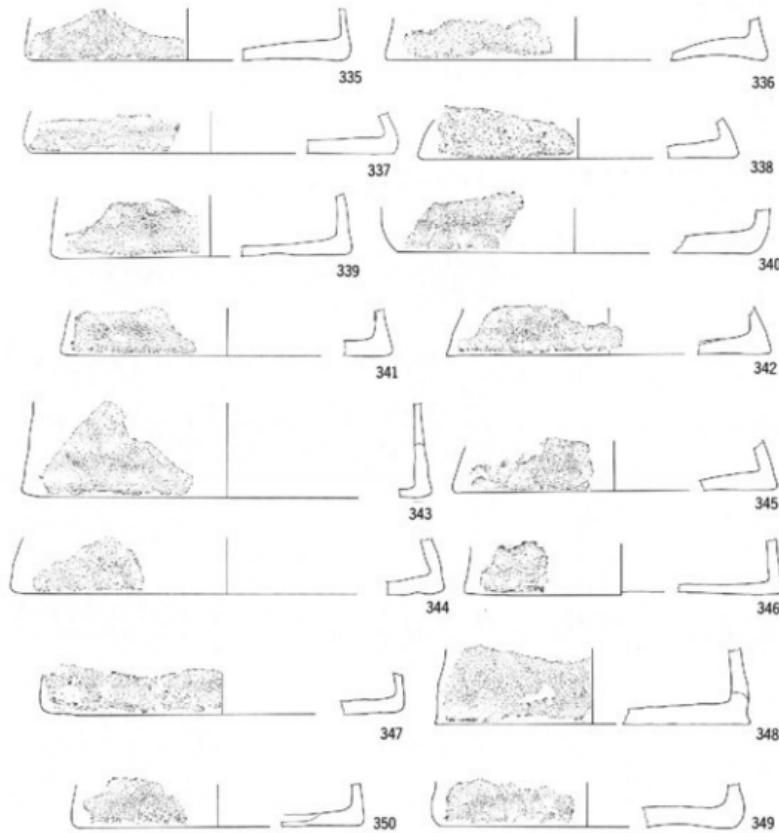


表-51 I類4 b

番号	出 土 地	種 別	然 在 位	底 高 (m)			文 様 調 査		考 察	鉢 尺
				最高	中 位	底 位	内 面	外 面		
335	D-5 天原上 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.4	0.3	ナデ	ナデ		1/3
336	D-5 天原上 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	20.4	0.6	ナデ	ナデ		1/3
337	A,B,C 天原 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	26.0	0.6	ナデ	ナデ		1/4
338	D-E-10・11 天原中 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.2	0.6	ナデ	ナデ		1/3
339	D-E-10・11 天原中 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	15.0	0.5	ナデ	ナデ		1/3
340	D-E-10・11 天原中 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	19.0	0.6	ナデ	ナデ		1/3
341	D-E-10・11 天原山 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.8	0.4 0.6	カキ風ナデ	ナデ		1/3
342	D-5 5層上位 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.6	0.5 0.7	ナデ	穀ナデ		1/3
343	D-10 5層上位 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	12.2	0.3 0.8	ナデ	穀ナデ		1/3
344	D-10 5層上位 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	23.2	0.7	ナデ	ナデ		1/3
345	D-10 5層上位 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.4	0.7	ナデ	穀ナデ		1/3
346	D-10 5層 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.2	0.5	ナデ	ナデ		1/3
347	S.K.-94 押出 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	19.4	0.5	ナデ	ナデ		1/3
348	夷振 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	17.0	0.6 0.9	穀ナデ	ナデ		1/3
349	夷振 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	16.0	0.7	ナデ	ナデ		1/3
350	C-5 比那中 輪軸土器	輪軸土器	底面	-	15.7	0.4	ナデ	ナデ		1/3

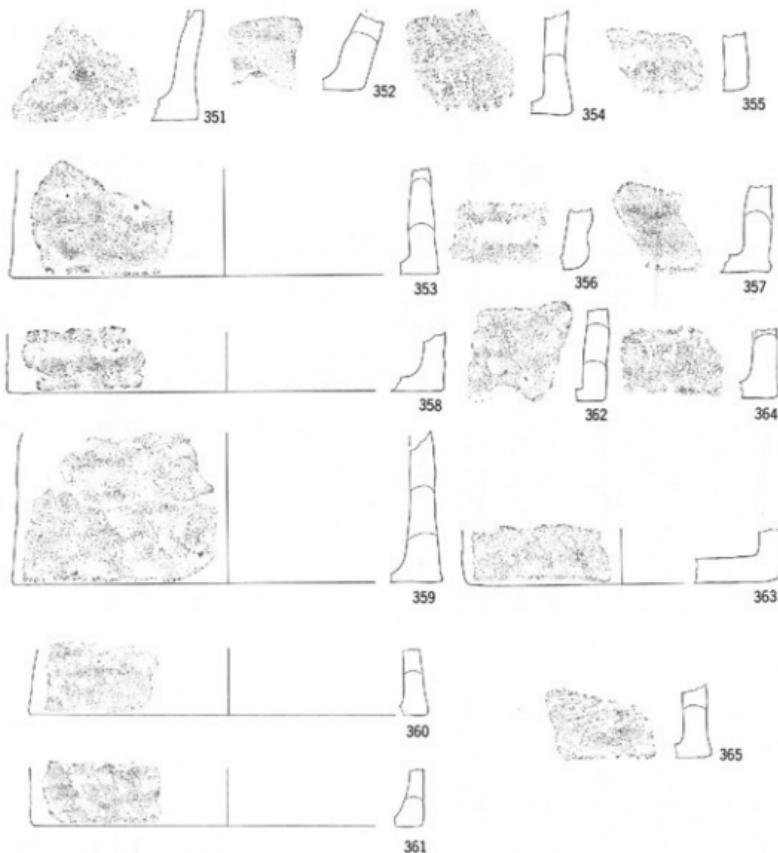
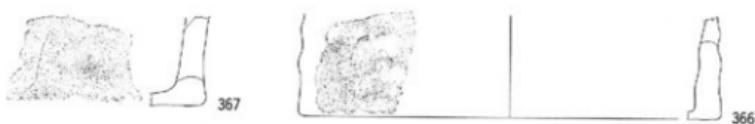


表-52 I類5b, II類1a

番号	出 土 地 区 一 般 位	性 別	部 位	后 方 (cm)			天 場 諸 量			備 考	原 尺
				裏 面	口 径	底 盤	内 曲	外 曲			
351	A-2	2型	製塩土器	底部	-	-	1.0~ 1.1	ナデ	ナデ		1/5
352	奥浜	製塩土器	底部	-	-	-	1.8	ナデ	ナデ		1/5
353	奥浜	製塩土器	底部	-	-	23.6	1.0~ 1.4	ナデ	ナデ		1/3
354	奥浜	製塩土器	底部	-	-	-	1.2	ナデ	ナデ		1/5
355	C-6	灰原上	製塩土器	底部	-	-	1.3	ナデ	ナデ		1/5
356	C-6	灰原上	製塩土器	底部	-	-	1.1~ 1.3	ナデ	ナデ		1/5
357	C-6	灰原上	製塩土器	底部	-	-	1.5	脚毛目	ナデ		1/5
358	D-9+10	灰原	製塩土器	底部	-	23.4	3.1	ナデ	ナデ		1/5
359	A-8	灰原上	製塩土器	底部	-	-	1.3~ 23.4	ナデ	ナデ		1/3
360	A-8	灰原上	製塩土器	底部	-	28.4	1.2~ 1.4	ナデ	脚毛目		1/4
361	A-8	灰原上	製塩土器	底部	-	28.6	1.0~ 1.2	ナデ	ナデ		1/4
362	A-8	灰原上	製塩土器	底部	-	-	1.3	ナデ	ナデ		1/3
363	A-8	灰原上	製塩土器	底部	-	-	17.0	1.3	ナデ		1/3
364	D-E-10+11	灰原中	製塩土器	底部	-	-	1.4	ナデ	ナデ		1/5
365	D-10	1番上	製塩土器	底部	-	-	1.3	ナデ	ナデ		1/5



367



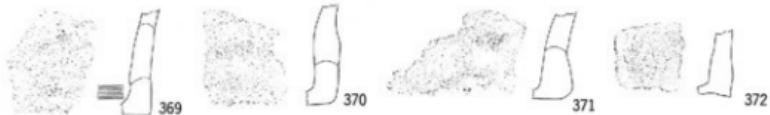
366



368

表-53 II類 1 a

番号	生 土 地 地区一層位	種 別	形 性	剖 量 (cm)			文 標 測 定		備 考	縮尺
				最高	口徑	底径	器厚	内 面		
366	A-8	2層上面 軽粘土質	底部	—	—	—	22.6	1.6~ 1.3	ナデ	ナデ
367	C-4	2層上面 軽粘土質	底部	—	—	—	—	1.2~ 1.3	圓ナデ	ナデ
368	S.K.-09	軽粘土質	底部	—	—	—	16.4	0.5	ナデ	ナデ



369



370



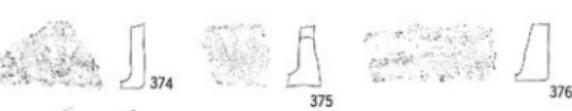
371



372



373



374



375



376



377



378



379

380

381

表-54 II類 1 b

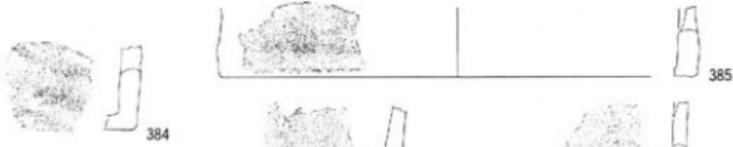
番号	生 土 地 地区一層位	種 別	形 性	剖 量 (cm)			文 標 測 定		備 考	縮尺	
				最高	口徑	底径	器厚	内 面			
369	表振	軽粘土質	底部	—	—	—	0.8~ 1.0	ナデ 繊毛目	ナデ	1/3	
370	表振	軽粘土質	底部	—	—	—	0.9~ 1.4	ナデ	ナデ	1/3	
371	表振	軽粘土質	底部	—	—	—	1.2~ 1.5	ナデ	ナデ	1/3	
372	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.9~ 1.2	ナデ	ナデ	1/3	
373	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ	1/3	
374	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.7	ナデ	ナデ	1/3	
375	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.7~ 1.0	繊毛目	ナデ	1/3	
376	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.9~ 1.2	ナデ	ナデ	1/3	
377	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	1.0	ナデ	ナデ	1/3	
378	C-6	泥炭上 軽粘土質	底部	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ	1/3	
379	B-8	泥炭	軽粘土質	底部	—	—	23.4	1.5~ 1.8	圓ナデ	ナデ	1/4
380	A-8	2層上面 軽粘土質	底部	—	—	—	1.1	ナデ	ナデ	1/3	
381	A-8	実測上面 軽粘土質	底部	—	—	—	22.8	1.0~ 1.5	繊毛目	ナデ	1/3



382

383

386



384

387

385

388

表-55 II類 1 b

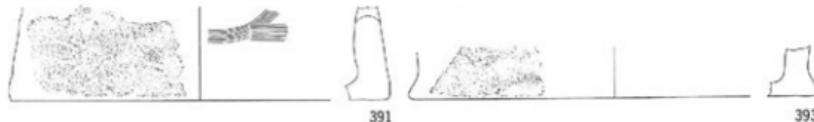
土名	出 土 地	層 別	剖 面	生 命 (cm)				文 標 調 查		備 考	縮 尺
				高さ	口径	底径	厚さ	内 面	外 面		
382 A-8	地区一帶 五	軸状土器	底部	—	—	22.8	0.8	ナデ	ナデ		1/3
383 A-8	灰岩上部	軸状土器	底部	—	—	18.8	1.0~ 1.2	ナデ	ナデ		1/3
384 D-E-10+11	灰岩中	軸状土器	底部	—	—	—	1.1	ナデ	ナデ		1/3
385 D-E-10+11	灰岩中	軸状土器	底部	—	—	25.6	1.2	ナデ	ナデ		1/3
386 C-4	1種上部	軸状土器	底部	—	—	—	1.5	ナデ	ナデ		1/3
387 SK-03	地帯 第二带	底部	—	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ		1/3
388 SK-03	地帯 第三带	底部	—	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ		1/3



389

390

392



393

391

表-56 II類 2 a

土名	出 土 地	層 別	剖 面	生 命 (cm)				文 標 調 查		備 考	縮 尺
				高さ	口径	底径	厚さ	内 面	外 面		
390 他	軸状土器	底部	—	—	—	—	1.1	ナデ	ナデ		1/3
391 A-8	灰岩上部	軸状土器	底部	—	—	19.2	1.2	ナデ	ナデ		1/3
392 A-8	灰岩上部	軸状土器	底部	—	—	20.4	1.2~ 1.6	ナデ	麻毛目	ナデ	1/3
393 D-10	2種上部	軸状土器	底部	—	—	—	1.1	ナデ	ナデ		1/3



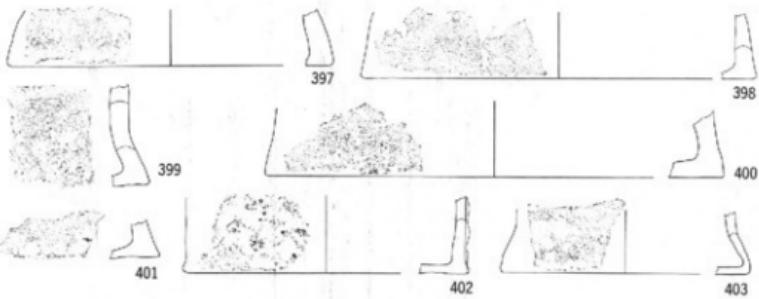
394

395

396

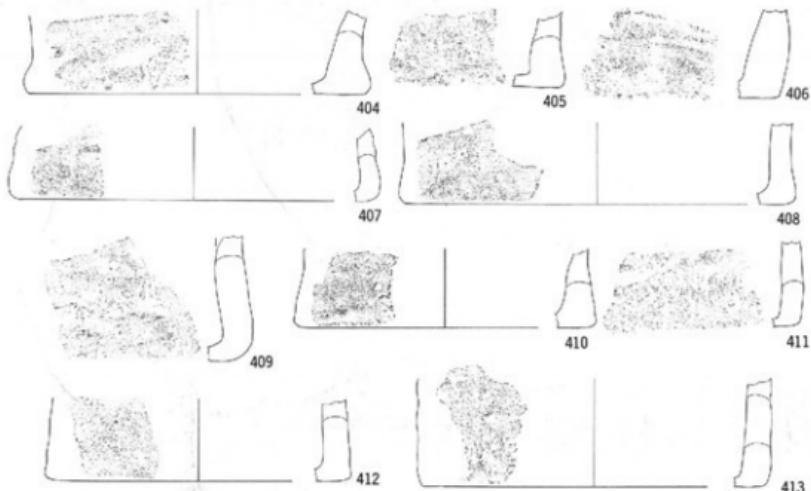
表-57 II類 2 b

土名	出 土 地	層 別	剖 面	生 命 (cm)				文 標 調 查		備 考	縮 尺
				高さ	口径	底径	厚さ	内 面	外 面		
394 他	軸状土器	底部	—	—	—	—	1.0~ 1.4	ナデ	ナデ		1/3
395 C-6	灰岩上	軸状土器	底部	—	—	38.4	0.8	ナデ	ナデ		1/3
396 C-6	灰岩上	軸状土器	底部	—	—	—	1.0	ナデ	ナデ		1/3



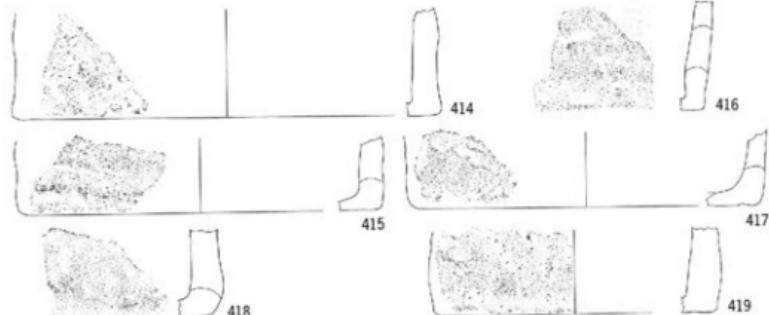
表一-58 II類 2 b

土番号	出 土 用 地 区 一 層 位	種 別	形 状	法 面 (cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				高 さ	口 徑	底 径	基 厚	内 面	外 面		
397	C-6	灰原上	製陶土器	底部	—	—	17.4	1.0	ナゲ		1/3
398	C-6	灰原上	製陶土器	底部	—	—	28.2	0.7~ 1.2	粗毛目	ナゲ	1/3
399	C-6	灰原上	製陶土器	底部	—	—	—	—	0.9割引目	ナゲ	1/3
400	B-C-5+6+7	灰原土	製陶土器	底部	—	—	24.6	1.5	ナゲ	ナゲ	1/3
401	C-6	灰原土	製陶土器	底部	—	—	12.2	0.8	ナゲ	ナゲ	1/3
402	D-11	2層上部	製陶土器	底部	—	—	15.4	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
403	SK-03	2層上部	製陶土器	底部	—	—	13.2	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3



表一-59 II類 3 a

土番号	出 土 用 地 区 一 層 位	種 別	形 状	法 面 (cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				高 さ	口 徑	底 径	基 厚	内 面	外 面		
404	灰原	製陶土器	底部	—	—	—	18.0	1.2~ 1.7	ナゲ		1/3
405	灰原	製陶土器	底部	—	—	—	—	1.2~ 1.8	ナゲ	ナゲ	1/3
406	C-3	灰原上	製陶土器	底部	—	—	—	1.4~ 2.1	ナゲ	ナゲ	1/3
407	D-9+10	灰原	製陶土器	底部	—	—	26.0	1.2~ナゲ	ナゲ		1/4
408	D-9+10	灰原	製陶土器	底部	—	—	21.0	1.2	粗毛目		1/3
409	D-3	1層上部	製陶土器	底部	—	—	—	1.6	ナゲ	ナゲ	1/3
410	SK-05	製陶土器	底部	—	—	—	16.2	0.8~ 1.5	ナゲ	模ナゲ	1/3
411	B-8	2層上部	製陶土器	底部	—	—	—	1.2	ナゲ	粗毛目	1/3
412	D-9	2層上部	製陶土器	底部	—	—	16.4	1.3	ナゲ	ナゲ	1/3
413	D-9	2層上部	製陶土器	底部	—	—	15.0	1.4	ナゲ	粗毛目	1/3



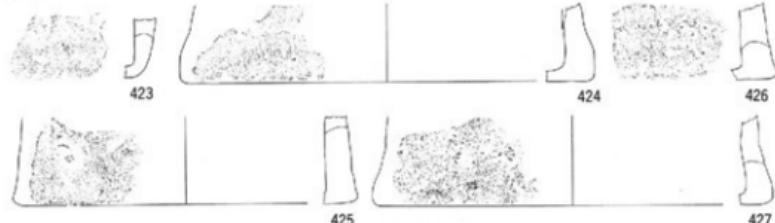
表一-60 II類 3 a

土番 番号	出 土 地 区 一 層 位	種 別	形 位	厚 度(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				基 高	上 限	底 限	幅 度	縦 厚	内 面	外 面	
414	D-9	2層上部	製塗土器	底部	-	-	23.0	1.2~ 1.3	ナデ	ナデ	1/3
415	D-10	2層上部	製塗土器	底部	-	-	19.8	1.3	ナデ	横ナデ	1/3
416	D-5	5層上部	製塗土器	底部	-	-	0.9~ 1.2	1.2	アズ	ナデ	1/3
417	S K-03	製塗土器	底部	-	-	-	18.8	1.0~ 1.3	ナデ	横ナデ	1/3
418	実探	製塗土器	底部	-	-	-	1.5~ 1.7	1.7	横ナデ	ナデ	1/3
419	D-10	上部	製塗土器	底部	-	-	1.4~ 1.5	1.5	横ナデ	横ナデ	1/3



表一-61 II類 3 b

土番 番号	出 土 地 区 一 層 位	種 別	形 位	厚 度(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				基 高	上 限	底 限	幅 度	縦 厚	内 面	外 面	
420	C-5	灰原中	製塗土器	底部	-	-	-	0.8~ 0.9	アズ	ナデ	1/3
421	A-8	灰層上部	製塗土器	底部	-	-	-	0.6~ 1.1	アズ	ナデ	1/3
422	C-10	灰原中	製塗土器	底部	-	-	20.4	0.8~ 1.0	ナデ	ナデ	1/3



表一-62 II類 4 a

土番 番号	出 土 地 区 一 層 位	種 別	形 位	厚 度(cm)			文 様 調 査		備 考	縮 尺	
				基 高	上 限	底 限	幅 度	縦 厚	内 面	外 面	
423	C-5	灰原上	製塗土器	底部	-	-	-	0.8~ 1.1	アズ	アズ	1/3
424	D-9・10	灰原	製塗土器	底部	-	-	21.0	1.0~ 1.4	アズ	アズ	1/3
425	D-9・10	灰原	製塗土器	底部	-	-	18.6	1.4	ナデ	ナデ	1/3
426	D-9・10	灰原	製塗土器	底部	-	-	-	1.5	アズ	ナデ	1/3
427	D E-10・11	灰層中	製塗土器	底部	-	-	21.4	0.9~ 1.1	縦毛目	ナデ	1/3



428



430



429



431



432

表一-63 II類 4 a

土質番号	地区一層位	種別	部位	形状 (cm)			文様調査			備考	縮尺
				高さ	口径	底径	厚さ	内面	外面		
428	D E-10・11 灰褐色 粘土質	柱状	底部	-	-	-	1.4~ 1.6	ナデ	ナデ		1/3
429	S K-05 粘土質	柱状	底部	-	-	-	18.8	1.2	ナデ	ナデ	1/3
430	A-8 2層上部 粘土質	柱状	底部	-	-	-	24.0	0.8~ 1.1	ナデ	ナデ	1/3
431	A-8 2層上部 粘土質	柱状	底部	-	-	-	17.8	1.2	ナデ	ナデ	1/3
432	D-10 土灰 粘土質	柱状	底部	-	-	-	25.6	1.1~ 1.4	ナデ	強ナデ	1/4



433



434



435



436



437



438



439



440

表一-64 II類 4 b

土質番号	地区一層位	種別	部位	形状 (cm)			文様調査			備考	縮尺
				高さ	口径	底径	厚さ	内面	外面		
433	C-6 灰原上 粘土質	柱状	底部	-	-	-	17.8	0.9~ 1.2	ナデ	ナデ	1/3
434	C-6 灰原上 粘土質	柱状	底部	-	-	-	-	1.1	柱面Ⅱ	ナデ	1/3
435	D-9・10 灰原 粘土質	柱状	底部	-	-	-	19.2	0.8	ナデ	ナデ	1/3
436	D-9・10 灰原 粘土質	柱状	底部	-	-	-	19.2	1.1	ナデ	ナデ	1/3
437	B C-5・6・7 灰原中 粘土質	柱状	底部	-	-	-	25.8	1.0	ナデ	ナデ	1/4
438	D E-10・11 灰原中 粘土質	柱状	底部	-	-	-	1.5~ 1.9	ナデ	ナデ	ナデ	1/3
439	A-9 1層上部 粘土質	柱状	底部	-	-	-	0.8~ 1.0	ナデ	ナデ	ナデ	1/3
440	S K-03 堆土 粘土質	柱状	底部	-	-	-	1.0	ナデ	ナデ	ナデ	1/3

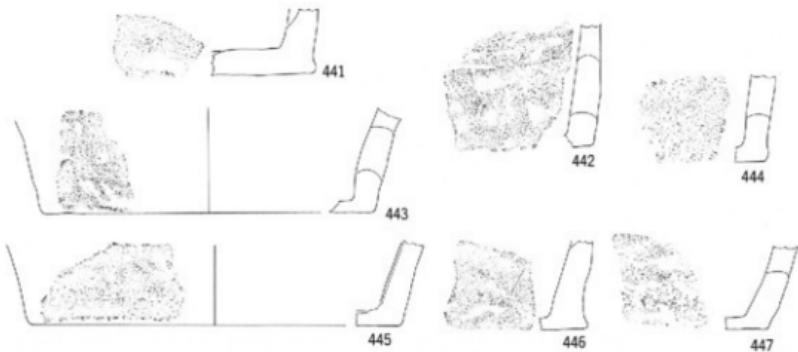


表-65 II類 5 a

土番 番号	出 土 地 点 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)				文 標 記 要		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	層 厚	内 面	外 面		
441	C-3	灰原上	製塩土器	底盤	—	—	—	1.6	ナデ	ナデ	1/3
442	B-8	灰原	製塩土器	底盤	—	—	—	1.2~ 1.5	無ナデ	ナデ	1/3
443	D-9+10	灰原	製塩土器	底盤	—	—	—	18.0	1.5 ナデ	ナデ	1/3
444	C-4	2層灰原	製塩土器	底盤	—	—	—	1.2~ 1.3	ナデ	ナデ	1/3
445	C-4	2層灰原	製塩土器	底盤	—	—	—	19.8	1.1~ 1.2 ナデ	ナデ	1/3
446	A-2	2層	製塩土器	底盤	—	—	—	1.3~ 1.5	無ナデ	ナデ	1/3
447	SK-03	灰原	輪軸上部	底盤	—	—	—	1.5	ナデ	ナデ	1/3

表-66 II類 5 b

土番 番号	出 土 地 点 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)				文 標 記 要		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	層 厚	内 面	外 面		
448	DE-10+11	灰原中	製塩土器	底盤	—	—	20.2	0.6	ナデ	ナデ	1/3
449	SK-03	埋土	製塩土器	底盤	—	—	—	1.3	ナデ	ナデ	1/3



表-67 II類 6 a

土番 番号	出 土 地 点 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)				文 標 記 要		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	層 厚	内 面	外 面		
450	DE-10+11	灰原中	製塩土器	底盤	—	—	16.8	2.0	ナデ	ナデ	1/3

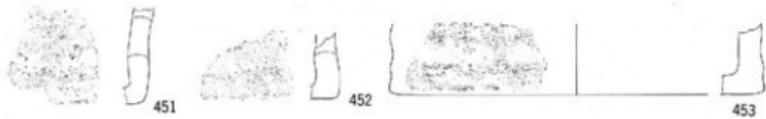


表-68 III類 1 a

土番 番号	出 土 地 点 地 区 一 般 位	種 別	部 位	法 量(cm)				文 標 記 要		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	層 厚	内 面	外 面		
451	C-6	灰原上	製塩土器	底盤	—	—	—	1.5	斜毛目	ナデ	1/3
452	C-6	灰原上	製塩土器	底盤	—	—	—	1.2	ナデ	ナデ	1/3
453	D-9+10	灰原	製塩土器	底盤	—	—	20.0	1.2	ナデ	ナデ	1/3

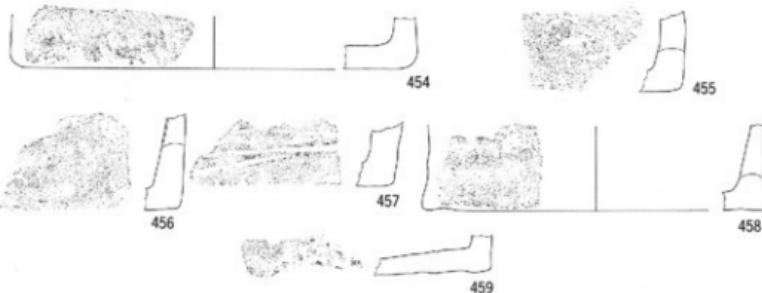


表-69 III類 1a

番号	出 土 地	地 区 一 置 位	種 別	部 位	寸 厘 (cm)				文 標 調 査	備 考	縮 尺
					器高	口径	底径	厚度			
454	A-8	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	21.6	1.2	ナデ	ナデ	1/3
455	A-8	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	—	1.3 ナデ	ナデ	1/3
456	A-8	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	—	1.3 ナデ	ナデ	1/3
457	C-3	2層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	—	1.5 ナデ	ナデ	1/3
458	D-9	2層上部	輪埴土器	底部	—	—	18.2	0.7~ 1.5	新毛目	ナデ	1/3
459	S K-03	堆上	輪埴土器	底部	—	—	—	—	1.1 ナデ	ナデ	1/3

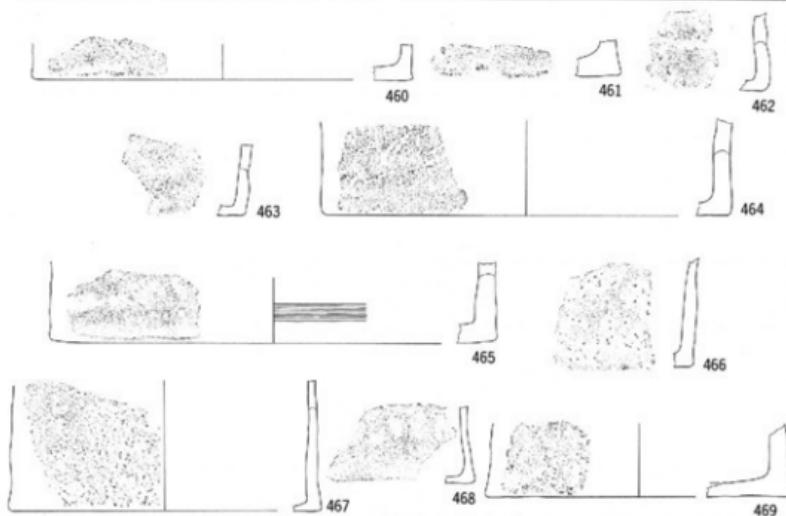


表-70 III類 1b

番号	出 土 地	地 区 一 置 位	種 別	部 位	寸 厘 (cm)				文 標 調 査	備 考	縮 尺
					器高	口径	底径	厚度			
460	C-6	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	19.0	0.8	ナデ	ナデ	1/3
461	C-6	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	—	1.0 ナデ	ナデ	1/3
462	C-6	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	0.7	ナデ	ナデ	1/3
463	C-6	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	0.6	ナデ	ナデ	1/3
464	A-8	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	18.8	0.8	新毛目	ナデ	1/3
465	A-8	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	24.0	1.0	ナデ	新毛目	ナデ
466	C-10	灰層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	0.4~ 0.6	ナデ	ナデ	1/3
467	D-4	2層上部	輪埴土器	底部	—	—	16.8	0.4~ 0.7	ナデ	ナデ	1/3
468	D-4	2層上部	輪埴土器	底部	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	1/3
469	D-9	2層上部	輪埴土器	底部	—	—	16.0	1.0	ナデ	ナデ	1/3

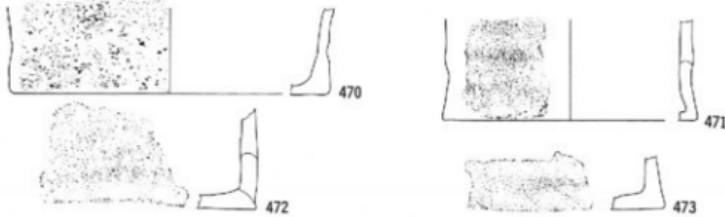


表-71 III類 1 b

土番号	出 土 地 点 区 一 層 位	種 別	部 位	法 量 (cm)			文 標 調 查		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	壁 厚	内 面		
470	E-4	5層上面	製塗土器	弧形	—	—	16.8	0.5~ 0.9	ナデ	ナデ
471	D-10	5層上面	製塗土器	弧形	—	—	12.6	0.7	ナデ	ナデ
472	3号炉	床下	製塗土器	弧形	—	—	—	0.7~ 0.9	ナデ	ナデ
473	4号炉	地土	製塗土器	弧形	—	—	—	0.6	ナデ	ナデ

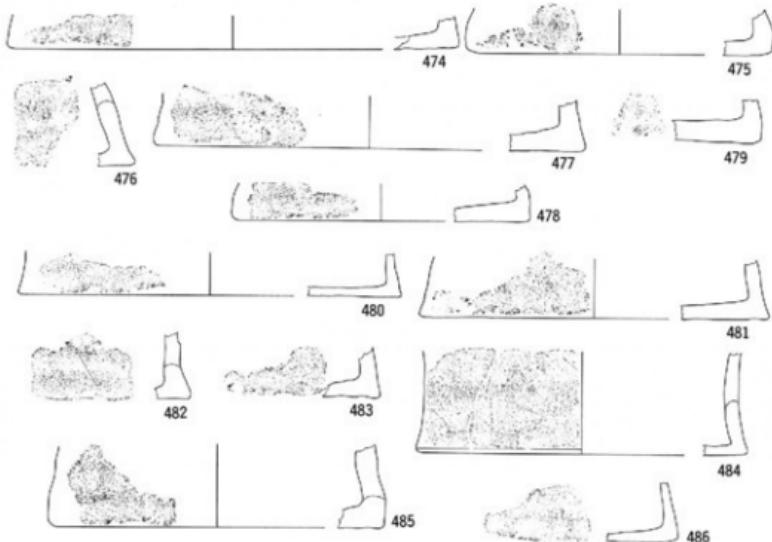


表-72 III類 2 b

土番号	出 土 地 点 区 一 層 位	種 別	部 位	法 量 (cm)			文 標 調 查		備 考	縮 尺
				高 度	口 径	底 径	壁 厚	内 面		
474	C-6	灰原上	製塗土器	弧形	—	—	24.2	1.0	ナデ	ナデ
475	C-6	灰原上	製塗土器	弧形	—	—	16.4	0.9	ナデ	ナデ
476	C-6	灰原上	製塗土器	弧形	—	—	—	1.0	ナデ	ナデ
477	C-6	灰原上	製塗土器	底部	—	—	23.2	1.0	ナデ	ナデ
478	C-6	灰原上	製塗土器	底部	—	—	16.0	0.7	ナデ	ナデ
479	C-6	灰原上	製塗土器	底部	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ
480	D-5	灰原上	製塗土器	底部	—	—	20.6	0.5	ナデ	ナデ
481	C-6	灰原中	製塗土器	底部	—	—	18.8	0.7	ナデ	ナデ
482	C-5	灰原中	製塗土器	底部	—	—	—	0.7~ 1.0	ナデ	ナデ
483	C-5	灰原中	製塗土器	底部	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ
484	E-6	灰原	製塗土器	底部	—	—	17.8	0.6~ 0.7	ナデ	ナデ
485	C-6	灰原中	製塗土器	底部	—	—	14.0	1.0	ナデ	ナデ
486	A-9	1層上面	製塗土器	底部	—	—	—	0.4~ 0.6	ナデ	ナデ

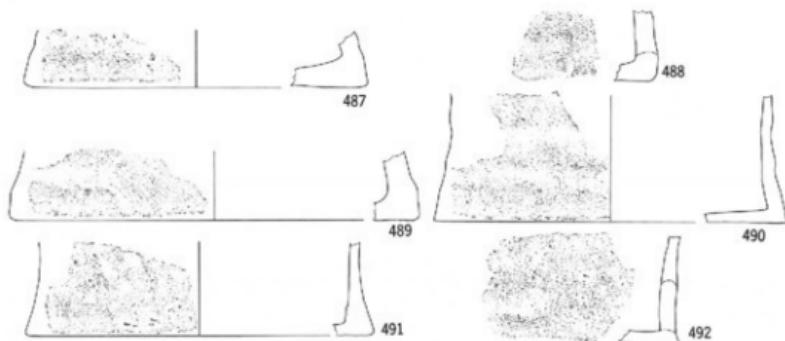


表-73 III類2 b

番号	出 土 地 地 区 一 般 位	種 別 部 分	土 壤 (cm)		文 種 調 整		備 考	縮 尺
			表面	口徑	底径	内 面		
487	C-6	2層上部 粘土層	底径	—	18.4	1.0 ナデ	ナデ	1/3
488	C-6	2層上部 粘土層	底径	—	—	1.0 ナデ	ナデ	1/3
489	C-6	2層上部 粘土層	底径	—	22.0	1.3 ナデ	ナデ	1/3
490	D-5	5層上部 粘土層	底径	—	18.4	0.4~ 0.8 ナデ	ナデ	1/3
491	E-4	5層上部 粘土層	底径	—	18.1	0.5~ 1.1 ナデ	ナデ	1/3
492	SX-03	壤土 粘土層	底径	—	—	0.6~ 0.9 ナデ	ナデ	1/3

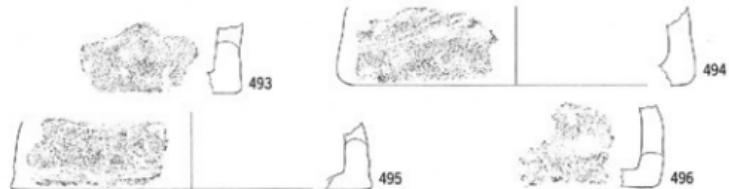


表-74 III類3 a

上部 出 土 地 地 区 一 般 位	種 別 部 分	剖 面	土 壤 (cm)		文 種 調 整		備 考	縮 尺
			表面	口徑	底径	基面		
493	D-10	1層上部 粘土層	底径	—	—	1.2 ナデ	基面	1/3
494	D-9	2層上部 粘土層	底径	—	—	19.2	1.2 ナデ	ナデ
495	D-10	2層上部 粘土層	底径	—	—	18.4	1.2~ 1.4 ナデ	ナデ
496	A-2	2層 粘土層	底径	—	—	1.1~ 1.2 ナデ	ナデ	1/3



表-75 III類3 b

上部 出 土 地 地 区 一 般 位	種 別 部 分	剖 面	土 壤 (cm)		文 種 調 整		備 考	縮 尺
			表面	口徑	底径	基面		
497	C-2	河原上 粘土層	底径	—	—	1.0 ナデ	ナデ	1/3
498	C-6	河原上 粘土層	底径	—	—	21.6	0.7 ナデ	ナデ
499	C-6	河原上 粘土層	底径	—	—	—	0.8 ナデ	ナデ
500	C-6	河原上 粘土層	底径	—	—	0.8~ 1.0 ナデ	ナデ	1/3
501	C-11	河原上 粘土層	底径	—	—	20.0	0.5 ナデ	ナデ

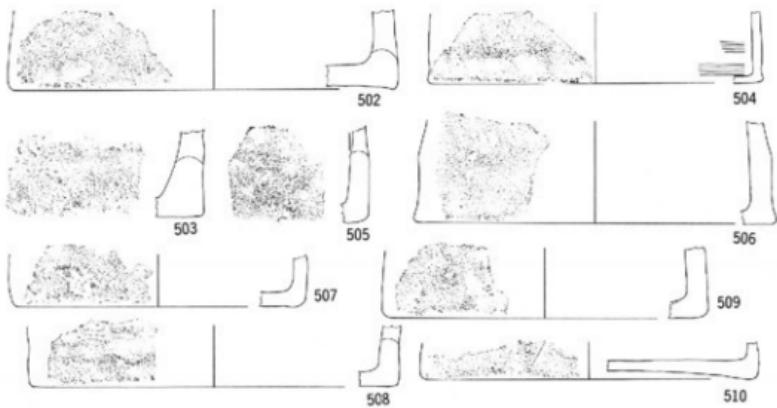


表-76 III類3 b

土器 番号	出 土 地 点	種 別 部 位	法 蓋 (cm)			文 様 調 査			備 考	範 例
			基 面	口 沿	底 盤	基 面	底 盤	厚 さ		
502	D-3	灰原上 製塙土器	底面	-	-	19.8	1.1~ 1.2	ナゲ	ナゲ	1/3
503	D-3	灰原上 製塙土器	底面	-	-	-	1.2~ 2.0	ナゲ	ナゲ	1/3
504	F-2・3	灰原中 製塙土器	底面	-	-	18.0	0.4~ 0.5	網目	ナゲ	1/3
505	D-E-10・11	灰原中 製塙土器	底面	-	-	-	1.1	ナゲ	ナゲ	1/3
506	C-2	2層上 製塙土器	底面	-	-	19.4	0.8~ 1.1	網目	ナゲ	1/3
507	C-8	2層上 製塙土器	底面	-	-	15.8	0.8	ナゲ	ナゲ	1/3
508	D-10	2層上 製塙土器	底面	-	-	19.8	1.0	ナゲ	ナゲ	1/3
509	D-10	2層上 製塙土器	底面	-	-	17.4	1.1	ナゲ	ナゲ	1/3
510	D-5	5層上 製塙土器	底面	-	-	18.0	0.5	ナゲ	ナゲ	1/3

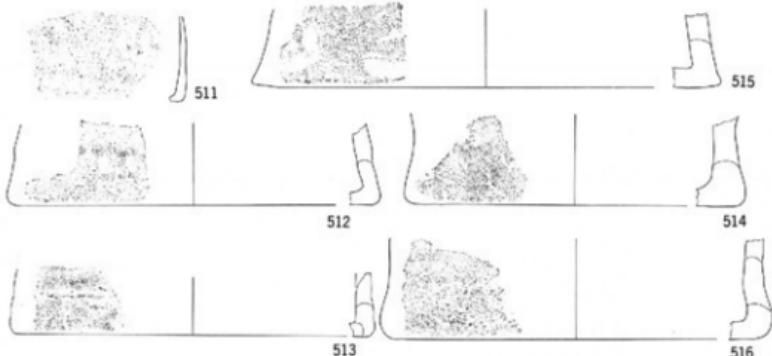


表-77 III類4 a

土器 番号	出 土 地 点	種 別 部 位	法 蓋 (cm)			文 様 調 査			備 考	範 例
			基 面	口 沿	底 盤	基 面	底 盤	厚 さ		
511	表段	製塙土器	底面	-	-	-	10.2~ 0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
512	C-6	灰原上 製塙土器	底面	-	-	20.0	0.9	網目	ナゲ	1/3
513	D-9・10	灰原上 製塙土器	底面	-	-	26.0	1.3	ナゲ	ナゲ	1/4
514	D-E-10・11	灰原中 製塙土器	底面	-	-	18.3	1.3	ナゲ	ナゲ	1/3
515	D-10	2層上 製塙土器	底面	-	-	25.3	1.2	ナゲ	ナゲ	1/3
516	D-10	2層上 製塙土器	底面	-	-	20.0	1.0~ 1.1	ナゲ	ナゲ	1/3

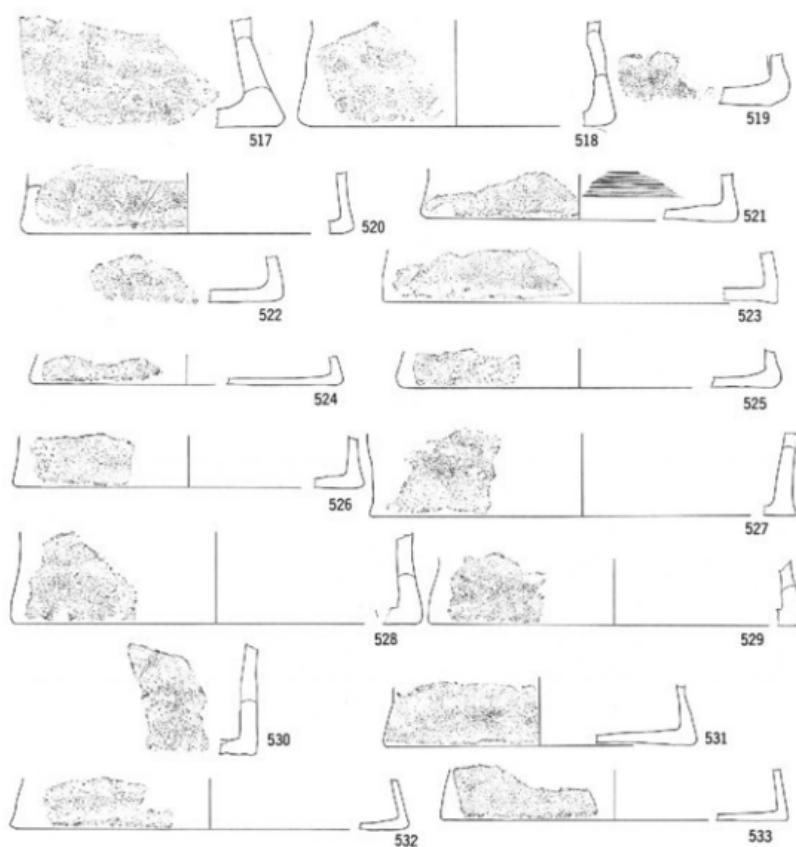


表-78 III類4 b

土種 番号	出 土 地 區 一 般 位	種 別	相 位	形 態 (cm)				文 様 調 査			備 考	照 片
				高 度	口 徑	底 径	距 離	内 面	外 面			
517	夷原	鰐塗土器	底部	—	—	—	0.9~1.0	ナゲ	ナゲ		1/3	
518	C-6	灰原上	鰐塗土器	底部	—	—	17.0	0.6~0.8	ナゲ	ナゲ		1/3
519	C-6	灰原上	鰐塗土器	底部	—	—	—	0.8	ナゲ	ナゲ		1/3
520	D-5	灰原上	鰐塗土器	底部	—	—	17.0	0.5	ナゲ	ナゲ		1/3
521	D-5	灰原上	鰐塗土器	底部	—	—	17.0	0.6	斜面凹	ナゲ		1/3
522	C-6	灰原中	鰐塗土器	底部	—	—	—	0.6	ナゲ	ナゲ		1/3
523	A+B-C-8	灰原	鰐塗土器	底部	—	—	28.0	0.9	ナゲ	ナゲ		1/4
524	D-E-10+11	灰原中	鰐塗土器	底部	—	—	16.0	0.4	ナゲ	ナゲ		1/3
525	D-11	1号上部	鰐塗土器	底部	—	—	21.2	0.6	ナゲ	ナゲ		1/3
526	D-11	1号上部	鰐塗土器	底部	—	—	18.8	0.5	ナゲ	ナゲ		1/3
527	A-8	2号上部	鰐塗土器	底部	—	—	22.0	0.7~1.0	ナゲ	ナゲ		1/3
528	A-8	2号上部	鰐塗土器	底部	—	—	22.0	0.8~1.0	ナゲ	ナゲ		1/3
529	A-8	2号上部	鰐塗土器	底部	—	—	26.4	0.8~1.3	ナゲ	ナゲ		1/4
530	D-10	2号上部	鰐塗土器	底部	—	—	—	0.7~0.9	ナゲ	ナゲ		1/3
531	D-5	5号上部灰原	鰐塗土器	底部	—	—	16.0	0.4~0.6	ナゲ	ナゲ		1/3
532	A-C 8-10	鰐塗土器	底部	—	—	—	21.4	0.3	ナゲ	ナゲ		1/3
533	D-5	5号上部	鰐塗土器	底部	—	—	18.0	0.4	ナゲ	ナゲ		1/3

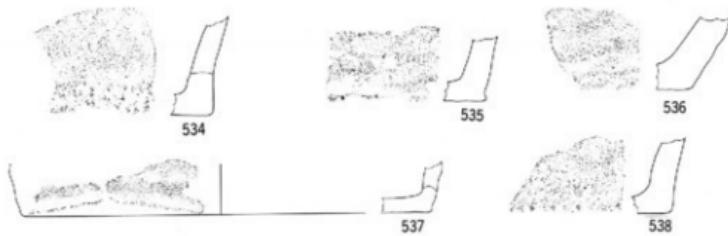


表-79 III類 5 a

番号	当 土 地 地区一層位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 標 調 查		備 考	縮 尺
				器高	口径	底径	厚さ	内 面		
534	黄土	製塙土器	底部	—	—	—	0.2~ 0.5	ナゲ	ナゲ	1/3
535	C-2	灰土上	製塙土器	底部	—	—	1.4	ナゲ	ナゲ	1/3
536	C-3	灰土上	製塙土器	底部	—	—	1.8	ナゲ	ナゲ	1/3
537	A-8	灰土上	製塙土器	底部	—	—	28.4	1.2	ナゲ	1/4
538	C-4	1層上	製塙土器	底部	—	—	1.3	ナゲ	ナゲ	1/3

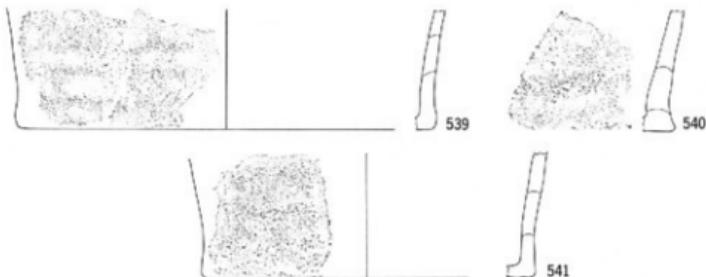


表-80 III類 5 b

番号	当 土 地 地区一層位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 標 調 查		備 考	縮 尺
				器高	口径	底径	厚さ	内 面		
539	黄土	製塙土器	底部	—	—	22.4	0.6	ナゲ	ナゲ	1/3
540	D-3	2層上	製塙土器	底部	—	—	0.8~ 1.0	表ナゲ	ナゲ	1/3
541	D-10	落り込み堆土	製塙土器	底部	—	—	22.2	0.7	ナゲ	ナゲ

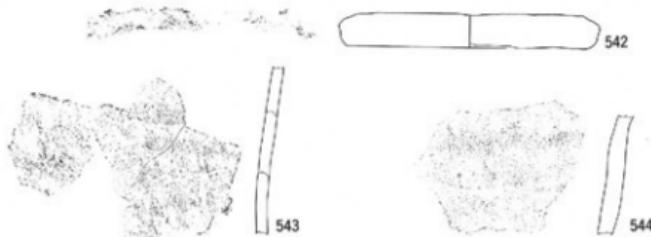


表-81 製塙土器

番号	当 土 地 地区一層位	種 別	部 位	法 量(cm)			文 標 調 查		備 考	縮 尺
				器高	口径	底径	厚さ	内 面		
542	黄土	製塙土器	底部	—	—	14.0	1.8	ナゲ	ナゲ	1/3
543	C-10	灰土上	製塙土器	底部	—	—	0.7	ナゲ	ナゲ	1/3
544	C-2	灰土上	製塙土器	底部	—	—	0.8~ 1.0	ナゲ	ナゲ	1/3

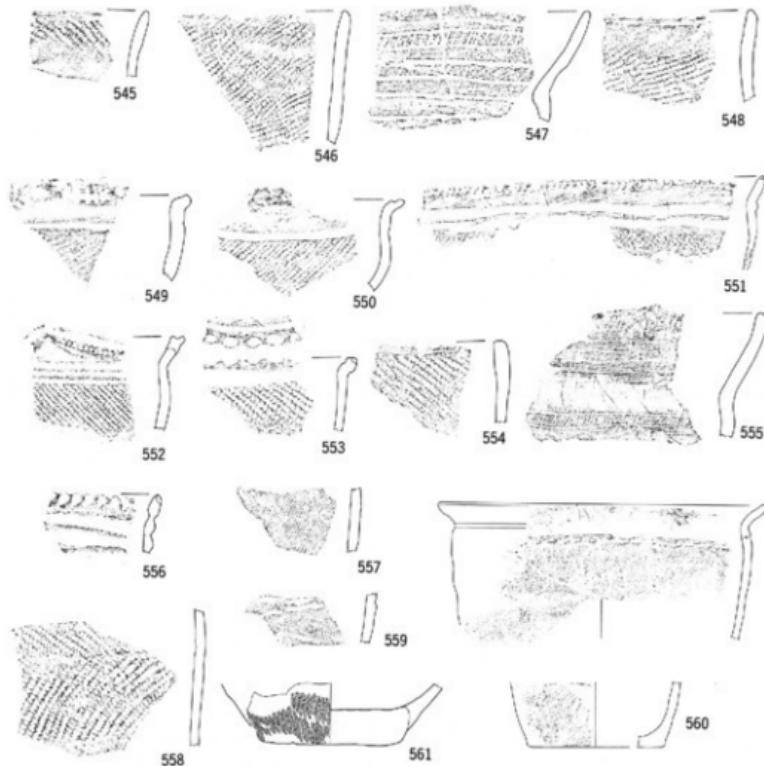


表-82 A ラインサブトレンチ出土遺物

土器 番号	出 土 地 点	種 別	部 位	法 面(cm)		文 様		調 査 井 番 号	備 考	幅 尺
				表面	底面	底径	底厚			
545	Aサブトレンチ	2層	縞文土器	口縁	—	—	—	0.6	ナデ	跳丸文・輪文
546	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.6	横ナゲ	跳丸文
547	Aサブトレンチ1-2-3-4層	弥生土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文・異名縦文
548	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	跳丸文
549	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
550	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
551	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
552	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
553	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
554	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
555	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
556	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
557	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	ミガタ	平行線文
558	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
559	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
560	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文
561	Aサブトレンチ1-2-3-4層	縞文土器	口縁	—	—	—	—	0.5~0.8	横ノガタ	平行線文

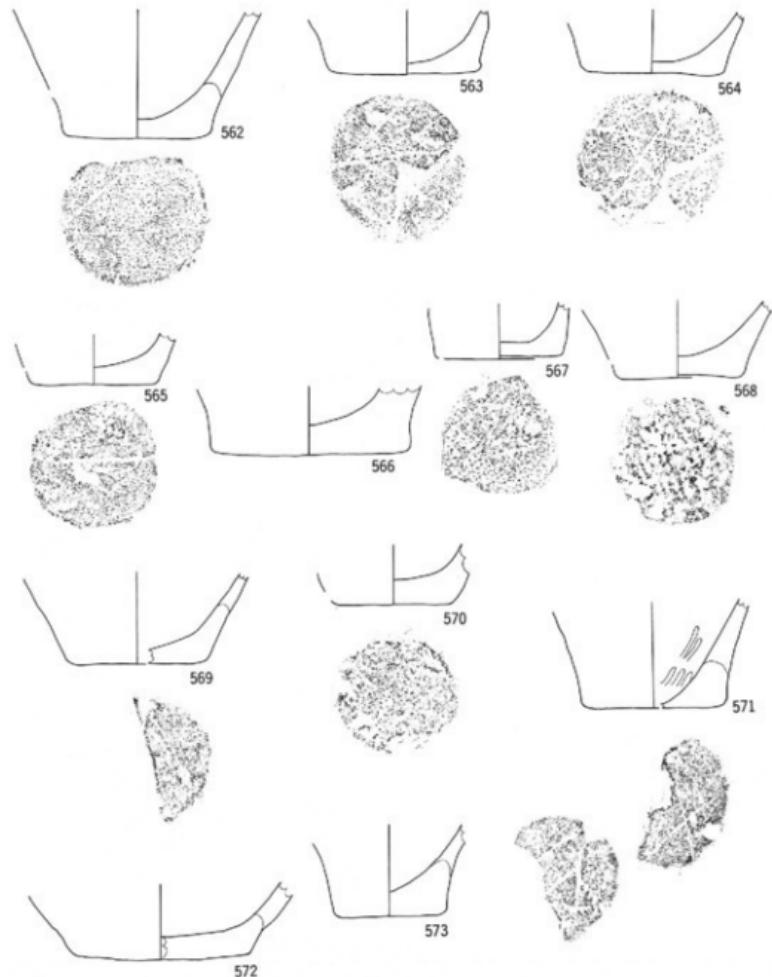


表-83 A ラインサブトレンチ出土遺物

番号	出 土 地 点	種 別 部 位	法 面 寸 度(cm)			文 様 調 査			備 考	測 定 尺
			最高	最低	厚度	内 面	外 面			
562	C-3	灰陶片 斜面土器	平底	—	5.2	0.5	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
563	C-3	灰陶片 斜面土器	平底	—	5.2	0.5	ナゲ	ヘラナゲ	木葉模	1/2
564	C-3	灰陶片 斜面土器	平底	—	5.0	0.3	ヘラナゲ	ナゲ	木葉模	1/2
565	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第1土器	平底	—	4.4	0.7	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
566	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第2土器	平底	—	7.0	1.5	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
567	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第3土器	平底	—	4.3	0.5	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
568	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第4土器	平底	—	4.3	0.6	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
569	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第5土器	平底	—	4.8	0.4	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
570	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第6土器	平底	—	4.4	0.8	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
571	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第7土器	平底	—	4.8	0.6	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
572	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第8土器	平底	—	6.0	0.8	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2
573	Aサブトレンチ 1+2+3+4番 第9土器	平底	—	4.0	0.5	ナゲ	ナゲ	ナゲ	ナゲ	1/2

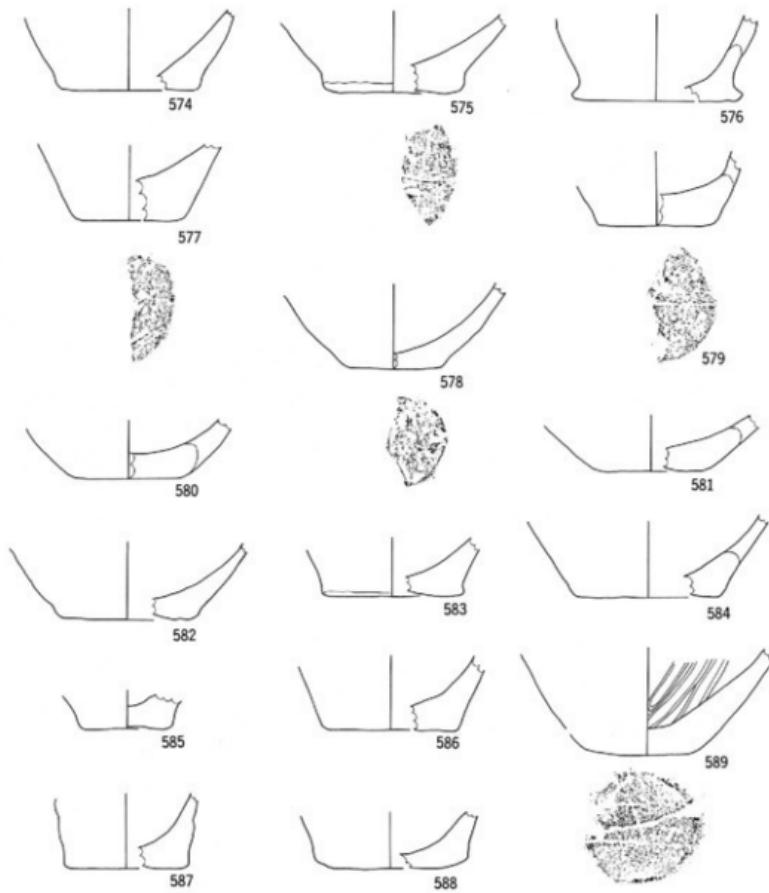


表-84 A ラインサブトレンチ出土遺物

上段 地 質 番 号	中 段 地 質 番 号	下 段 地 質 番 号	幅 別	部 位	底 面 (cm)			丈 標 高 度		備 考	幅 尺
					各 部	は ば く 部	底 部	内 面	外 面		
574	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.0	0.7	ナデ	ナデ	木葉痕	1/2
575	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.0	0.6	ヘラナズリ	ナデ	木葉痕	1/2
576	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	6.0	0.6	ナデ	ナデ	木葉痕	1/2
577	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.0	0.8	ナデ	ナデ	木葉痕	1/2
578	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	3.4	0.5	ヘラナズリ	ナデ	木葉痕	1/2
579	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.4	0.5	櫛毛目	ヘズリ	木葉痕	1/2
580	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.2	0.6	ナグ	ヘズリ	木葉痕	1/2
581	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.0	0.6	ナグ	ナデ	木葉痕	1/2
582	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.4	0.8	ナデ	ヘズリ	木葉痕	1/2
583	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.2	0.6	ナグ	ナデ	木葉痕	1/2
584	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.2	0.4	ヘラナズリ	ナデ	木葉痕	1/2
585	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	3.4	0.6	ナグ	ナデ	木葉痕	1/2
586	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.2	0.6	ナグ	ナデ	木葉痕	1/2
587	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.4	0.6	ナグ	ナデ	木葉痕	1/2
588	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	5.6	0.5	ナグ	ヘズリ	木葉痕	1/2
589	Aサブトレンチ1・2・3・4層	鰐塚土層	平底	—	—	4.0	0.5	ヘラナズリ	ナデ	木葉痕	1/2

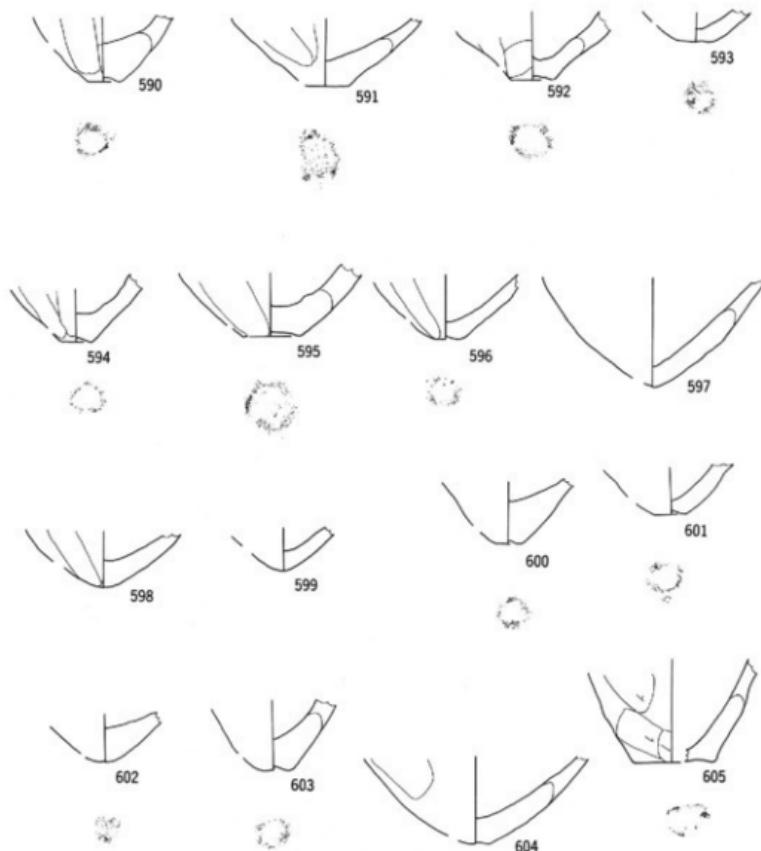


表-85 A ラインサブトレンチ出土遺物

名 称	土 地	種 類	部 位	直 径(cm)			文 様 模 型			備 考	縮 尺
				表面	口徑	底徑	厚 度	内 面	外 面		
590	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.5	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
591	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	平底	—	—	1.0	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
592	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.4	0.3	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
593	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.5	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
594	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.6	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
595	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.4	0.3	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
596	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.5	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
597	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.6	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
598	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	2.0	0.8	ヘラケメリ	ヘメリ	ヘメリ	1/2	
599	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
600	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
601	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	1.0	0.5	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
602	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
603	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
604	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
605	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
606	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
607	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
608	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
609	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.4	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
610	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
611	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	1.0	0.5	ナデ	ナデ	1/2	
612	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	0.8	ナデ	ナデ	ナデ	1/2	
613	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	1.0	0.7	ナデ	ナデ	1/2	
614	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	1.0	0.4	ナデ	ナデ	1/2	
615	Aサブトレンチ1・2・3・4層 試掘土器	上底	—	—	—	2.0	0.6	ナデ	ナデ	1/2	

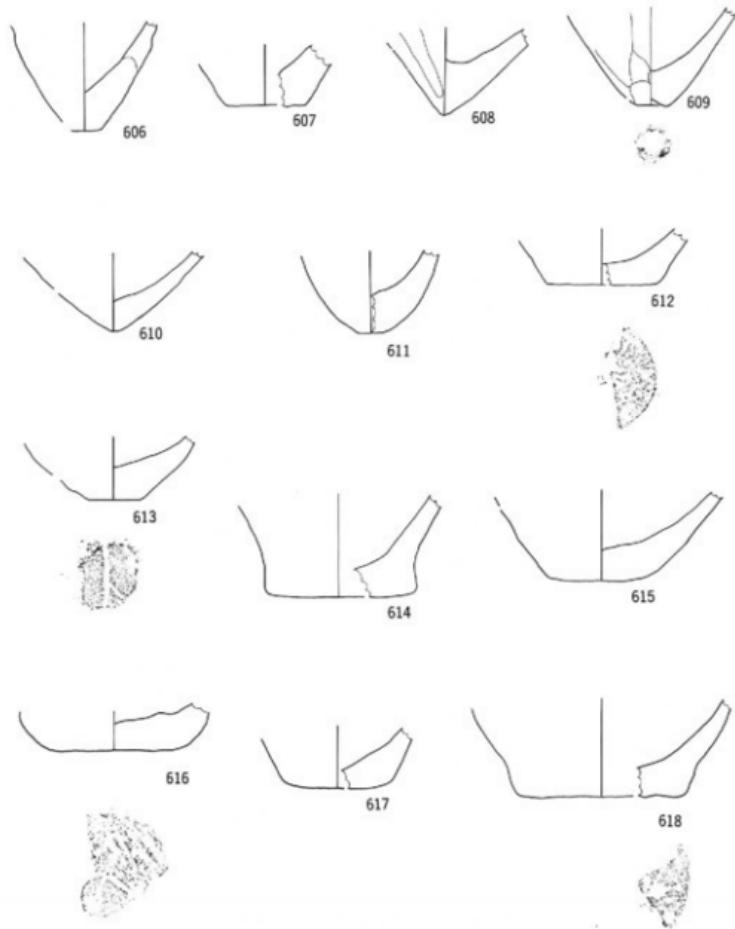


表-86 A ラインサブトレニチ出土遺物

土 号	出 土 地 地 区 一 位	種 別	規 似	直 寸 (cm)			文 標 説 明		考	経
				高	口 径	底 径	壁 厚	内 面		
606	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	上板	—	—	1.0	0.7ナメ	ナメ		1/2
607	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	2.5	1.1ナメ	ナメ		1/2
608	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄下部	尖底	—	—	0.2	0.8ナメ	ナメ		1/2
609	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	尖底	—	—	1.0	0.5ナメ	ナメ		1/2
610	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	尖底	—	—	0.4	0.5ナメ	ナメ		1/2
611	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	尖底	—	—	1.0	0.5ナメ	ナメ		1/2
612	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	2.4	0.5ナメ	ナメ		1/2
613	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	5.4	0.6ナメ	ナメ		1/2
614	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	4.0	0.5ナメ	ナメ		1/2
615	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	4.8	0.6ナメ	ナメ		1/2
616	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	3.8	0.6ナメ	ナメ		1/2
617	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	6.0	0.6ナメ	ナメ		1/2
618	Aサブトレニチ1・2・3・4層	軸柄上部	平底	—	—	—	—	ナメ		1/2

遺構内出土品集計表

分類 遺構	土 筒 器		須 惠 器		総合土器	合 計
	环	袋	环	袋		
土 器	S I -01	9	3	1		13
	S I -02	2	19	4	1	26
	S D -02		1	1		2
	S D -03	1	1			2
	S D -04			1		1
の 器	S K -02		1			1
	S K -08		1			1
出 上 状 況	3号製塙炉		2			2
	S I -02				1	1
	S K -02				2	2
	A -2				1	1
	1号製塙炉				4	4
	2号製塙炉				9	9
	3号製塙炉				9	9
	4号製塙炉				17	17
	6号製塙炉				1	1
合 計		12	28	6	2	44
						92

各ライン土師器・須恵器集計表

行	列	1		2		3		4		5		6		合計
		土器	須器											
Cライン3	1													1
Cライン5 (内蔵)	1													1
Cライン10														1
Cライン12														1
Cライン13														1
Cライン31 (内蔵)														1
Cライン15 (E)														1
Cライン16														1
Cライン26														1
Cライン27														1
Eライン8・9														1
Eライン34	100													1
Dライン5	E													1
Dライン4	1													1
Dライン3	1													1
Dライン8														1
Eライン3	1													1
Eライン4														1
Eライン5														1
Aライン3														1
Aライン2														1
Aライン8														1
Aライン9														1
Aライン10														1
合 计	3	3	4	1	3	3	4	1	2	3	4	3	3	48

IV. 考察

土器製塩の概要と水浜遺跡について

岩塩が存在しない我が国においては、塩の生産は海水に3%ほど含まれる塩分の抽出によって行われてきた。古くは上器による製塩であり、平安後期ごろから鉄釜に変わり、揚げ浜塩田法による製塩へ移行したと考えられている。土器製塩の工程には海水（鹹水）を採鹹（漬縮）→煎熬（煮沸）→ニガリの処理→焼塩→同形の精製塩という工程のあったことが確認されている。^(註1)これらの工程も含め土器製塩の考古学的研究を進めてきたのが近藤義郎氏であり、戦後近藤が提起した古墳中期の師楽式土器による土器製塩そのものの認知に始まったといえる。その後製塩土器の出土分布は、全国に広がっていることが解明されており、各地域ごとの編年研究も進められてきている。

土器製塩の開始は、西日本の備讃地方を中心とする瀬戸内沿岸では弥生中期頃から認められしており、関東では安行式期に器厚が薄く、小平底で砲弾型をした無装飾の製塩用土器が出現することから、縄文後期後葉とされている。東北では加藤孝氏によって「無文粗面尖底土器」と呼ばれる土器群が、松島湾を中心とする貝塚群の中から出土することで知られていた。加藤は昭和26年に行った塩釜市一本松貝塚の調査をはじめ、七ヶ浜町林崎貝塚や二月田貝塚などから同様の土器片を検出し、大洞A式期に属する製塩土器と推定した。その後昭和54年から、東北歴史資料館によって鳴瀬町里浜貝塚の調査が継続的に行われるようになり、大洞B-C式期あるいはC1式期の製塩土器が確認されている。^(註2)これまでの調査で最古とみられるものは里浜貝塚西煙北地点の断面から採取された小平底のもので、縄文後期後葉の土器片と併出しており、関東地方と同時期に土器製塩が開始された可能性を示唆する資料ともなっている。また、縄文時代の製塩では「平底が尖底に先行する」との藤沼邦彦氏の指摘のとおり、大洞A～A'期になつてそれまでの小平底から尖底への変化が確認されている。^(註3)関東では後藤和氏が、上器製塩の開始を大規模貝塚の衰退と考え合わせ、干し貝から塩へと貝塚での生産物の変換を推察しているが、仙台灣においても尖底に変化させた技術的な背景として、塩を媒体とする需給関係が大洞A～A'期に確立されたとみることもできよう。

こうした土器製塩は弥生時代になってからも継続して認められ、七ヶ浜町内では東宮浜（鳳寿寺）貝塚や阿川沼貝塚などで製塩土器が検出されている。しかし弥生時代の、深鉢型小底形の製塩土器は古墳時代になって一時途絶し、次に製塩土器が現れるのは、奈良・平安になってからである。底部径の大きい、いわゆるバケツ型やタライ型の製塩土器となって再出現する。このように空白化する古墳時代の様相を背景に、加藤は昭和43年と44年に水浜遺跡の調査を実施している。^(註4)

加藤は報告の中で、5基の製塩窯跡と製塩土器片多数を検出し、発見された遺構はいづれも「梢円形の平窯」様式のもので、拳大的小石や凝灰岩の碎屑岩などで叩きならし構築されている、としている。

製塩用の土器については、縄文晩期から平安時代までの編年を試みており、それまで空白と

されていた古墳時代の製塩土器に対して、「コップ状又は胴部に膨らみのある深鉢型のもの、及び多少の胴張りがあり底部で急にすぼめられるもの。底面に木葉・網代・無文のものがある」製塩土器をもって、弥生時代の系統をくみ、かつ「須恵器を伴わない丸底型土師器の杯」と伴出することから、こうした製塩土器及び窯跡を、古墳時代中期に位置付けている。

編年の概要を紹介すると次のような。

縄文晚期：口縁部は直立し、底部は尖底。器高15~20cm、器厚3~5cm。

弥生：小型浅鉢または小型砲弾型の器形。底径2cm程の平底。

古墳：コップ状または胴部に膨らみのある深鉢型。

奈良：ビールジョッキ型または円筒型。外面とも研磨面がなくなる。

平安：（前期）器形は変化しないが、器厚が1cm前後のものと薄手のものと共存する。

〃：（中期）厚手のものに統一され、鍋状・浅鉢状の器形のものも出現する。

〃：（後期）大型鍋状・平鍋状のものに変化する。全体量が減少し、鉄釜への移行過程と考えられる。

この報告には造物の実測図がないため、詳細について不明な点が多いが、加藤は農業生産遺跡だけが弥生式文化時代、古墳文化時代、歴史時代と一貫して流れる遺構を示してきたが、「新たに製塩土器による塩生産の遺構をも加えることができた」と結論付けている。

出土遺物について

縄文・弥生土器

出土した縄文土器は、二月田貝塚から出土している11類土器に類似しており、大洞AおよびA'式に比定することができ、伴出の製塩土器も同時期と考えられる。

弥生の土器片は列点文を施しているものがみられることから、樹形圓式期とみてよいであろう。
上師器・須恵器

No93の杯を除き、すべてが平底でロクロ使用による成型である。93は体部外面にわずかながら段を有しており、段を境に下部はヘラケズリが施されている。底部は平底風で国分寺下層式（註7）と考えられる。須恵器の杯はほとんどが回転ヘラ切りの底部のもので、ヘラ削り調整の施されていないものが多い。

製塩土器

製塩土器底部の出土量は灰原が最も多く、次に灰層となっている。タイプ別ではI類4bのものが一番多く、次に多いのがIII類2bで、II類1b、III類4b、III類1bの順となっている。口縁部の出土レベルは底部と同じような状況を示し、タイプは口唇部が平坦で薄く、直立して立ち上がるI類1aが最も多い。層位的に顕著な規格性が認められず、単に出土数量から口縁部と底部の組み合わせを考えると次のようになる。

（底部） I類4b → （口縁部） I類1a

〃 III類2b → 〃 I類3b

〃 II類1b → 〃 II類1b

のことから、底部厚が1cm以下で胴部よりも厚く、底部縁は丸みをもって内反し、胴部から垂直に立ち上がって口縁部付近で薄くなる。そして口唇部が平坦になる製塙土器が主体となっていたと考えられる。

遺構について

堅穴住居跡

確認された3棟のうち遺物の出土しなかったS I-03をのぞき、S I-01とS I-02とでは出土遺物から時代差が認められる。S I-01は上器器が主体となっており、坏の切り離しは回転糸切りによるものである。1点のみ出土している須恵器坏は、岡田・桑原両氏の須恵器坏の分類では9-a類に相当すると思われ、共伴する土師器坏は表衫ノ入式で9世紀後半から10世紀ごろの年代が考えられる。S I-02では土師器の甕と須恵器及び須恵質の坏が主体となり、坏の切り離しは回転ヘラ切りとなっている。

確認された3棟の堅穴住居跡は、床面での標高が5cmから6cmと低い位置にあり、加えて汀線に近いことから、継続的に使用されたものではなく、製塙の行われていた時期に限られていたと考えるのが妥当であろう。

製塙炉

タイプの異なる炉が認められたが、すべて土器製塙に用いられた炉と考えられる。

このタイプの相違は、確認層が12号のみ5層であり他は灰屑であることから、時間的な差はあまり認められず、用途による違いと思われる。製塙において、火を使用する工程では煎熬と精製段階の焼塙とである。炉の形態は平面プランから、円形及び梢円形のA~Cタイプのものと、長梢円形のDタイプに分けられる。構築状況でも前者は平面的であるのに対し、後者は周辺を凝灰岩などで整体としていることなど、明らかに違いが認められる。遺物でもDタイプの3号及び4号炉の製塙土器が、出土点数は少ないが比較的薄手であり、2号炉でも同じ傾向が見られる。こうした状況から水浜遺跡では、焼塙の工程段階を裏付けるものが確認できないものの、使用する炉が意識的に区別されていたと推察され、香川県坂出市なかんだ浜遺跡で発見されている炉跡同様、壁体部をもつDタイプの炉には天井部が構築されていた可能性もあることなど、焼塙の存在を窺わせている。

以上のように発見された遺構と遺物は、縄文晩期から弥生時代のものと奈良・平安時代のものであって、古墳時代に比定できるような遺物は確認されなかった。今回の調査では、水浜遺跡が古墳時代製塙遺跡の類例とはなりえないといえる。松島湾における土器製塙の様相は、依然として弥生時代以降途絶したままであって、こうした背景には、これまでにも幾つか問題点として指摘されているが、次の2点に要約される。

1. 古墳時代の製塙遺跡が確認されていないだけであって、土器製塙は継続して行われていた、とするものである。
2. 弥生時代以降土器製塙は中断し、奈良時代になって若狭湾系の製塙技術が導入され製塙が再開した、とするものである。

1であれば、今後古墳時代の遺構遺物が検出されるであろうが、2の場合は中断する理由は何か、その間どのようにして塩を入手していたのか等が、疑問点としてのこる。

縄文～弥生と連続する貝塚や集落に、製塩土器が認められる傾向があるものの、弥生～古墳と連続する遺跡そのものが少ないことなど、社会的な変化も考えられる。

また縄文晩期の製塩が、物との交換手段に用いるといった消費地のエリアをもっていたのに対し、弥生時代の製塩は稻作を中心に展開されたとすると、自家生産的であり消費的なものとみることができる。分業化や専業化が進んだとされる古墳時代に、上信越や関東方面に組織化された塩業の集団が出現した可能性は十分にある。その供給先のひとつに東北も含まれ、より良質の精製された塩が搬入されるようになって、それまで行われていた松島湾の製塩が、衰退したこととも考えられる。

さらに、奈良時代の製塩再開の時期や技術的な解説、製塩土器そのものの製造地や土器製塩の終焉時期、鉄釜や塩田とのかかわりなど、具体的な問題も残されたままである。製塩の遺跡は汀線近くにあるため、人為はもとより自然環境によっても消滅しやすい状況にある。早い段階での調査解明が望まれよう。

註1. 近藤義郎「土器製塩の研究」1984. 青木書店などがある

註2. 加藤孝 地域社会研究 3・4 1952.

註3. 岡村道雄「里浜貝塚Ⅰ」東北歴史資料館資料集5 1982.

註4. 藤沼邦彦「縄文土器大成4、晚期」1981. 講談社

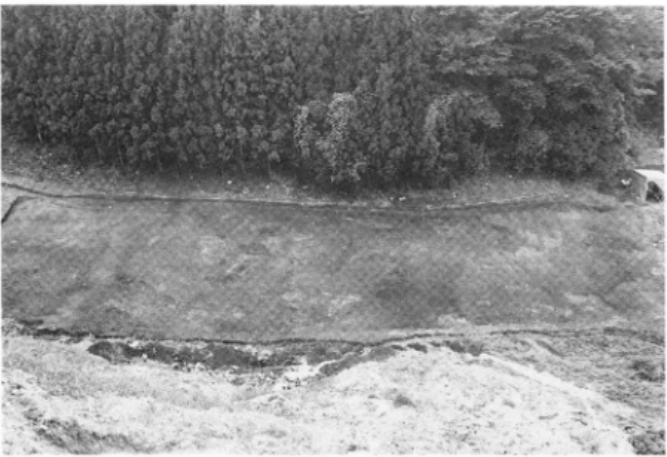
註5. 後藤和氏「加曾利貝塚の生産と交流」古代の日本4. 1986. 中央公論社

註6. 加藤孝 「東北に於ける古墳文化時代製塩遺構の研究」

註7. 岡田茂弘・桑原渡郎「多賀城周辺における古代环形土器の変遷」多賀城跡調査研究所研究紀要I 1974.

V. まとめ

1. 水浜遺跡は、検出された遺物から縄文時代晩期より弥生時代、そして奈良・平安時代にかけて土器製塩の行われた遺跡である。
2. 製塩に用いられたと考えられる炉跡は、地面を掘り込んだもの、石敷きのもの、凝灰岩をブロック状に切り出し、長椭円形に配したものとに大別された。
3. 土器製塩には、採鹹、煎熬、焼塩等の作業工程があったと推察されているが、今回確認された凝灰岩によって構築されている炉跡は、類例がないため確証はないが焼塩に用いられた可能性をもつものである。
4. 竪穴跡が3棟確認されたが、居住用、作業場用、休憩用など、その使用目的や性格を考えると通年使用されたものではなく、製塩の行われた時期に限られていたとするのが妥当であろう。
5. 掘立て柱遺構は、生産された塩を一時的に保管しておく高床式の倉であったと思われる。



調査地区全景

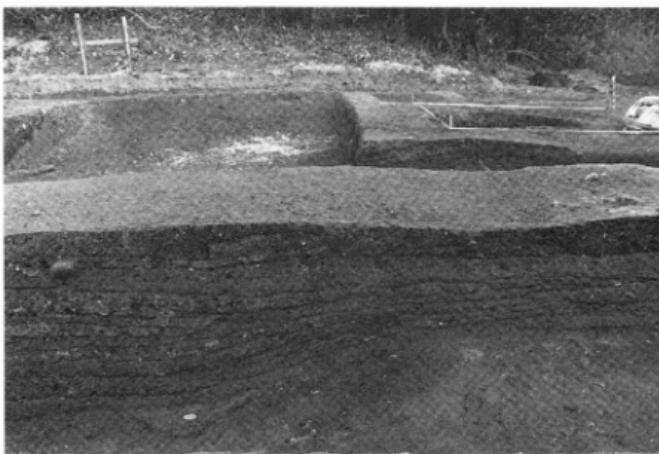


調査地区全景

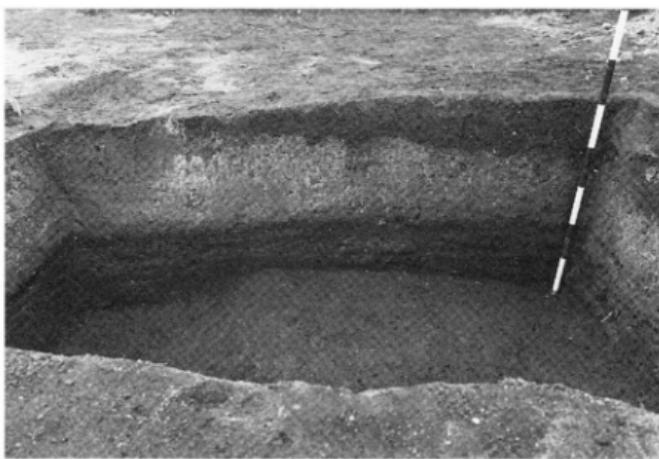


C ラインセクション

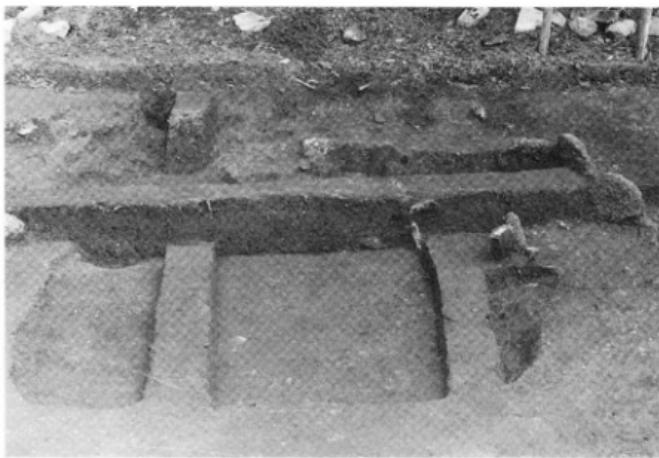
C ラインセクション

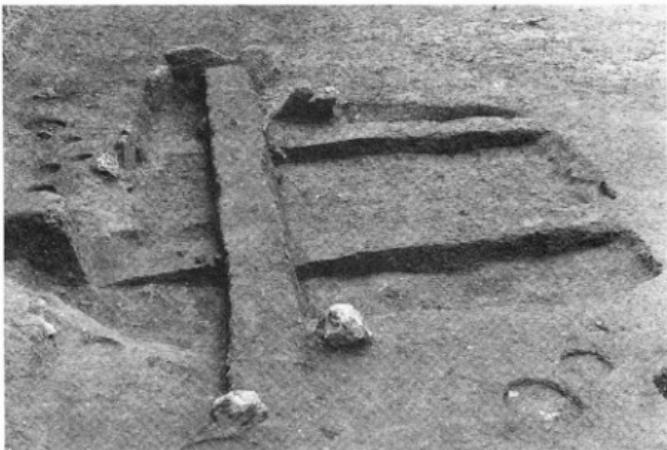


A ラインサブトレングセクション

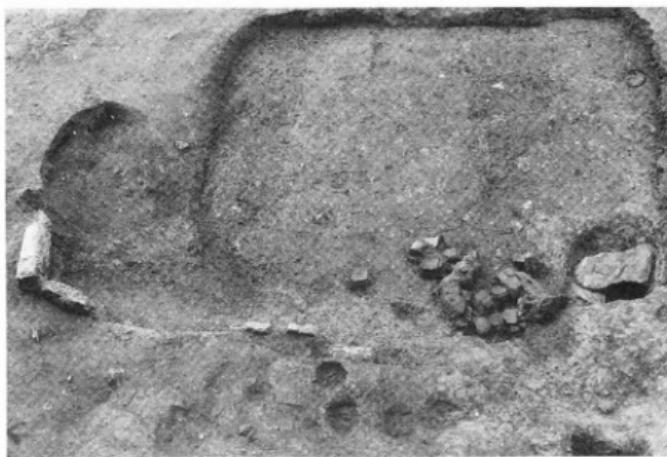


S I -01

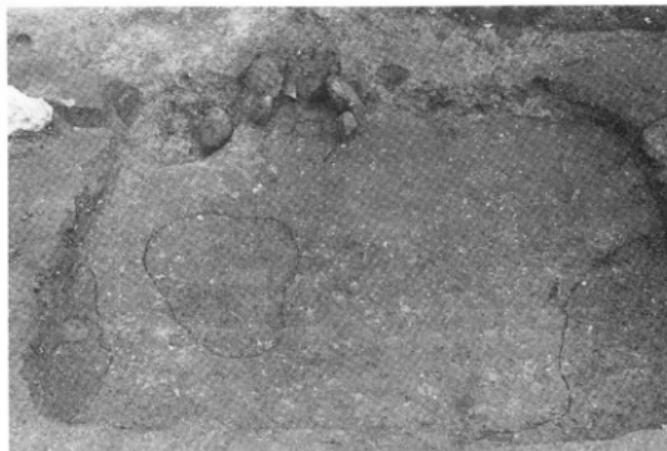




S I -01 · 4 号製塩炉



S I -01 · 4 号製塩炉



S I -01



S I - 02・4号製塙炉



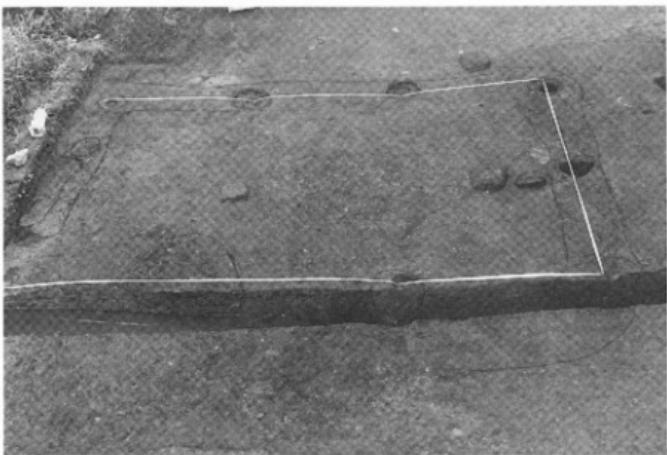
S I - 02カマド部



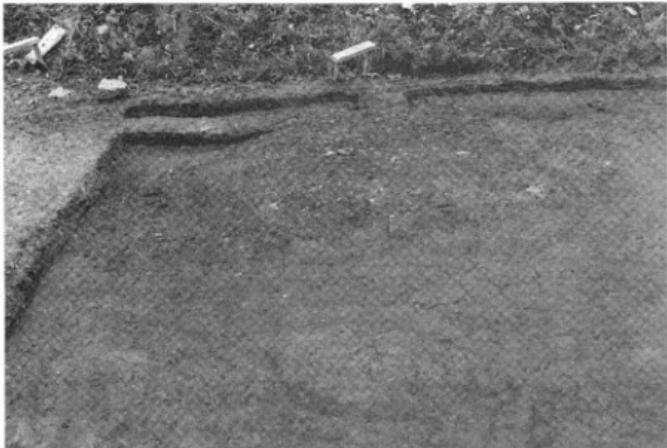
S I - 02カマド部



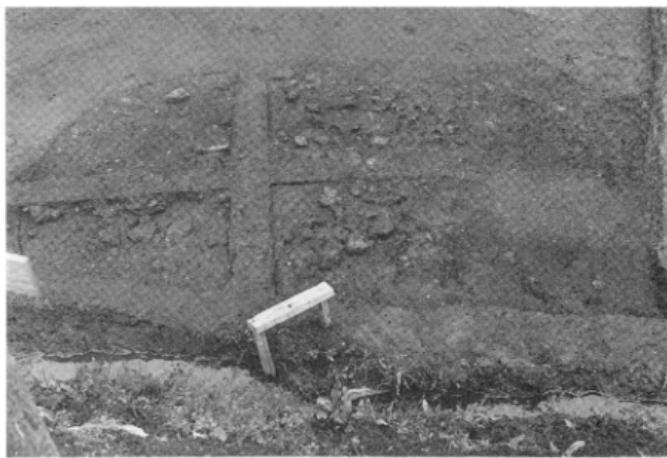
S I -03 • 3号製塩炉



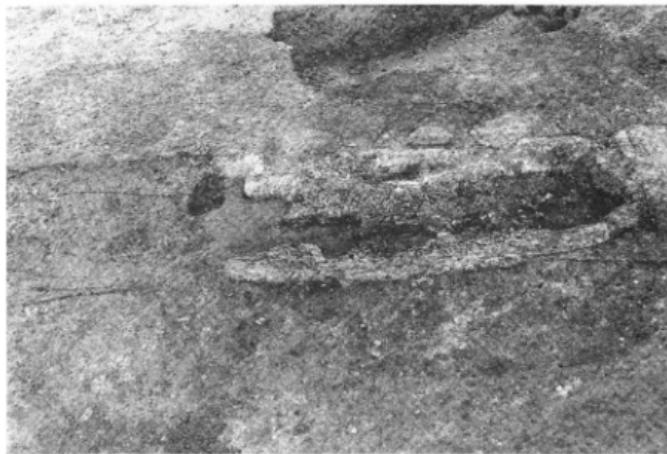
S B -01



1号製塩炉



1号製塩炉



2号a製塩炉



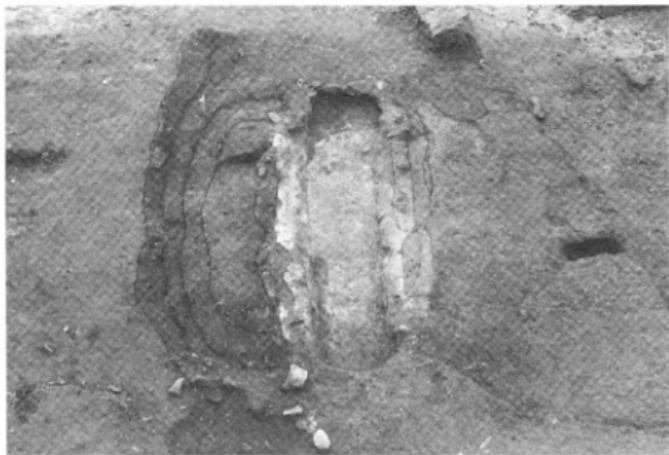
2号b製塩炉



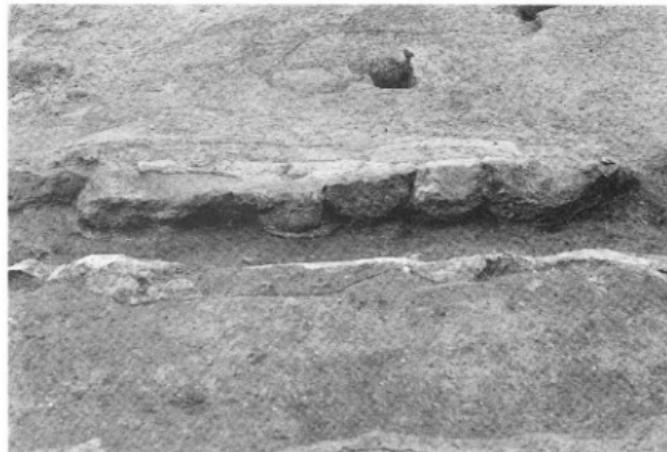
2号b製塩炉



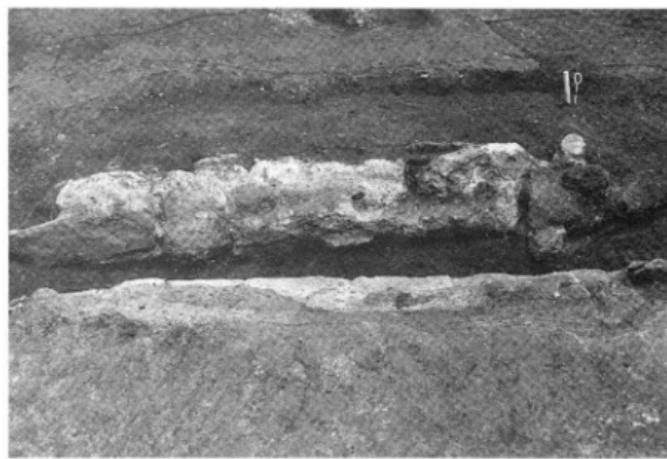
2号炉セクション



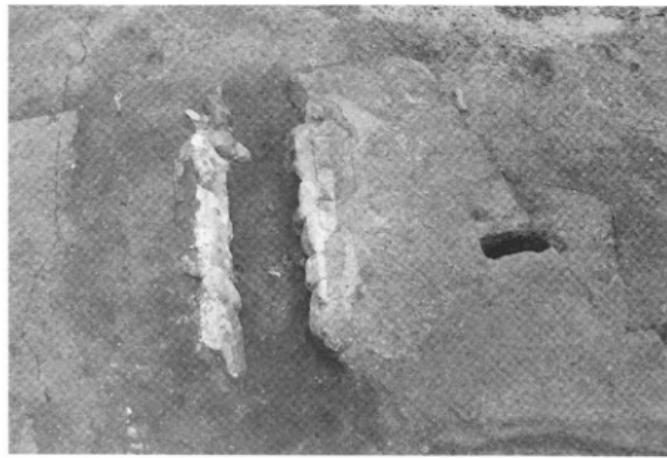
3号製塩炉



3号製塩炉



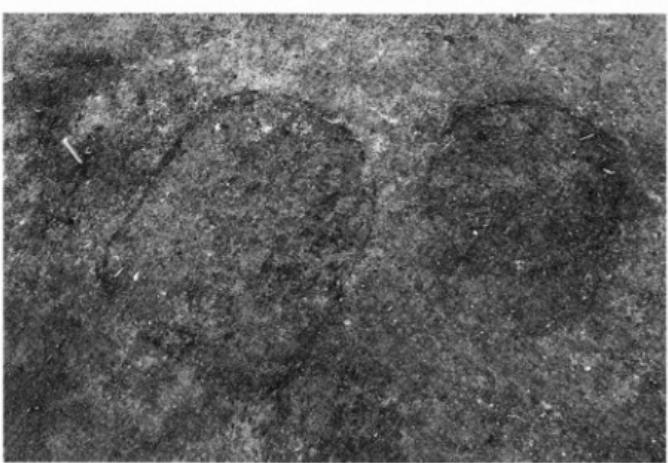
3号製塩炉



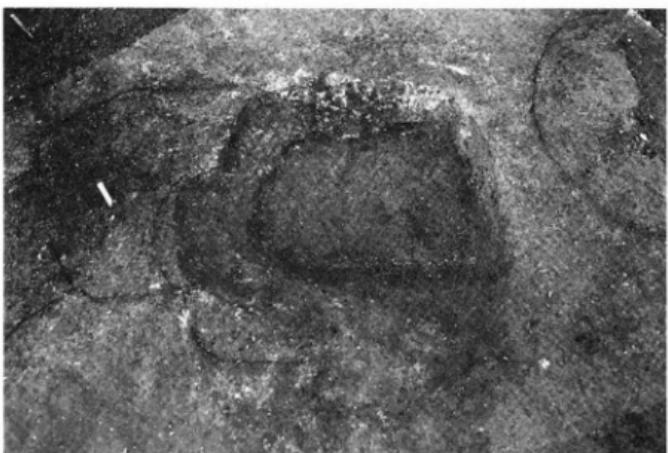
3号製塩炉



6号製塩炉・13号製塩炉



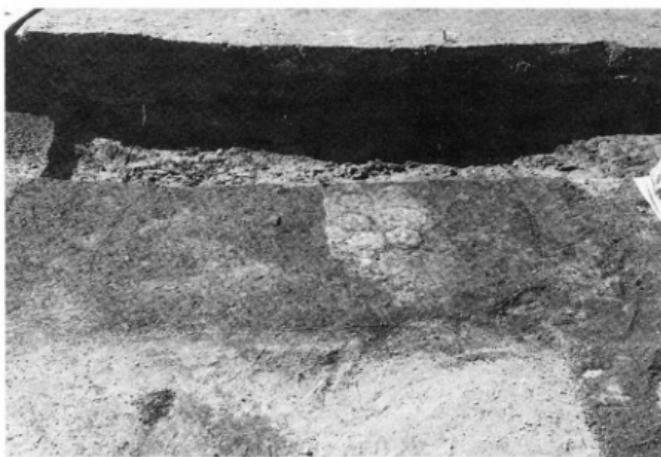
8号製塩炉・SK-01



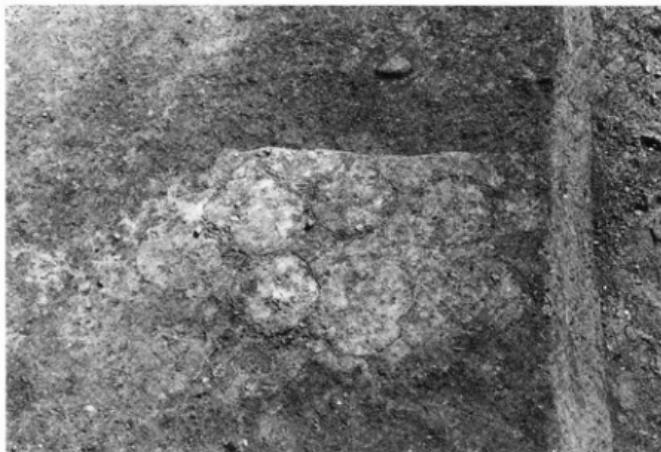
8号製塩炉・SK-01



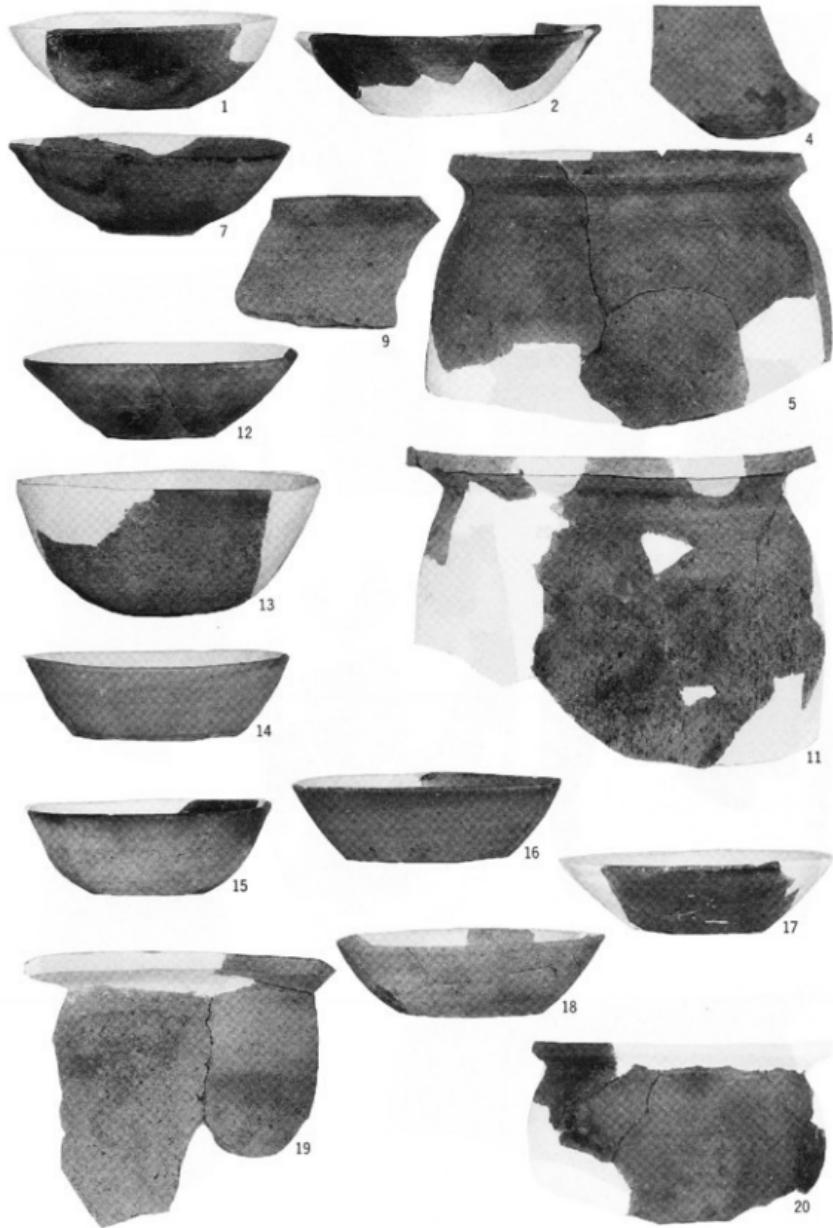
9号製塙炉



11号製塙炉

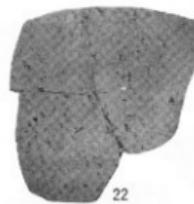


11号製塙炉





21



22



23



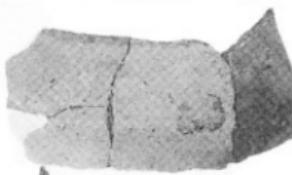
24



25



26



27



28

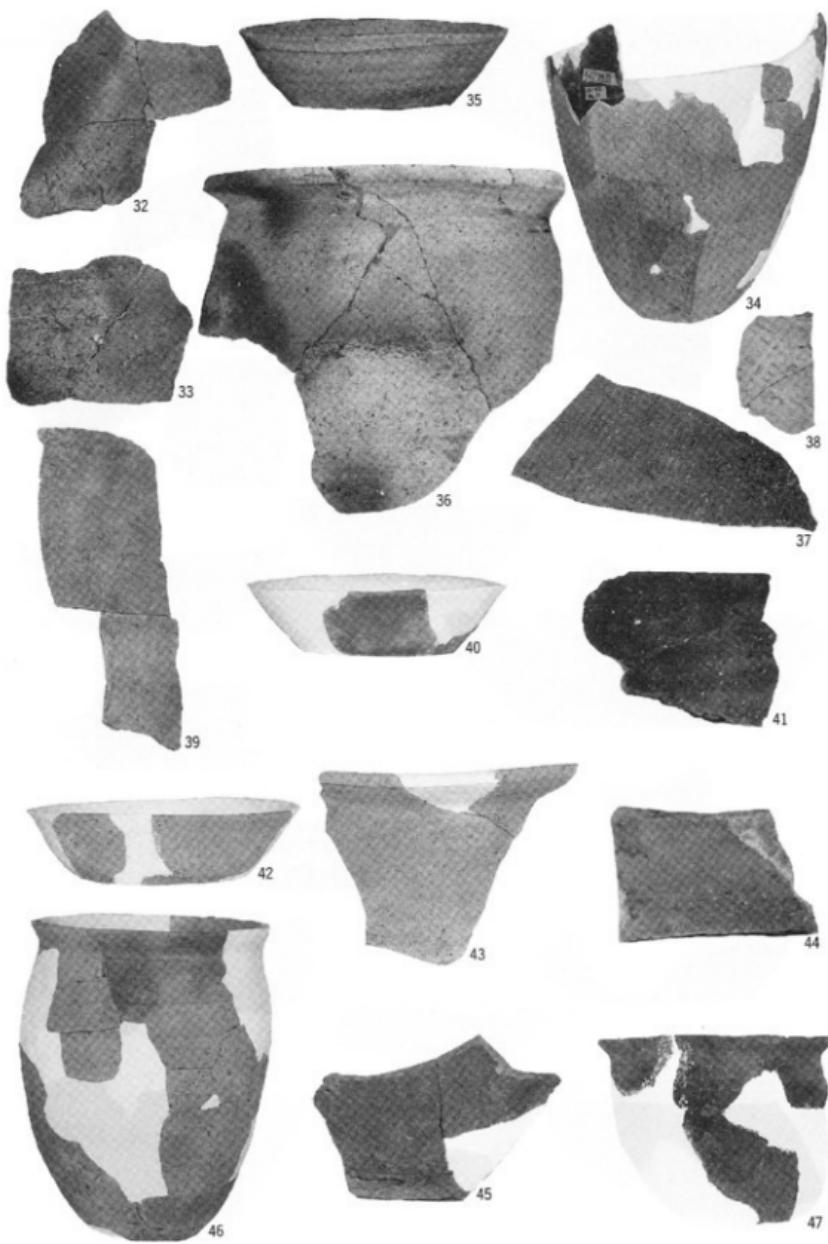


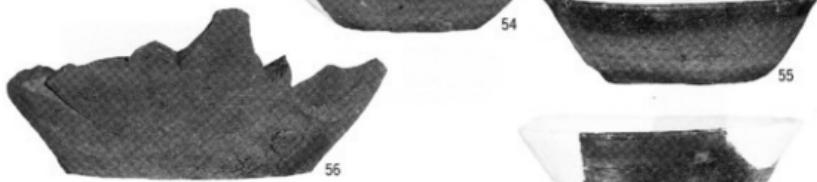
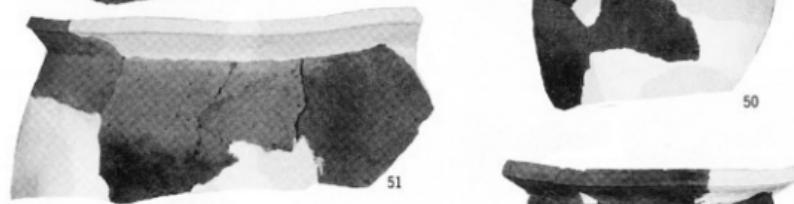
29

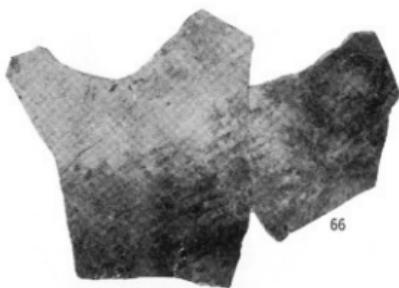


30

31



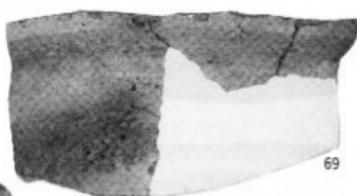




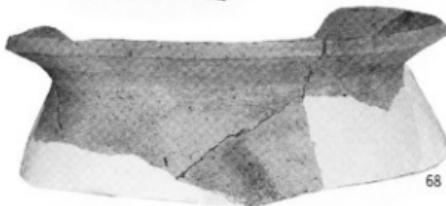
66



67



69



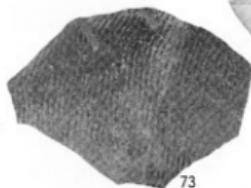
68



70



71



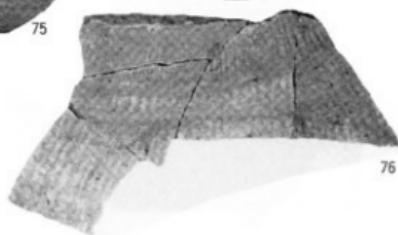
73



75



72



76



74



79



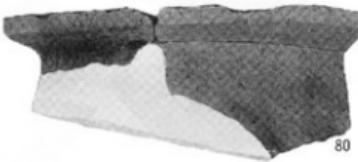
77



78



81



80



82



83



84



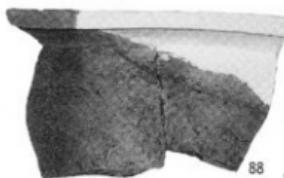
85



87



86



88



91



89



92



90



93



94



95



96



97



98



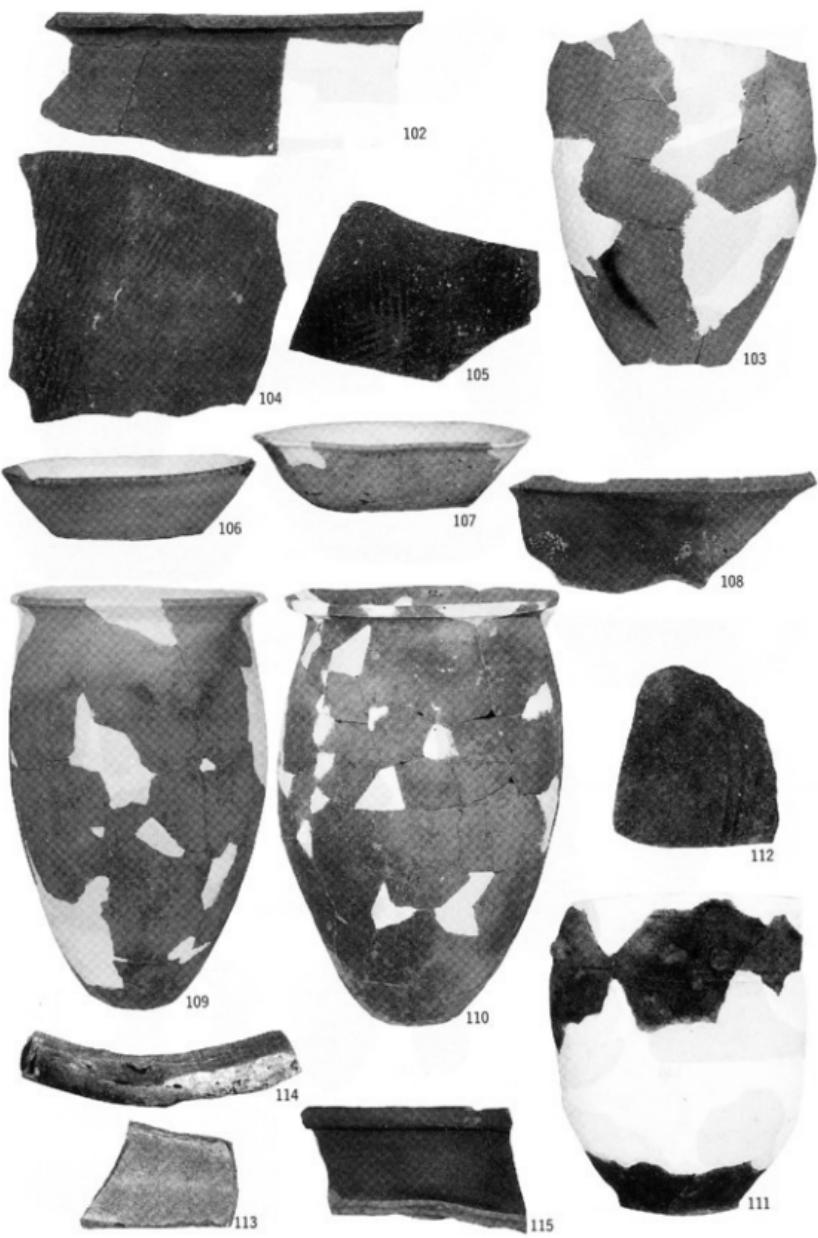
99

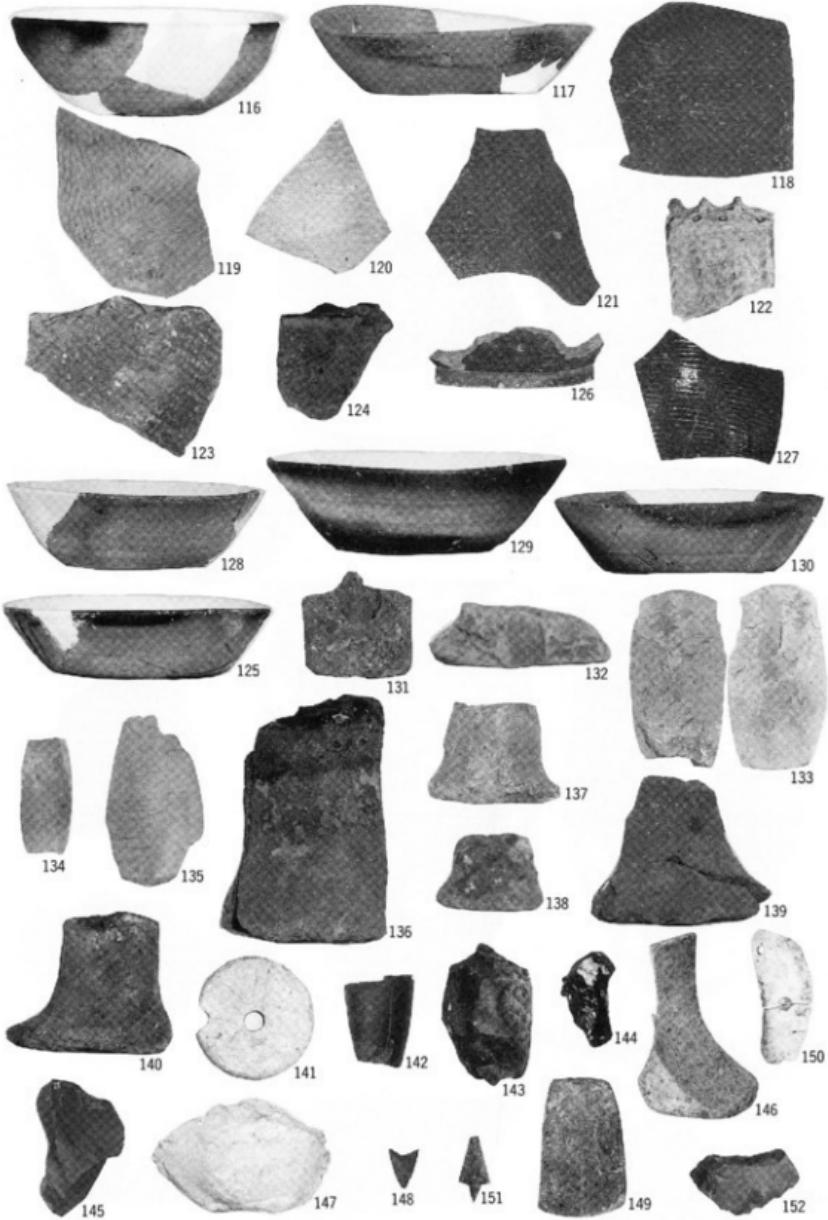


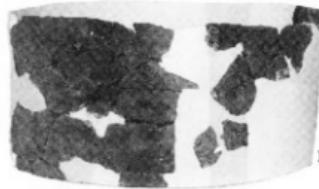
100



101







157



158



159



160

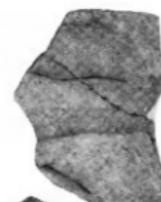




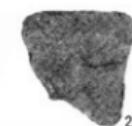
1 種不明肩甲骨 2 種不明歯骨 3・4 種不明頭部骨 5 種不明歯骨 6 種不明歯骨 7 種不明肋骨
 シカ 8 角坐骨 9 鹿角 10 腰椎骨 11 大腿骨 12 中足骨 13 距骨 14 跗骨 15 基節骨 16・17 指骨
 ユマ 18 骨骨 19 基節骨 20 跖骨 21 跗骨 22～25 足根骨一括 26 中足骨 27 内側中足骨 28 外側中足
 骨 29 イガイ 30 マガキ 31 オオツノハ 32 ハマグリ 33 シオワキ 34 アサリ 35 アカニシ 36 ウミ
 ニナ 37・38 マダイ 椎骨



271



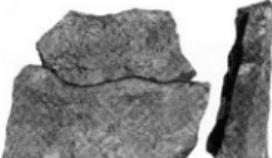
283



255



348



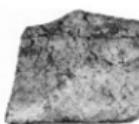
359



360



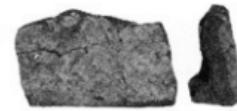
363



381



390



391



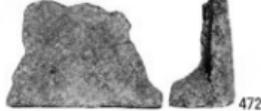
400



418



437



472



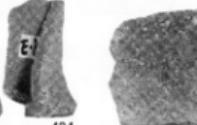
473



470



484



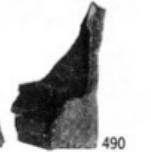
492



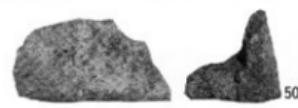
491



490



492



502



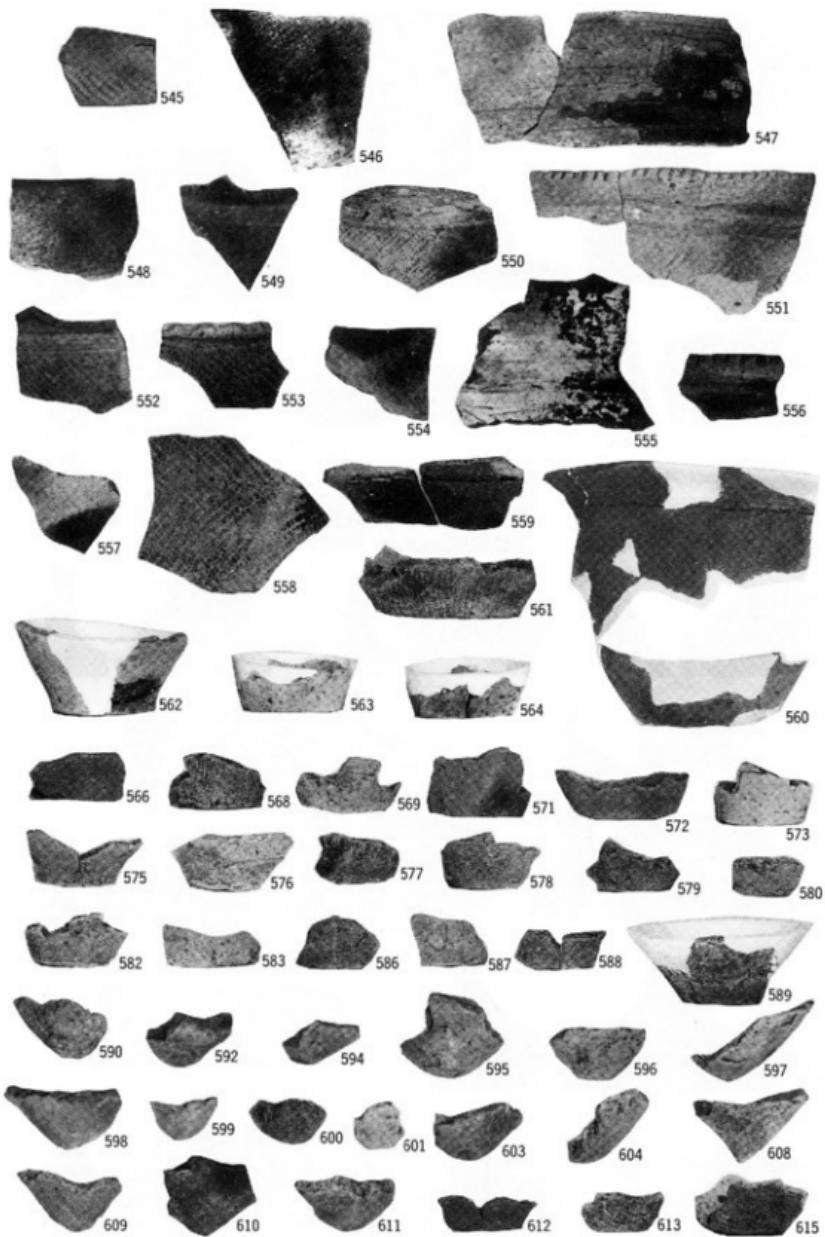
503



504



517



七ヶ浜町文化財調査報告書 第8集

水 浜 遺 跡

平成4年3月31日 発行

発行 七ヶ浜町教育委員会

(〒985) 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丘谷辺5-1

TEL 022(357) 2111

印刷 今野印刷株式会社

(〒983) 仙台市若林区六丁目西町4-5

TEL 022(288) 6123

